



Multilingual Expert Program

大阪大学 マルチリンガル・エキスパート 養成プログラム

2025年度

学部プログラム
大学院プログラム

はじめに

昨今、いわゆるエマージング・エコノミーの台頭とともに、複数の高度な外国語運用能力と高い専門性を身につけ、国際舞台で活躍できる人材の養成が急務となっています。国際公用語となっている英語のみならず、他の外国語を自在に運用できるとともに、法律、経済、歴史等の人文社会科学系、IT 関連等の理工情報系の専門知識を備えた人材が求められています。

大阪大学は、外国語学部を擁する唯一の国立総合大学として、他大学では養成できないこうした貴重な人材を育成・輩出し、我が国の発展と国際社会の相互理解に貢献することが大学としての使命であると考えています。

その使命を果たすべく、本学における学際融合教育（学部・研究科等の枠にとらわれない教育）プログラムである「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」を用意しています。本プログラムでは、本学の学生が多様な言語教育科目と各学部・研究科における専門教育科目を並行して履修することができます。

大阪大学は、多数の学部・研究科・研究所・センター等からなる総合大学です。マルチリンガル・エキスパート養成プログラムにおいて提供される学部プログラムと大学院プログラムは、それぞれの専門分野の科目により編成されており、また、学部の課程と大学院の博士前期（修士）課程を通じたプログラムとなっています。そのうちの大学院プログラムは、「大阪大学大学院副専攻プログラム」、「大阪大学大学院高度副専攻プログラム」として実施しています。

この充実した教育環境を最大限利用してみませんか。このプログラムを履修することで、今までより大きな視野で物事をとらえることができるようになり、所属学部・研究科での勉学・研究にもプラスに作用すると確信しています。

マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）

運営協議会議長 竹 村 景 子

2025年度マルチリンガル・エキスパート養成（MLE）プログラム （学部プログラム・大学院プログラム）の概略

大学院プログラムは、大阪大学大学院副専攻プログラム、高度副プログラムとして開設します。

	学部プログラム	大学院プログラム ^{※1}
目 的	複数の学部及び複数の研究科の教育プログラムを修め、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成する。	
概 要	① 外国語学部の学生が、他の学部が開設する専門教育レベルの人文学、人間科学、法学・政治学、経済学・経営学、理学、工学、基礎工学、数理・データサイエンス・AIの分野から一つを選び、本来の専攻分野と合わせて体系的に学修することができるプログラム。 ② 学部生（外国語学部を除く）が、外国語学部が提供する専門教育レベルの語学・文化学を、一つの専攻語を選んで学び、本来の専攻分野と合わせて体系的に学修することができるプログラム。	① 人文学研究科言語文化学専攻・外国学専攻・日本学専攻応用日本学コースの学生が、他の研究科が提供する専門教育レベルの人文学、人間科学、法学・政治学、経済学・経営学、工学、国際公共政策学、データサイエンスの分野から一つを選び、本来の専攻分野と合わせて体系的に学修することができるプログラム。 ② 大学院生（人文学研究科外国学専攻を除く）が、人文学研究科外国学専攻が開設する専門教育レベルの語学・文化学の分野を、一つの専攻語を選んで学び、本来の専攻分野と合わせて体系的に学修することができるプログラム。
募 集 対 象	① 文学部、理学部、工学部、基礎工学、数理・データ科学教育研究センター開設のプログラムについては外国語学部2年次、3年次の正規学生。 人間科学部、法学部、経済学部開設のプログラムについては、外国語学部2年次の正規学生。 ② 学部（外国語学部を除く）の2年次、3年次の正規学生。	大学院プログラムの募集については、①②ともに49-61頁をご覧ください。
提 供 数	レギュラープログラム：6 ショートプログラム：14	副専攻プログラム：7 高度副プログラム：2
募 集 人 員	各プログラム：若干名	各プログラム：若干名
プ ロ グ ラ ム 開 始 申 請	必要（プログラム履修申請と科目履修申請／科目履修登録）	必要（プログラム履修申請と科目履修登録）
修 了 要 件	レギュラープログラム：24単位以上 ショートプログラム：12単位以上 24単位未満	副専攻プログラム：14単位以上 高度副プログラム：プログラム毎に定められている単位以上
修了認定証 ^{※1}	総長とプログラム開設学部長・開設センター長との連名で発行	

（※1）学部プログラムのうちレギュラープログラムと大学院プログラムの両方を修了した者には、大学院副専攻プログラム修了認定証に加えて大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（全課程）の修了認定証を授与します。

目 次

はじめに

2025年度マルチリンガル・エキスパート養成（MLE）プログラム（学部プログラム・大学院プログラム）の概略

1	プログラムの概要	1
	（1）「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（学部プログラム・大学院プログラム）」の構成	
	（2）プログラムの区分	
	（3）プログラムの履修開始から修了までの流れ	
2	募集対象者・履修条件等について	5
	（1）募集対象者	
	（2）履修条件	
	（3）費用	
3	各プログラムのカリキュラム内容について	7
	（1）プログラムのカリキュラムについて	
	（2）プログラムの修了要件の満たし方について	
	（3）プログラムの授業科目の開講期間について	
4	プログラムの履修申請等に関する手続について	8
	（1）プログラムの履修開始時の手続について	
	（2）プログラム及びプログラム科目に関わる通知について	
	（3）プログラムの修了について	
	（4）プログラムの内容に関する問い合わせ先	
5	補足事項	16
	（1）単位修得方法の注意点	

6	Q & A	17
---	-------------	----

2025年度 マルチリンガル・エキスパート養成（MLE）学部プログラム紹介 25

外国語学部	【インドネシア語・インドネシア研究】	25
	【タイ語・タイ地域研究】	26
	【ベトナム語・東南アジア研究】	27
	【ウルドゥー語・南アジア地域文化研究】	28
	【スワヒリ語・アフリカ研究】	29
	【ハンガリー語・ハンガリー研究】	30
	【デンマーク語・北欧研究】	31
	【英語・英米文化学】	32
	【イタリア語・イタリア文化学】	36
	【スペイン語・スペイン文化学】	37
	【ポルトガル語・ポルトガル語圏文化学】	38
文学部	【人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）】	39
	【人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）】	40
人間科学部	【人間科学（共生の生態）】	41
法学部	【法学・政治学】	42
経済学部	【経済学・経営学】	43
理学部	【理学】	44
工学部	【工学】	45
基礎工学部	【基礎工学】	46
数理・データ科学		
教育研究センター	【数理・データサイエンス・AI】	48

2025年度 マルチリンガル・エキスパート養成（MLE）大学院プログラム紹介 49

人文学	（グローバル・アジア・スタディーズ）	49
	（グローバル・ユーロ・スタディーズ）	50
言語文化学		51
人間科学	（共生の生態）	55
法学・政治学		56
経済学・経営学		57
国際公共政策学		59
大学院生のための工学入門		60
データサイエンス		61

関係資料 62

- 大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラムに関する申合せ
- 大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラムの一部として実施される学部プログラムに関する覚書

1 プログラムの概要

「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（学部プログラム・大学院プログラム）」とはどのようなものか解説します。

（１）「マルチリンガル・エキスパート養成（MLE）プログラム（学部プログラム・大学院プログラム）」の構成

マルチリンガル・エキスパート養成（MLE）プログラムは、「学部プログラム」と「大学院プログラム」からなります。

学部プログラム

※学部プログラムは「レギュラープログラム」と「ショートプログラム」に分かれます。

※「レギュラープログラム」「ショートプログラム」ともに、各学部が定める要件を満たした履修生には学部修了時に学部プログラム修了認定証が交付されます。

レギュラープログラム（修了要件単位数が24以上）

「人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）」、「人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）」、「人間科学（共生の生態）」、「法学・政治学」、「経済学・経営学」、「英語・英米文化学」

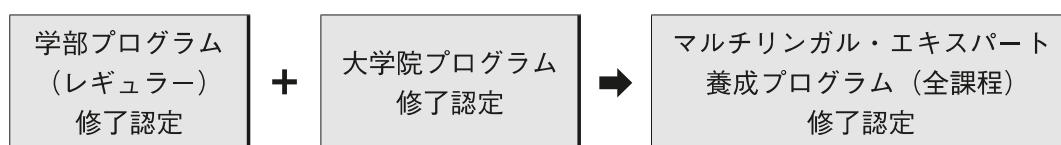
ショートプログラム（修了要件単位数が12以上）

「理学」、「工学」、「基礎工学」、「数理・データサイエンス・AI」、「インドネシア語・インドネシア研究」、「タイ語・タイ地域研究」、「ベトナム語・東南アジア研究」、「ウルドゥー語・南アジア地域文化研究」、「スワヒリ語・アフリカ研究」、「ハンガリー語・ハンガリー研究」、「デンマーク語・北欧研究」、「イタリア語・イタリア文化学」、「スペイン語・スペイン文化学」、「ポルトガル語・ポルトガル語圏文化学」

大学院プログラム

※各研究科が定める要件を満たした履修生には、課程修了時に大学院副専攻プログラムの修了認定証が交付されます。

※学部プログラムのうち、レギュラープログラムの修了者が大阪大学の大学院に進学した場合、次頁の図1に示される組み合わせで大学院プログラムを修了すると、学部プログラムと大学院プログラムを合わせてのマルチリンガル・エキスパート養成プログラム（全課程）修了認定証が交付されます。



※大学院プログラムの募集対象者については、10-12頁および47-59頁をご覧ください。

2025年度開設のプログラムに基づいた履修パターン【図1】

所属学部	履修する 学部プログラム	進学先研究科	履修できる 大学院プログラム
外国語学部	人 文 学	人 文 学 研 究 科 ③ ④ ⑥ 人 文 学 研 究 科 ① ② ④ ⑤ ⑥	人 文 学 言 語 文 化 学
	人 間 科 学	人 文 学 研 究 科 ③ ④ ⑥ 人 間 科 学 研 究 科 人 文 学 研 究 科 ④ ⑥	人 間 科 学 言 語 文 化 学
	法 学 ・ 政 治 学	人 文 学 研 究 科 ③ ④ ⑥ 法 学 研 究 科 国 際 公 共 政 策 研 究 科 人 文 学 研 究 科 ④ ⑥	法 学 ・ 政 治 学 国 際 公 共 政 策 学 言 語 文 化 学
	経 済 学 経 営 学	人 文 学 研 究 科 ③ ④ ⑥ 経 済 学 研 究 科 国 際 公 共 政 策 研 究 科 人 文 学 研 究 科 ④ ⑥	経 済 学 ・ 経 営 学 国 際 公 共 政 策 学 言 語 文 化 学
文 学 部	英 ・ 語 英 米 文 化 学	人 文 学 研 究 科 ① ② ④ ⑤ ⑥ 人 文 学 研 究 科 ③ ④ ⑥	言 語 文 化 学 人 文 学
人 間 科 学 部	英 ・ 語 英 米 文 化 学	人 文 学 研 究 科 ④ ⑥ 人 間 科 学 研 究 科 人 文 学 研 究 科 ③ ④ ⑥	言 語 文 化 学 人 間 科 学
法 学 部	英 ・ 語 英 米 文 化 学	人 文 学 研 究 科 ④ ⑥ 法 学 研 究 科 国 際 公 共 政 策 研 究 科 人 文 学 研 究 科 ③ ④ ⑥	言 語 文 化 学 法 学 ・ 政 治 学 国 際 公 共 政 策 学
経 済 学 部	英 ・ 語 英 米 文 化 学	人 文 学 研 究 科 ④ ⑥ 経 済 学 研 究 科 国 際 公 共 政 策 研 究 科 人 文 学 研 究 科 ③ ④ ⑥	言 語 文 化 学 経 済 学 ・ 経 営 学 国 際 公 共 政 策 学
工 学 部	英 ・ 語 英 米 文 化 学	人 文 学 研 究 科 ④ ⑥ 工 学 研 究 科	言 語 文 化 学
理 学 部	英 ・ 語 英 米 文 化 学	人 文 学 研 究 科 ④ ⑥ 理 学 研 究 科	言 語 文 化 学
基 礎 工 学 部	英 ・ 語 英 米 文 化 学	人 文 学 研 究 科 ④ ⑥ 基 礎 工 学 研 究 科	言 語 文 化 学

◎人文学研究科

①人文学専攻、②芸術学専攻、③外国学専攻、④言語文化学専攻、⑤日本学専攻基礎日本学コース、⑥日本学専攻応用日本学コース

◎ショートプログラム「理学」、「工学」、「基礎工学」、「数理・データサイエンス・AI」、「インドネシア語・インドネシア研究」、「タイ語・タイ地域研究」、「ベトナム語・東南アジア研究」、「ウルドゥー語・南アジア地域文化研究」、「スワヒリ語・アフリカ研究」、「ハンガリー語・ハンガリー研究」、「デンマーク語・北欧研究」、「イタリア語・イタリア文化学」、「スペイン語・スペイン文化学」、「ポルトガル語・ポルトガル語圏文化学」は、学部プログラムの修了認定はされますが、大学院プログラムと合わせてのマルチリンガル・エキスパート養成プログラム（全課程）の修了認定はされません。

※上記の履修パターンは【全課程】に基づいたものです。上記以外の履修は【全課程】の対象外となりますが、プログラムを履修することは可能です。（所属する専攻・研究科が開設しているプログラムのみ履修することができます。）

(2) プログラムの区分

プログラムは、以下のように区別されています。

	学部プログラム	大学院プログラム
概 要	① 外国語学部の学生が、他の学部が開設する専門教育レベルの人文科学、人間科学、法学・政治学、経済学・経営学、理学、工学、基礎工学、数理・データサイエンス・AIの分野から一つを選び、本来の専攻分野と合わせて体系的に学修することができるプログラム。 ② 学部生（外国語学部を除く）が、外国語学部が提供する専門教育レベルの語学・文化学の分野を、一つの専攻語を選んで学び、本来の専攻分野と合わせて体系的に学修することができるプログラム。	① 人文学研究科言語文化学専攻・外国学専攻・日本学応用日本学コースの学生が、他の研究科・専攻が提供する専門教育レベルの人文科学、人間科学、法学・政治学、経済学・経営学、工学、国際公共政策学、データサイエンスの分野から一つを選び、本来の専攻分野と合わせて体系的に学修することができるプログラム。 ② 大学院生（人文学研究科外国学専攻を除く）が、人文学研究科外国学専攻が開設する専門教育レベルの語学・文化学の分野を、一つの専攻語を選んで学び、本来の専攻分野と合わせて体系的に学修することができるプログラム。
募集対象者 ^{※1}	学部の2年次以上の正規学生	11-14頁をご覧ください。
修了要件	レギュラープログラム：24単位以上 ショートプログラム：12単位以上24単位未満 ^{※2}	副専攻プログラム：14単位以上 高度副プログラム：プログラム毎に定められている単位以上
プログラム数	① 9プログラム ② 11プログラム	① 8プログラム ② 1プログラム

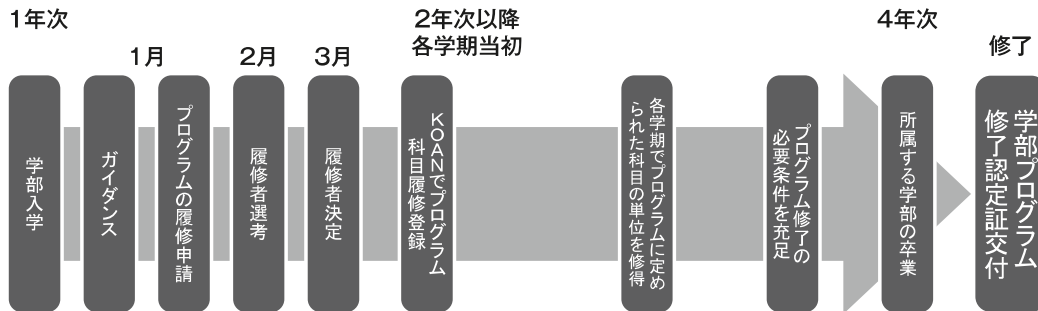
(※1) プログラムごとに設定が異なりますので、必ず各プログラムの紹介等で確認してください。

(※2) 学部プログラムの修了に必要な単位数は次のとおりとし、各学部プログラムごとにこれを定めるものとします。

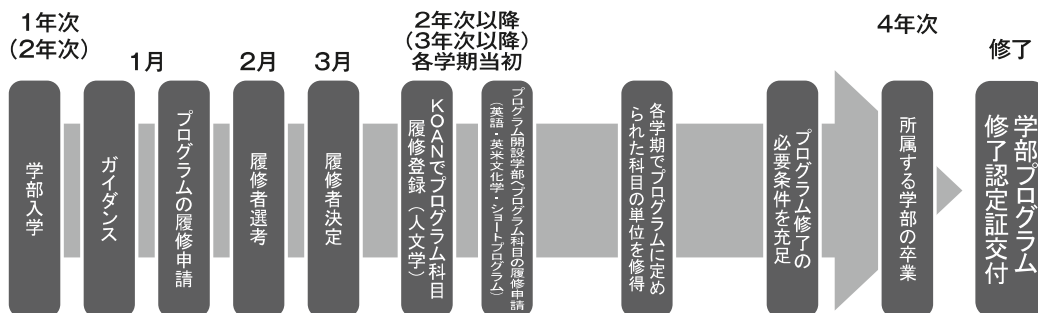
- (1) レギュラープログラム 24単位以上
- (2) ショートプログラム 12単位以上24単位未満

(3) プログラムの履修開始から修了までの流れ【図2】

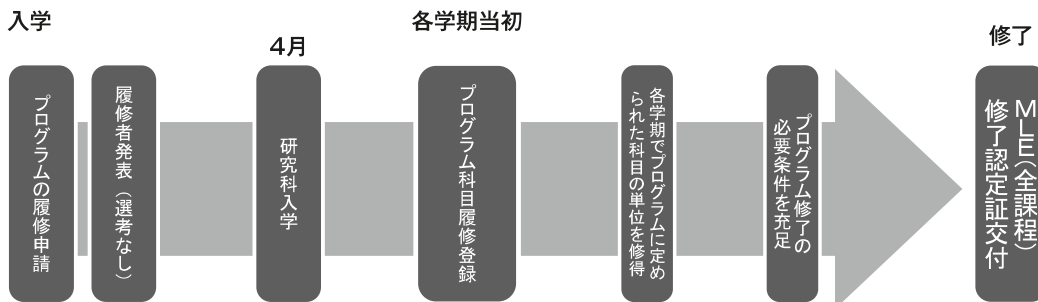
- ① 学部プログラム「人間科学」、「法学・政治学」、「経済学・経営学」を履修する場合



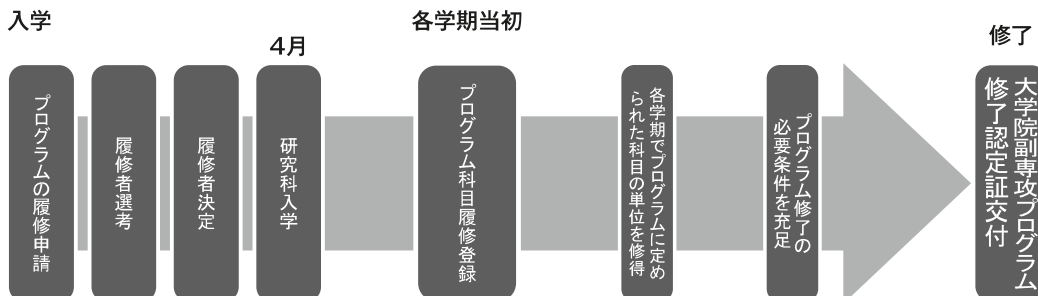
- ② 学部プログラム「人文学」、「英語・英米文化学」、「ショートプログラム」を履修する場合



- ③ 学部プログラム（レギュラープログラム）を修了した学生が2頁図1の履修パターンどおり大学院プログラムを履修する場合



- ④ ③以外で大学院プログラムを履修する場合



レギュラープログラム

・「人文学」、「人間科学」、「法学・政治学」、「経済学・経営学」、「英語・英米文化学」

ショートプログラム

・「理学」、「工学」、「基礎工学」、「数理・データサイエンス・AI」、「インドネシア語・インドネシア研究」、「タイ語・タイ地域研究」、「ベトナム語・東南アジア研究」、「ウルドゥー語・南アジア地域文化研究」、「スワヒリ語・アフリカ研究」、「ハンガリー語・ハンガリー研究」、「デンマーク語・北欧研究」、「イタリア語・イタリア文化学」、「スペイン語・スペイン文化学」、「ポルトガル語・ポルトガル語圏文化学」

・「数理・データサイエンス・AI」の履修については全学教育推進機構またはMLE担当の指示に従ってください。

2 募集対象者・履修条件等について

MLE プログラムを履修することができる者、条件の概要を解説します。

(1) 募集対象者

◆学部プログラム

開設学部	プログラム	募集対象者
文 学 部	人文学（グローバル・アジア・スタディーズ） 人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）	2025年度（令和7年度）に大阪大学の外国語学部の2、3年次に在学する正規学生
理 学 部	理学	
工 学 部	工学	
基 礎 工 学 部	基礎工学	
数理・データ科学教育研究センター	数理・データサイエンス・AI	2025年度（令和7年度）に大阪大学の学部（外国語学部を除く）の2、3年次に在学する正規学生
人 間 科 学 部	人間科学（共生の生態）	
法 学 部	法学・政治学	
経 済 学 部	経済学・経営学	
外 国 語 学 部	英語・英米文化学	
	インドネシア語・インドネシア研究	
	タイ語・タイ地域研究	
	ベトナム語・東南アジア研究	
	ウルドゥー語・南アジア地域文化研究	
	スワヒリ語・アフリカ研究	
	ハンガリー語・ハンガリー研究	
	デンマーク語・北欧研究	
	イタリア語・イタリア文化学	
	スペイン語・スペイン文化学	
	ポルトガル語・ポルトガル語圏文化学	

◆大学院プログラム

開設研究科	プログラム	募集対象者
人 文 学 研 究 科	人文学（グローバル・アジア・スタディーズ） 人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ） 言語文化学	11-14頁をご覧ください。
人 間 科 学 研 究 科	人間科学（共生の生態）	
法 学 研 究 科	法学・政治学	
経 済 学 研 究 科	経済学・経営学	
国際公共政策研究科	国際公共政策学	
工 学 研 究 科	大学院生のための工学入門	
数理・データ科学教育研究センター	データサイエンス	

(2) 履修条件

学部プログラムにおいては、大阪大学の学部の課程に在学していることが必要です。大学院プログラムにおいては、大阪大学の大学院の修士もしくは博士前期課程に在学していることが必要です。（どちらも科目等履修生・特別聴講学生をのぞく）。その他、プログラムごとに履修条件や履修者数の制限を設けている場合がありますので、個々のプログラム紹介を参照してください。

なお、MLE プログラムの複数のプログラムを同時に履修することはできませんので、プログラムの履修申請に際しては、MLE プログラムの中から1つを選択して履修申請手続きを行って

ください。

(3) 費用

プログラムを履修することに対しては特別な費用はかかりません。ただし、プログラムの科目によっては、授業を受ける際に交通費などの実費がかかることがあります。

3 各プログラムのカリキュラム内容について

プログラムのカリキュラムの成り立ちや修了の方法について解説します。

(1) プログラムのカリキュラムについて

各プログラムのカリキュラムは、プログラム開設部局が企画し、プログラム科目や修了要件単位数を決めています。プログラム科目は、プログラム開設部局で開講する授業科目から構成されています。本冊子ではプログラムの概要を紹介していますが、科目の内容や構成科目については、ホームページ、KOANのシラバス等を参照してください。

(2) プログラムの修了要件の満たし方について

◆学部プログラムの修了要件の満たし方（本冊子の補足事項14頁を参照）

修了要件はプログラムごとに違い、本冊子には、プログラムの修了に必要な最低単位数を記載していますが、プログラムによっては必修科目を設けたり、コースを選択したりするなど、条件に違いがあります。詳細については、各プログラムの紹介ページ（25-48頁）等で確認してください。

なお、プログラムの修了に必要な単位と所属している学部の学科の卒業に必要な単位との重複は認められます。当該プログラムの単位が、学科の卒業に必要な単位として認められるかどうかは、所属学部の教務担当係に確認してください。

◆大学院プログラムの修了要件の満たし方

修了要件はプログラムごとに違い、本冊子には、プログラムの修了に必要な最低単位数を記載していますが、プログラムによっては必修科目を設けたり、コースを選択したりするなど、条件に違いがあります。詳細については、各プログラムの紹介ページ（49-61頁）等で確認してください。

プログラムの修了に必要な単位と、所属している研究科の専攻の修了に必要な単位との重複は認められます。当該プログラムの単位が、専攻の修了に必要な単位として認められるかどうかは、所属研究科の教務担当係に確認してください。

なお、他の大学院副専攻プログラムと本大学院プログラムを履修する場合、各プログラムの修了に必要な単位の重複は認めます。

(3) プログラムの授業科目の開講期間について

プログラムの提供する授業科目の開講は、プログラムを履修している当該学生の課程の標準修業年限内は保証されますが、それ以降はカリキュラムの変更等の理由で開講されない場合がありますのでご注意ください。

4 プログラムの履修申請等に関する手続について

プログラムの履修申請、プログラム科目の履修について解説します。

(1) プログラムの履修開始時の手続について

学部プログラム

外国語学部生向け

レギュラープログラム：24単位以上

◆対象学生：外国語学部の2，3年次に在学する正規学生

- ・人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）
- ・人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）

◆対象学生：外国語学部の2年次に在学する正規学生

- ・人間科学（共生の生態）
- ・法学・政治学
- ・経済学・経営学

ショートプログラム：12単位以上

◆対象学生：外国語学部の2，3年次に在学する正規学生対象

- ・理学
- ・工学
- ・基礎工学
- ・数理・データサイエンス・AI

履修申請について

◆応募希望者は、1つのプログラムを選択し、下記の期間内に各プログラム開設部局の教務係宛にメールで申請、または直接窓口へ提出すること。

※「理学」「工学」「基礎工学」「数理・データサイエンス・AI」のプログラムは、MLE事務局へ提出。

◆人文学プログラムをメールで申請する場合は件名に、【MLE_申請_】の後に、アジアもしくはユーロを明記すること。

◆「法学・政治学」プログラムの申請書をメールではなく、直接窓口へ申請書を提出する場合は、法学部教務係投函用ボックス（教務係入口左横）に投函すること。

◆「理学」「工学」「基礎工学」「数理・データサイエンス・AI」プログラムで直接窓口へ申請書を提出する場合は、外国語学部豊中分室もしくは、外国語学部箕面事務部2F事務室MLE担当へ提出すること。

◆履修申請書の様式は、右記QRコードまたは、MLEのホームページで入手できます。

MLE ホームページ：<https://mle.osaka-u.ac.jp/program/application.html>

（メールで提出の場合）応募書類を添付の上、下記のE-Mailアドレスまで送付ください。

開設部局教務係【@マーク】office.osaka-u.ac.jp

multilingual【@マーク】office.osaka-u.ac.jp

※件名を【MLE_申請_学籍番号_氏名】とすること。

※添付ファイルにはセキュリティ対策を十分に施したうえで添付ファ



2025年
学部プログラム
履修申請書

イルを送付すること。
※開設部局教務係または、MLE 事務局から受領のメールが届いた時点で受付完了となります。申請後、数日たっても連絡がない場合は、問い合わせてください。

履修申請書の提出期間 2025年1月20日（月）～2月20日（木）15：00必着

成績証明書提出方法について

- ◆履修申請書を申請した後、秋冬学期の成績が記載されている成績証明書を下記の期間内に各プログラム開設部局教務係宛または、MLE 事務局にメールで申請もしくは直接窓口へ提出すること。
※「法学・政治学」「工学」「基礎工学」「数理・データサイエンス・AI」のプログラムは提出不要。
- ◆人文学プログラムをメールで申請する場合は件名に、【MLE_成績証明書_】の後に、アジアもしくはユーロを明記すること。
（メールで提出の場合）応募書類を添付の上、下記の E-Mail アドレスまで送付ください。
開設部局教務係 【@ マーク】office.osaka-u.ac.jp
multilingual 【@ マーク】office.osaka-u.ac.jp
※件名を【MLE_成績証明書_学籍番号_氏名】とすること。
※添付ファイルにはセキュリティ対策を十分に施したうえで添付ファイルを送付すること。
※開設部局教務係または、MLE 事務局から受領のメールが届いた時点で受付完了となります。申請後、数日たっても連絡がない場合は、問い合わせてください。

成績証明書の提出期限 2025年3月5日（水）15：00必着

選考について

- ◆開設部局の定める方法により履修生を選考し、3月下旬に開設部局、またはMLE事務局から合格者のみ、通知いたします。

科目履修について

- ◆選考を経て履修生となった学生は、学期ごとに各プログラムの定めるルールに従って、科目履修申請やKOAN、あるいはメールで所定の履修登録期間内に科目履修登録をします。詳細はMLEのHPまたはメールでお知らせします。

学部生（外国語学部を除く）向けプログラム

レギュラープログラム：24単位以上

- ◆対象学生：学部の2，3年次に在学する正規学生
・英語・英米文化学

ショートプログラム：12単位以上

- ◆対象学生：学部の2年次に在学する正規学生

- ・インドネシア語・インドネシア研究
- ・タイ語・タイ地域研究
- ・ベトナム語・東南アジア研究
- ・ウルドゥー語・南アジア地域文化研究
- ・スワヒリ語・アフリカ研究
- ・ハンガリー語・ハンガリー研究
- ・デンマーク語・北欧研究
- ・イタリア語・イタリア文化学
- ・スペイン語・スペイン文化学
- ・ポルトガル語・ポルトガル語圏文化学

履修申請について

- ◆応募希望者は、1つのプログラムを選択し、下記の期間内にMLE事務局宛にメールで申請、もしくは外国語学部豊中分室もしくは、外国語学部箕面事務部事務室2F MLE担当に提出すること。
- ◆「英語・英米文化学」を受講するには、英語検定のスコアが必要になります。35頁の「別表：英語・英米文化学プログラム・2025年度検定試験のスコア提出について」を確認して、検定試験のスコア画像（検定試験の種類、受検年月日、氏名、スコアが印字されている部分）を提出すること。
- ◆履修申請書の様式は、右記QRコードまたは、MLEのホームページで入手できます。
MLE ホームページ：<https://mle.osaka-u.ac.jp/program/application.html>
（メールで提出の場合）応募書類を添付の上、下記のE-Mailアドレスまで送付ください。
multilingual【@マーク】office.osaka-u.ac.jp
※件名を【MLE_申請_学籍番号_氏名】とすること。
※添付ファイルにはセキュリティ対策を十分に施したうえで添付ファイルを送付すること。
※MLE事務局から受領のメールが届いた時点で受付完了となります。
申請後、数日たっても連絡がない場合は、問い合わせてください。



履修申請書の提出期間 2025年1月20日（月）～2月20日（木）15：00必着

成績証明書提出方法について

- ◆履修申請書を申請した後、秋冬学期の成績が記載されている成績証明書を下記の期間内にMLE事務局にメールで提出もしくは直接所属学部の教務係に提出すること。ただし、文学部生、人間科学部生、法学部生、経済学部生以外の学生は、MLE事務局に提出すること。
- ◆法学部生で、直接成績証明書を窓口に出す場合は、法学部教務係投函用ボックス（教務係入口左横）に投函すること。
（メールで提出の場合）応募書類を添付の上、下記のE-Mailアドレスまで送付ください。
multilingual【@マーク】office.osaka-u.ac.jp
※件名を【MLE_申請_学籍番号_氏名】とすること。
※添付ファイルにはセキュリティ対策を十分に施したうえで添付ファイルを送付すること。

※ MLE 事務局から受領のメールが届いた時点で受付完了となります。
申請後、数日たっても連絡がない場合は、問い合わせてください。

成績証明書の提出期限 2025年3月5日（水）15：00必着

選考について

- ◆開設部局の定める方法により履修生を選考し、3月下旬に開設部局、または MLE 事務局から合格者のみ、通知いたします。

科目履修について

- ◆選考を経て履修生となった学生は、学期ごとに各プログラムの定めるルールに従って、科目履修申請や KOAN、あるいはメールで所定の履修登録期間内に科目履修登録をします。詳細は MLE の HP またはメールでお知らせします。

大学院プログラム

1. MLE 学部プログラム修了生（2 頁の図 1 参照）

副専攻プログラム：14単位以上

- ・人文学研究科：人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）
人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）
言語文化学
- ・人間科学研究科：人間科学（共生の生態）
- ・法学研究科：法学・政治学
- ・経済学研究科：経済学・経営学
- ・国際公共政策研究科：国際公共政策学

高度副プログラム

- ・工学研究科：大学院生のための工学入門（5.2単位以上）
- ・数理・データ科学教育研究センター：データサイエンス（8 単位以上）

募集対象

- ◆2025年4月（または、10月入学の場合は、2024年10月）に大阪大学の大学院の修士もしくは博士前期課程に入学する（した）者

選考

- ◆なし

申請方法

- ◆所定の履修申請書に記入し、MLE 事務局にメールで申請してください。
- ◆履修申請書の様式は、右記 QR コードまたは、MLE のホームページで入手できます。
MLE ホームページ：<https://mle.osaka-u.ac.jp/program/application.html>
（メールで提出の場合）応募書類を添付の上、下記の E-Mail アドレスまで送付ください。



2025年度
大学院プログラム
履修申請書

multilingual【@マーク】office.osaka-u.ac.jp

※件名を【MLE 大学院プログラム_申請】とすること。

※添付ファイルにはセキュリティ対策を十分に施したうえで添付ファイルを送付すること。

※ MLE 事務局から受領のメールが届いた時点で受付完了となります。
申請後、数日たっても連絡がない場合は、問い合わせてください。

2. MLE 学部プログラム修了生以外

副専攻プログラム：14単位以上

・人文学研究科：言語文化学

募集対象

◆2025年4月（または、10月入学の場合は、2024年10月）に大阪大学の大学院（人文学研究科 外国学専攻を除く）の修士もしくは博士前期課程に入学する（した）者

定員

◆若干名

申請方法

◆以下の送付先に、申請期間中に必着となるよう、以下の書類を簡易書留等記録の残る方法で、
郵送または MLE 事務局にメールで申請すること。

選考

◆書類選考（面接を課すこともあります）

◆3月下旬に MLE 事務局から合格者のみ、通知いたします。

必要書類

◆①履修申請書 ②最終学校の成績証明書の写し ③外国語の能力を証明するものの写し

◆履修申請書の様式は、右記 QR コードまたは、MLE のホームページで入手できます。

MLE ホームページ：<https://mle.osaka-u.ac.jp/program/application.html>

（メールで提出の場合）応募書類を添付の上、下記の E-Mail アドレスまで送付
ください。

multilingual【@マーク】office.osaka-u.ac.jp

※件名を【MLE 大学院プログラム_申請】とすること。

※添付ファイルにはセキュリティ対策を十分に施したうえで添付ファイルを送付すること。

※ MLE 事務局から受領のメールが届いた時点で受付完了となります。
申請後、数日たっても連絡がない場合は、問い合わせてください。

（郵送の場合）応募書類を同封の上、下記の宛先に郵送してください。

〒562-8678 大阪府箕面市船場東3丁目5-10

大阪大学人文学研究科箕面事務部 MLE 担当 宛

※封筒の表に、「マルチリンガル・エキスパート養成大学院プログラム応募書類
類在中」と朱書きすること。



2025年度
大学院プログラム
履修申請書

3. MLE 学部プログラム修了生以外

副専攻プログラム：14単位以上

- ・人文学研究科：人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）
人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）
- ・人間科学研究科：人間科学（共生の生態）
- ・法学研究科：法学・政治学
- ・経済学研究科：経済学・経営学
- ・国際公共政策研究科：国際公共政策学

高度副プログラム

- ・工学研究科：大学院生のための工学入門（5.2単位以上）
- ・数理・データ科学教育研究センター：データサイエンス（8単位以上）

募集対象

- ◆2025年4月（または、10月入学の場合は、2024年10月）に大阪大学の人文学研究科言語文化学専攻、外国学専攻、日本学専攻 応用日本学コースの博士前期課程に入学する（した）者

定員

- ◆若干名

申請方法

- ◆以下の送付先に、申請期間中に必着となるよう、以下の書類を簡易書留等記録の残る方法で、郵送または MLE 事務局にメール で申請すること。

選考

- ◆書類選考（面接を課すこともあります）
- ◆3月下旬に MLE 事務局から合格者のみ、通知いたします。

必要書類

- ◆①履修申請書 ②最終学校の成績証明書の写し
- ◆履修申請書の様式は、右記 QR コードまたは、MLE のホームページで入手できます。
MLE ホームページ：<https://mle.osaka-u.ac.jp/program/application.html>
（メールで提出の場合）応募書類を添付の上、下記の E-Mail アドレスまで送付ください。
multilingual【@マーク】office.osaka-u.ac.jp
※件名を【MLE 大学院プログラム_申請】とすること。
※添付ファイルにはセキュリティ対策を十分に施したうえで添付ファイルを送付すること。
※ MLE 事務局から受領のメールが届いた時点で受付完了となります。
申請後、数日たっても連絡がない場合は、問い合わせてください。
（郵送の場合）応募書類を同封の上、下記の宛先に郵送してください。
〒562-8678 大阪府箕面市船場東3丁目5-10
大阪大学人文学研究科箕面事務部 MLE 担当 宛
※封筒の表に、「マルチリンガル・エキスパート養成大学院プログラム応募書



2025年度
大学院プログラム
履修申請書

類在中」と朱書きすること。

履修申請書の提出期間 2025年2月17日（月）～3月7日（金）15：00必着

科目履修について

◆選考を経て履修生となった学生は、学期ごとに開設研究科の定めるルールに従って、科目履修申請やKOAN、あるいはメールで所定の履修登録期間内に科目履修登録をします。詳細はMLEのHPまたはメールでお知らせします。

（２）プログラム及びプログラム科目に関わる通知について

プログラムに関する通知や、プログラム科目の授業運営に関する通知（休講、課題等）の連絡は、原則、KOAN（掲示板等）により行います。ただし、プログラムによってはメールやホームページを使用する場合がありますので、各プログラムの指示に従ってください。

（３）プログラムの修了について

◆学部プログラム

学部プログラムの修了に必要な条件を全て満たすと、所属学部の課程を卒業するときに学部プログラムの修了認定証を授与します。修了認定証の交付は、所属する学部の教務担当係より行われます。

◆大学院プログラム

大学院プログラムの修了に必要な条件を全て満たすと、大学院副専攻プログラム、大学院高度副プログラムの修了認定証を授与します。修了認定証の交付は、所属する研究科の教務担当係より行われます。

◆マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（全課程）

本プログラムの学部プログラムのうち、レギュラープログラムと大学院副専攻プログラムの両プログラムを修了した者には、大学院副専攻プログラム修了認定証に加えてマルチリンガル・エキスパート養成プログラム（全課程）の修了認定証を授与します。修了認定証の交付は、所属する研究科の教務担当係より行われます。（2頁の図1参照）

(4) プログラムの内容に関する問い合わせ先

人文学研究科箕面事務部

マルチリンガル・エキスパート養成プログラム (MLE) 担当

〒562-8678 箕面市船場東 3 丁目 5 -10

Email: multilingual@office.osaka-u.ac.jp

ホームページ URL: <https://www.mle.osaka-u.ac.jp/>



MLE HP



MLE Email



学部プログラム
履修申請書



大学院プログラム
履修申請書

5 補足事項

以下の補足事項は、2023年度以前にプログラムの履修を開始した学生に適用されます。

2024年度以降にプログラムの履修を開始する学生は、プログラムの要件単位数を満たすことでプログラムの修了が認定されます。

(1) 単位修得方法の注意点

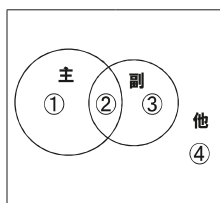
◆学部プログラム

「学部プログラム」は、所属学部・学科以外の内容や所属学科の専門性を生かすための関連分野を学ぶプログラムです。よって、プログラムの要件単位数を満たしても、所属学部・学科の卒業要件単位と重複する（内数として利用される）単位のみでは同プログラムを修了したと認定されず、【制度上の最低修得単位数の半数以上】は、当該プログラムのための単位として修得する必要があります。すなわち、レギュラープログラムにおいては【12単位以上】、ショートプログラムにおいては【6単位以上】は、学部・学科の卒業要件ではない単位、あるいは卒業要件単位となる科目で卒業のために利用する単位数以上の余分に追加された単位である必要があります。

なお、プログラム科目が所属学部・学科以外の構成科目でも、同学部が規定する申請を行うことにより、卒業要件単位に算入することができる場合がありますが、当該科目を卒業要件の内数として利用する場合は、それ以外に単位の上乗せが必要となる場合があることに注意が必要です。

図解例

修得した単位を下記の区分①～④に分けた場合、



- ①…学部の卒業要件科目の単位
- ②…学部の卒業要件科目かつ学部プログラム科目の単位
- ③…学部プログラム科目の単位
- ④…学部の卒業要件【外】科目かつ学部プログラム【外】科目の単位

所属学部の卒業要件単位数を「(A) 単位」とすると、以下の3つの条件をすべて満たすことが必要です。

- **条件1**：学部プログラムの修了要件単位を満たすこと。
- **条件2**：『①+②+③ $\geq$ (A)+12（レギュラープログラム）あるいは6（ショートプログラム）』を満たすこと。
(例. 学部プログラムを申請し、(A)=126の場合、「138単位以上」)
学部プログラム科目の単位と、所属している学部の卒業要件単位との重複は認められるが、学部の卒業に必要な最低修得単位数以外に当該学部プログラム修得のために必要な単位数の半数以上の単位を修得することが必要。
- **条件3**：所属学部を卒業すること。

※詳しくは、所属の教務係にお問い合わせください。

6 Q & A

履修希望者および実際の履修生よりいただいた質問とその回答を紹介します。

募集・申請

Q：募集人員の「若干名」とは、何名程度の想定ですか？

A：募集人員「若干名」の人数想定としては、1～10名程度を想定しており、各プログラムへの応募者数や応募者の成績等を基に、プログラムごとに決定されます。

Q：なぜ、募集人員を若干名に限るのですか？

A：学部プログラムについては、文学部、人間科学部、外国語学部、法学部、経済学部、理学部、工学部、基礎工学部、数理・データ科学教育研究センター（全教）の専門教育科目の授業を他学部の学生が履修するという形で開講するものであるため、教室の定員や授業効果等の観点から、各プログラムとも募集人員を「若干名」に限ることとしています。

Q：現在開設されているプログラムの採用者数は何名ですか？

A：以下のとおりです。

2024年度（合計65名）

「人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）」 4 名

「人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）」 10名

「人間科学（共生の生態）」 10名

「法学・政治学」 8 名

「経済学・経営学」 4 名

「理学」 3 名

「工学」 3 名

「基礎工学」 2 名

「数理・データサイエンス・AI」 7 名

「インドネシア語・インドネシア研究」 1 名

「ベトナム語・東南アジア研究」 1 名

「ウルドゥー語・南アジア地域文化研究」 0 名

「スワヒリ語・アフリカ研究」 2 名

「ハンガリー語・ハンガリー研究」 1 名

「デンマーク語・北欧研究」 2 名

「英語・英米文化学」 3 名

「イタリア語・イタリア文化学」 1 名

「スペイン語・スペイン文化学」 2 名

「ポルトガル語・ポルトガル語圏文化学」 1 名

2023年度（合計65名）

「人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）」 0 名

「人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）」 10名

「人間科学（共生の生態）」 10名

「法学・政治学」 8 名

「経済学・経営学」 7 名
「理学」 4 名
「工学」 0 名
「数理・データサイエンス・AI」 8 名
「英語・英米文化学」 8 名
「スペイン語・スペイン文化学」 2 名
「ポルトガル語・ポルトガル文学」 0 名
「イタリア語・イタリア文化学」 3 名
「インドネシア語・インドネシア研究」 0 名
「スワヒリ語・アフリカ研究」 2 名
「ウルドゥー語・南アジア地域文化研究」 1 名
「ベトナム語・東南アジア研究」 0 名
「デンマーク語・北欧研究」 2 名

2022年度（合計46名）

「人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）」 0 名
「人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）」 6 名
「人間科学（共生の生態）」 11 名
「法学・政治学」 7 名
「経済学・経営学」 8 名
「工学」 2 名
「数理・データサイエンス・AI」 3 名
「英語・英米文化学」 4 名
「スペイン語・スペイン文化学」 1 名
「ポルトガル語・ポルトガル文化学」 0 名
「イタリア語・イタリア文化学」 1 名
「インドネシア語・インドネシア研究」 0 名
「スワヒリ語・アフリカ研究」 1 名
「ウルドゥー語・南アジア地域文化研究」 2 名
「ベトナム語・東南アジア研究」 0 名

2021年度（合計48名）

「人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）」 6 名
「人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）」 3 名
「人間科学（共生の生態）」 10 名
「法学・政治学」 8 名
「経済学・経営学」 6 名
「英語・英米文化学」 7 名
「スペイン語・スペイン文化学」 3 名
「ポルトガル語・ポルトガル文化学」 0 名
「イタリア語・イタリア文化学」 1 名
「インドネシア語・インドネシア研究」 4 名
「スワヒリ語・アフリカ研究」 0 名

2020年度（合計70名）

「人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）」 5名
「人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）」 20名
「人間科学（共生の生態）」 11名
「法学・政治学」 8名
「経済学・経営学」 8名
「英語・英米文化学」 11名
「スペイン語・スペイン文化学」 4名
「ポルトガル語・ポルトガル文化学」 0名
「イタリア語・イタリア文化学」 3名

2019年度（合計46名）

「人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）」 3名
「人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）」 6名
「人間科学（共生の生態）」 10名
「法学・政治学」 7名
「経済学・経営学」 9名
「英語・英米文化学」 10名
「スペイン語・スペイン文化学」 1名
「ポルトガル語・ポルトガル文化学」 0名

Q：海外渡航などで期限までに成績証明書を取得できない場合はどうすればよいですか？

A：所属学部ของ教务係に申し出てください。正当な理由と認められれば、代理で成績証明書を取得し当該学部提出します。

Q：今年度不採用の場合、来年度に応募することは可能ですか？

A：2年次を募集対象とするプログラムは、2年次しか応募できません。3年次を募集対象としているプログラムでは3年次の応募は可能です。しかしながら、対象となる年次が変更される可能性がありますので、応募の際にはこの点を必ず確認してください。

履修者の選考

Q：履修者の選考方法や選考基準は、具体的にはどのようなものですか？

A：各学部プログラムの履修者は、次の方法で選考されます。

〈人文学〉

履修申請書（志望理由）および成績等の審査の結果を総合して選考します。希望者多数の場合は、面接を課すこともあります。

〈人間科学〉

履修申請書（志望理由）および成績等の審査の結果を総合して選考します。

〈英語・英米文化学〉

履修申請書（志望理由）および成績等の審査の結果を総合して選考します。必要に応じて面接を課すこともあります。

〈法学・政治学〉

履修希望者多数の場合は、入学以降の成績（GPA）及び履修申請書（志望理由）を総合

して選考し、履修者を決定します。

〈経済学・経営学〉

履修申請書（志望理由）および成績等の審査の結果を総合して選考します。希望者多数の場合は、面接を課すこともあります。

〈理学部〉、〈工学部〉、〈基礎工学部〉、〈数理・データ科学教育研究センター〉

履修希望者多数の場合は、入学以降の成績（GPA）及び履修申請書（志望理由）を総合して選考し、履修者を決定します。

Q：学部プログラムを履修するのには、どの程度の GPA が必要ですか？

A：各プログラムとも GPA の基準は設けられていません。

カリキュラム・授業

Q：プログラム科目の時間割はいつ発表されるのですか？

A：各プログラムの科目の時間割の発表予定時期は次のとおりです。

（なお、発表後に一部変更される場合もあります。）

2025年3月中旬

Q：授業科目にⅠやⅡ、1や2がついているものは、ⅠやⅡから履修した方がよいですか？

A：〈人文学〉

ⅠやⅡなどのローマ数字は講義内容の相違を示しており、履修すべき順を表しているわけではありません。

〈人間科学〉

特にシラバスで断りがない限りは、Ⅱや2を先に履修することも、またⅡや2だけを履修することもできます。

〈英語・英米文化学〉

ⅠやⅡなどのローマ数字は講義内容の相違を示しており、履修すべき順を表しているわけではありません。

〈法学・政治学〉

授業科目ごとに異なりますので、各自シラバスで確認してください。

〈経済学・経営学〉

基本的に履修の順番は問いませんが、シラバス等により、「1」→「2」の順に履修することが望ましいとされている授業もあります。

Q：経済学・経営学プログラムに置いては、数学的知識はかなり必要ですか？（理系出身ではないので不安があります。） また、マーケティングの授業があるようですが、講義形態の授業だけでなく、ワークショップのような参加型の授業、また実際に商品開発、マーケティングに取り組むことはありますか？

A：数学の知識は必要ですが、その程度は、授業によって異なります。数学A、数学Bで使われている教科書も参照してください。（石村園子『やさしく学べる微分積分』（共立出版）（数学A）、藤田岳彦・石井昌宏『穴埋め式 線形代数 らくらくワークブック』（講談社）（数学B）、など）。またマーケティングは、学部の授業では、講義形態となります。

Q：経済学・経営学プログラムにおいては、高校における数Ⅲは必要ですか？

A：微分積分については高校の文系数学程度の知識が必要です。行列・ベクトルについては数

Ⅲ＋αな内容が必要な科目があります。特に、選択必修科目の統計や選択科目のエコノメトリックス関連、金融工学系の科目を専門に勉強したい場合は必要です。ミクロ・マクロなど経済学の基本的分野ではそれほど使うことはありません。

Q：人間科学（共生の生態）プログラムにおいて、基礎科目（概論）とその他の科目について、履修の順番はありますか？

A：構成科目の履修の順序を特に定めていません。ただし、まずは「基礎科目」を履修することが望ましいとされます。

Q：人間科学（共生の生態）プログラムでは、数学の知識は必要ですか？

A：特に必要ありません。

Q：箕面キャンパスで遠隔受講することができる授業科目は何科目くらいありますか？

A：2021～2024年度には、次に挙げる遠隔配信授業が開講されました。

【2024年度の遠隔配信授業】

〈法学部〉

「行政法Ⅰ」（春夏学期 月曜1限）

「刑法Ⅰ」（春夏学期 火曜4限 木曜2限）

〈外国語学部〉

「スペイン歴史・文化概論a」（春夏学期 火曜1限）

「イタリア言語文化概説Ⅰa」（春夏学期 金曜2限）

【2023年度の遠隔配信授業】

〈法学部〉

「国際私法」（春夏学期 火曜1限）

〈人間科学部〉

「比較社会学」（春夏学期 火曜2限）

「共生の人間学Ⅰ」（春夏学期 金曜1限）

〈イタリア語・イタリア文化学〉

「イタリア言語文化概説Ⅰa、Ⅰb」（春夏学期、秋冬学期 金曜2限）

【2022年度の遠隔配信授業】

〈人文学〉

「世界の中のアジア史」「ヨーロッパの歴史Ⅲ」（春夏学期、秋冬学期、木曜3限）

〈人間科学〉

「共生の人間学Ⅱ」（秋冬学期、月曜2限）

「生涯教育学」（秋冬学期、火曜3限）

〈スペイン語・スペイン文化学〉

「スペイン語学概論」（春夏学期、金曜2限）

「スペイン歴史文化概論」（秋冬学期、水曜1限）

「スペイン文化概論」（秋冬学期、水曜5限）

〈イタリア語・イタリア文化学〉

「イタリア言語文化概説Ⅰ」（春夏学期、秋冬学期、金曜2限）

オンライン授業として実施しているため、遠隔配信授業として登録していない科目があります。

【2021年度の遠隔配信授業】

〈人文学〉

「世界の中のアジア史」「ヨーロッパの歴史Ⅲ」（春夏学期、秋冬学期、木曜 3 限）

〈人間科学〉

「比較福祉論」（秋学期、水曜 1・2 限）

〈スペイン語・スペイン文化学〉

「スペイン語学概論」（春夏学期、金曜 2 限）

「スペイン歴史文化概論」（秋冬学期、水曜 1 限）

「スペイン文化概論」（秋冬学期、水曜 5 限）

〈イタリア語・イタリア文化学〉

「イタリア言語文化概説Ⅰ」（春夏学期、秋冬学期、金曜 2 限）

オンライン授業として実施しているため、遠隔配信授業として登録していない科目があります。

履修・修了要件

Q：大阪大学在学中に 1 年間留学したいと考えていますが、MLE の履修（申請）は可能ですか？また、修了することも可能ですか？

A：外国の大学に留学を予定している学生であっても、本プログラムの履修（申請）は可能です。（ただし、2 年次の 1 学期から留学を考えている場合は、プログラムの履修申請時に担当係に相談してください。）

外国の大学に留学中は、大阪大学の授業科目（プログラム科目を含む）を履修（単位修得）することはできませんが、卒業までの間に履修プログラムの修了要件を満たすことができれば、「学部プログラムの修了」ということになります。

例えば、大阪大学を休学しないで 1 年間留学し、在学 4 年間で（学部の）卒業を考えている場合は、2 年次から 4 年次までの間のうち大阪大学に「在学」する 2 年間で、履修プログラムの修了要件を満たすことができれば、学部プログラムを修了することができます。

なお、大阪大学を「休学」して留学する場合は、2 年次以降、大阪大学に「在学」する 3 年（以上の）間で、履修プログラムの修了要件を満たすことができれば、学部プログラムを修了することができます。

Q：プログラム科目の単位を落とした場合、学部プログラムの履修資格を失うなどのペナルティはありますか？

A：学部プログラムの履修が認められた学生については、基本的に同一学部在学中は学部プログラムの履修資格を失うことはありません。

なお、卒業時まで学部プログラムの修了要件を満たすことができなかった場合は、修了認定証の交付を受けることはできません。

Q：学部プログラムの履修生として決定された後に、（例えば、プログラムの履修の途中で）プログラムの履修をやめることは可能ですか？

A：やむを得ない事情で履修を取り下げたい場合は、外国語学部の MLE 担当者まで連絡の上、履修取り下げ願を提出してください。

Q：英語・英米文化学プログラムにおいて、重複履修は可能でしょうか？

A：学部プログラムの修了としては、担当教員に内容を確認し許可を得れば、重複履修は可能

です。ただし、重複履修した単位が卒業要件に含まれるかどうかについては、所属学部の教務係に確認してください。

成績・単位

Q：MLEで履修した授業科目の成績は、GPAに加算されるのですか？

A：所属学部の教務係に確認してください。

GPAの算出の対象となる授業科目については、「大阪大学におけるグレード・ポイント・アベレージ制度に関する要項」において、共通教育系科目、専門教育系科目、国際交流科目、コミュニケーションデザイン科目及びグローバルコラボレーション科目のうち、大阪大学学部学則第10条の7第2項に基づく試験の成績の評価を行う授業科目であって、『各学部において卒業要件に算入することができる授業科目』とすると定められています。

Q：留学先の大学で修得した授業科目の単位をプログラム科目の単位として認定してもらうことは可能ですか？

A：答えは「不可」です。

大阪大学学部学則第10条の3では、「他の大学等における授業科目の履修」に関して、学部が教育上有益と認めるときは、学生が外国の大学の授業科目を履修して修得した単位を（所属学部の）卒業に要する単位に算入することができると規定されています。

学生が留学先大学で修得した授業科目の単位（以下「留学単位」といいます。）は、所属学部の卒業要件単位（所属学部の専門教育科目の単位）としては認定することは可能なのですが、他学部の専門教育科目の単位として認定することはできません。

MLEのプログラム科目は、授業を開設する学部（つまり、他学部）の専門教育科目となるため、留学単位は、MLEの修了要件単位として認定することはできません。

Q：たとえば「法学・政治学」プログラムの履修生が、留学で修得した「法学・政治学」関連の単位は、法学部で認定してもらうことは可能ですか？

A：留学中に修得した単位は、所属学部により単位互換の申請をすることができます。従って、法学部のみならず、ある学部が他学部にも所属する学生の単位を認定することはありません。

Q：プログラム科目として修得した授業科目の単位を教職課程の単位とすることは可能ですか？

A：当該プログラム科目の単位が、所属学部（例えば、外国語学部）において取得することが可能な教育職員免許状に係る「教科に関する科目」等の単位として有効な場合については、教職課程の単位とすることは可能です。ただし、所属学部以外（他学部）で修得した単位となるため、教職課程の単位とする場合については、所属学部の教務係に相談するようにしてください。

履修のメリット

Q：MLEの修了は、就職等において有利にはたりますか？

A：自己PRの材料になり得ると考えます。就職活動の際、希望者には修了見込証明書を発行します。

履歴書等の必要書類に「大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラム・学部プログラム（〇〇〇学）修了見込み」と記載できます。

修了者には卒業時に大阪大学総長と学部プログラムの開設部局長が連名で記載する学部プ

プログラム修了認定証が交付されます。

その他

Q：文学部、人間科学部、法学部、経済学部で学部プログラムを修了して卒業した学生が、人文学研究科、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、国際公共政策研究科のうち、卒業学部と異なる研究科に進学した場合、大学院プログラムは履修可能でしょうか？

A：可能です。

Q：高等司法研究科へと進学した場合、大学院プログラムは履修できないのでしょうか？

A：可能です。履修するプログラムにより、名称が異なりますので、プログラムの説明書で確認してください。

2025年度 マルチリンガル・エキスパート養成（MLE）学部プログラム紹介

外国語学部【インドネシア語・インドネシア研究】

プログラム名	和文 英文	インドネシア語・インドネシア研究 Indonesian and Indonesian Studies
開設学部	外国語学部	
募集対象者	2023年度（令和7年度）に大阪大学の学部の2、3年次に在学する正規学生	
修了要件	12単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。 マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの学部学生向けの学部プログラムの中のうちジョイントプログラムとして実施するもので、プログラムに関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、インドネシア語のより高い運用能力を涵養するとともに、インドネシア研究・東南アジア研究に関する幅広い知識を持った人材を育成することを目指す。	
趣旨・概要	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定を授与する。 ①インドネシア語の運用能力に関して、中級レベルの能力を有する。 ②インドネシア及び東南アジアの言語、文学、社会、歴史について、基礎的な知識を幅広く身に付け、異文化を正しく理解できる。	
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムは、インドネシア語専攻の専攻科目の内、語学科目（2単位の語学科目）と概論に該当する講義科目（2単位の講義科目）によって構成される。 各自の専門分野のみならず、インドネシア語を修得して将来国際舞台で活躍することと意欲を持つ学生を歓迎する。 募集人員は各学部若干名で、履修申請書（志望動機）および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修生を決定する。 応募者には必要に応じて面接を課することがある。	
前提知識の目安	特になし	
履修申請	8～11頁を参照のこと。 履修申請書は KOAN の掲示板および MLE のホームページから入手できる。 ※メール申請はメールで行うこと。 ※メール申請が出来ない場合に限り、外国語学部豊中分室もしくはは人文学研究科策面事務部 MLE 担当に提出すること。	
問合せ先	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）担当者 Email: multilingual@office.osaka-u.ac.jp	

●構成科目

時間割 コード	授業科目名	単位数 必修 選択	開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時限	備 考
100226	インドネシア語 1（豊中開講）	2	通年	1,2,3,4	水1	
100227	インドネシア語 2（豊中開講）	2	通年	1,2,3,4	火4	
100228	インドネシア語 3（豊中開講）	2	通年	1,2,3,4	木2	左記の授業科目のうちから、4 単位以上を 選択必修。
100229	インドネシア語 4（豊中開講）	2	通年	1,2,3,4	月4	
100230	インドネシア語 5（豊中開講）	2	通年	1,2,3,4	金3	
100231	※①インドネシア語11	2	通年	2,3,4	月2	左記の授業科目のうちから、4 単位以上を 選択必修。
100232	※①インドネシア語12	2	通年	2,3,4	木4	
100233	※①インドネシア語13	2	通年	2,3,4	火3	※①インドネシア語を履修するには、先に インドネシア語1から5の単位を4 単位以 上履修していること。
100234	※①インドネシア語14	2	通年	2,3,4	金3	
100235	※①インドネシア語15	2	通年	2,3,4	水2	
102033	東南アジア地域研究概論 a	2	春～夏	2,3,4	木2	
102087	東南アジア地域研究概論 b	2	秋～冬	2,3,4	木2	
100455	東南アジア歴史概論 a	2	春～夏	2,3,4	月5	
100456	東南アジア歴史概論 b	2	秋～冬	2,3,4	月5	
100461	東南アジア社会概論 a	2	春～夏	2,3,4	水4	
100462	東南アジア社会概論 b	2	秋～冬	2,3,4	水4	
100459	東南アジア文化概論 a	2	春～夏	2,3,4	火3	
100460	東南アジア文化概論 b	2	秋～冬	2,3,4	火3	
102008	インドネシア文化概論 (A)	2	春～夏	2,3,4	金2	
102009	インドネシア文化概論 (B)	2	秋～冬	2,3,4	金2	
100244	インドネシア語学講義 I a	2	春～夏	3,4	火1	
100245	インドネシア語学講義 I b	2	秋～冬	3,4	火1	左記の授業科目のうちから、4 単位以上を 選択必修。
100246	インドネシア語学講義 II a	2	春～夏	3,4	月3	
100247	インドネシア語学講義 II b	2	秋～冬	3,4	月3	
100248	インドネシア文化講義 I a	2	春～夏	3,4	水4	
100250	インドネシア文化講義 II a	2	春～夏	3,4	金4	
100251	インドネシア文化講義 II b	2	秋～冬	3,4	金4	
100252	インドネシア文化講義 III a	2	春～夏	3,4	木2	
100253	インドネシア文化講義 III b	2	秋～冬	3,4	木2	
100263	東南アジア社会文化演習 II b (K)	2	秋～冬	3,4	2024年度 不開講	
100266	東南アジア社会文化演習 II a (B)	2	春～夏	3,4	火4	
100268	東南アジア社会文化演習 II b (B)	2	秋～冬	3,4	火4	
100367	イスラーム世界概論	2	秋～冬	2,3,4	木2	合計12単位以上で修了

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。
※この構成科目表は2024年度を参考に作成したもので、変更の可能性あります。

外国語学部【タイ語・タイ地域研究】

プログラム名	和文	タイ語・タイ地域研究
開設学部	英文	Thai Studies
募集対象者	外国語学部	
修了要件	2025年度（令和7年度）に大阪大学の学部の2、3年次に在学する正規学生	
趣旨・概要	12単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。 マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの学部学生向けジョイントプログラムとして、実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、タイ語・タイ地域研究に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、タイ語のより高い運用能力を涵養するとともに、タイ地域研究に関する幅広い知識を持った人材を育成することを目指す。	
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①タイ語の運用能力に関して、中級レベルの能力を有する。 ②タイ語圏の言語、文化、歴史について、基礎的な知識を身につけ、異文化を正しく理解できる。	
カリキュラムの構成	本プログラムは、外国語学部が開講する授業科目の内、タイ語専攻の専攻科目の内、語学科目（2単位の実習科目）、概論に該当する講義科目（2単位の講義科目）によって構成される。	
履修資格・条件	各自の専門分野のみならず、タイ語を習得して将来国際社会で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎する。 募集人員は各学部若干名で、履修申請書（志望動機）および成績などの審査の結果を統合して選考し、履修生を決定する。 応募者には必要に応じて面接を課すことがある。	
前提知識の目安	特になし	
履修申請	8～11頁を参照のこと。 履修申請書は MLE のホームページから入手できる。 履修申請はメールで行うこと。 ※メールで申請出来ない場合に限り、外国語学部豊中分室もしくは人文学研究所策面事務部 MLE 担当に提出すること。	
問合せ先	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）担当者 Email: multilingual@office.osaka-u.ac.jp	

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数 必修	開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時限	備 考
100326	タイ語1（豊中開講）	2	通年	1,2,3,4	月4	【必修科目について】 ・「タイ語1」と「タイ語3」を1セット、「タイ語2」と「タイ語4」を1セットとして授業を構成しています。同1年度内に必ずセットで履修して下さい。これら4科目を同年度にすべて履修する場合は、必ず「タイ語1・3」のセットを先に履修して下さい。 ・必修科目は全て豊中キャンパスで開講されます。
100327	タイ語2（豊中開講）	2	通年	1,2,3,4	火4	
100328	タイ語3（豊中開講）	2	通年	1,2,3,4	水1	
100329	タイ語4（豊中開講）	2	通年	1,2,3,4	木2	
100330	タイ語5（豊中開講）	2	通年	1,2,3,4	金4	【選択必修科目について】 ・必修科目4科目（8単位）に代えて、必修選択科目の中から、2科目（4単位）以上を履修して下さい。 ・「タイ語11」「タイ語15」は「タイ語1」「タイ語3」の履修を済ませていることが履修条件となります。 ※①【人文】「アジアの文化と社会を知るH」はタイ国に関する概説的な講義なので、選択必修ですが、履修することを勧めします。（抽選登録） ・「タイ社会講義Ⅱa」と「タイ社会講義Ⅱb」はオンライン講義です。 ・「タイ語5」,「【人文】アジアの文化と社会を知るH」以外の科目は、全て豊中キャンパスで開講されます。
100331	タイ語11	2	通年	2,3,4	月1	
100335	タイ語15	2	通年	2,3,4	金2	
137052	※①【人文】アジアの文化と社会を知るH（豊中開講）	2	秋～冬	1,2,3,4	水2	
100429	チャン語	2	秋～冬	2,3,4	火4	※①【人文】「アジアの文化と社会を知るH」はタイ国に関する概説的な講義なので、選択必修ですが、履修することを勧めします。（抽選登録） ・「タイ社会講義Ⅱa」と「タイ社会講義Ⅱb」はオンライン講義です。 ・「タイ語5」,「【人文】アジアの文化と社会を知るH」以外の科目は、全て豊中キャンパスで開講されます。
100346	タイ文化講義a	2	春～夏	3,4	月2	
100347	タイ文化講義b	2	秋～冬	3,4	月2	
100348	タイ社会講義Ⅰa	2	春～夏	3,4	水4	
100349	タイ社会講義Ⅰb	2	秋～冬	3,4	水4	※①【人文】「アジアの文化と社会を知るH」はタイ国に関する概説的な講義なので、選択必修ですが、履修することを勧めします。（抽選登録） ・「タイ社会講義Ⅱa」と「タイ社会講義Ⅱb」はオンライン講義です。 ・「タイ語5」,「【人文】アジアの文化と社会を知るH」以外の科目は、全て豊中キャンパスで開講されます。
100365	タイ社会講義Ⅱa	2	春～夏	3,4	金5	
100350	タイ社会講義Ⅱb	2	秋～冬	3,4	金5	
						合計12単位以上で修了

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。

※この構成科目表は2024年度を参考に作成したもので、変更の可能性があります。

外国語学部【ベトナム語・東南アジア研究】

プログラム名	和文	ベトナム語・東南アジア研究
開設学部	英文	Vietnamese・Southeast Asian Studies
募集対象者	外国語学部	
修了要件	2023年度（令和7年度）に大阪大学の学部の2、3年次に在学する正規学生 12単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。	
趣旨・概要	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局構断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの学部学生向けの学部プログラムの中のジョイントプログラムとして実施するもので、プログラムに登載した学生に対して、ベトナム語・東南アジア研究に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、ベトナム語のより高い運用能力を涵養するとともに、東南アジア研究に関する幅広い知識を持った人材を育成することを旨とする。	
到達目標 （修了時に身に付く能力）	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①ベトナム語の運用能力に関して、中級レベルの能力を有する。 ②ベトナム語圏の言語、文学、歴史について、基礎的な知識を幅広く身につけ、異文化を正しく理解できる。	
カリキュラムの構成	本プログラムは、外国語学部が開講するベトナム語専攻の専攻科目の内、語学科目（2単位の語学科目）、概論に該当する講義科目（2単位の講義科目）によって構成される。	
履修資格・条件	各自の専門分野のみならず、ベトナム語を修得して将来国際舞台で活躍することにより意欲を持つ学生を歓迎する。 募集人員は各学部若干名で、履修申請書（志望動機）および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修生を決定する。 応募者には必要に応じて面接を課すことがある。	
前提知識の目安	特になし	
履修申請	8～11頁を参照のこと。 履修申請書はMLEのホームページから入手できる。 履修申請はメールで行うこと。 ※メールで申請出来ない場合に限り、外国語学部豊中分室もしくは人文科学研究科策面事務部MLE担当に提出すること。	
問合せ先	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）担当者 Email: multilingual@office.osaka-u.ac.jp	

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数 必修	開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時限	備 考
100369	※①ベトナム語1（豊中開講）	2	通年	1,2,3,4	水3	左記の授業科目のうちから、4単位以上を 選択必修。 ※②のベトナム語を履修するには、先に※ ①のベトナム語を4単位以上修得している こと。
100370	※①ベトナム語2（豊中開講）	2	通年	1,2,3,4	月2	
100371	※①ベトナム語3（豊中開講）	2	通年	1,2,3,4	金2	
100372	※①ベトナム語4（豊中開講）	2	通年	1,2,3,4	木2	
100373	※①ベトナム語5（豊中開講）	2	通年	1,2,3,4	火2	左記の授業科目のうちから、4単位以上を 選択必修。 ※②のベトナム語を履修するには、先に※ ①のベトナム語を4単位以上修得している こと。
100374	※②ベトナム語11	2	通年	2,3,4	木1	
100375	※②ベトナム語12	2	通年	2,3,4	月3	
100376	※②ベトナム語13	2	通年	2,3,4	水3	
100377	※②ベトナム語14	2	通年	2,3,4	火4	左記の授業科目のうちから、4単位以上を 選択必修。 ※②のベトナム語を履修するには、先に※ ①のベトナム語を4単位以上修得している こと。
100378	※②ベトナム語15	2	通年	2,3,4	金4	
100386	東南アジア社会文化概論	2	春集中	2,3,4	集中	
102033	東南アジア地域研究概論a	2	春～夏	2,3,4	木2	
102087	東南アジア地域研究概論b	2	秋～冬	2,3,4	木2	左記の授業科目のうちから、4単位以上を 選択必修。 ※②のベトナム語を履修するには、先に※ ①のベトナム語を4単位以上修得している こと。
100455	東南アジア歴史概論a	2	春～夏	2,3,4	月5	
100456	東南アジア歴史概論b	2	秋～冬	2,3,4	月5	
100461	東南アジア社会概論a	2	春～夏	2,3,4	水4	
100462	東南アジア社会概論b	2	秋～冬	2,3,4	水4	左記の授業科目のうちから、4単位以上を 選択必修。 ※②のベトナム語を履修するには、先に※ ①のベトナム語を4単位以上修得している こと。
100459	東南アジア文化概論a	2	春～夏	2,3,4	火3	
100460	東南アジア文化概論b	2	秋～冬	2,3,4	火3	
100351	東南アジア言語講義a	2	春～夏	3,4	2024年開講	
100352	東南アジア言語講義b	2	秋～冬	3,4	2024年開講	合計12単位以上で修了

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。

※この構成科目表は2024年度を参考に作成したもので、変更の可能性があります。

外国語学部【ウルドゥー語・南アジア地域文化研究】

プログラム名	和文	ウルドゥー語・南アジア地域文化研究
開設学部	英文	Urdu Language and Regional Culture of South Asia
募集対象者	外国語学部	
修了要件	2023年度（令和7年度）に大阪大学の学部の2、3年次に在学する正規学生 12単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。	
趣旨・概要	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局構断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの学部学生向けの学部プログラムの中のショートプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、ウルドゥー語・南アジア地域文化研究に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、ウルドゥー語のより高い運用能力を涵養するとともに、南アジア地域文化研究に関する幅広い知識をを持った人材を育成することを目指す。	
到達目標 （修了時に身に付く能力）	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①ウルドゥー語の運用能力に関して、中級レベルの能力を有する。 ②ウルドゥー語圏の言語、文学、歴史について、基礎的な知識を幅広く身につけ、異文化を正しく理解できる。	
カリキュラムの構成	本プログラムは、外国語学部が開講する授業科目の内、ウルドゥー語専攻の専攻科目の内、語学科目（2単位の語学科目）、概論に該当する講義科目（2単位の講義科目）によって構成される。	
履修資格・条件	各自の専門分野のみならず、ウルドゥー語を修得して将来国際舞台で活躍すること に意欲を持つ学生を歓迎する。 募集人員は各学部若干名で、履修申請書（志望動機）および成績などの審査の結果 を総合して選考し、履修生を決定する。 応募者には必要に応じて面接を課すことがある。	
前提知識の目安	特になし	
履修申請	8~11頁を参照のこと。 履修申請書はMLEのホームページから入手できる。 履修申請はメールで行うこと。 ※メールで申請出来ない場合に限り、外国語学部豊中分室もしくは人文学研究科策 面事務部MLE担当に提出すること。	
問合せ先	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）担当者 Email: multilingual@office.osaka-u.ac.jp	

●構成科目

時間割 コード	授業科目名	単位数 必修 選択	開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時限	備 考
100525	※①ウルドゥー語2（豊中開講）	2	通年	1.2.3.4	水1	左記の必修科目4単位は履修すること。※ ②ウルドゥー語を履修するには、先に※① ウルドゥー語を4単位以上を修得している こと。
100530	※②ウルドゥー語12	2	通年	2.3.4	木1	
100524	※①ウルドゥー語1（豊中開講）	2	通年	1.2.3.4	火3	左記の授業科目のうちから、2単位以上を 選択必修すること。※ ②ウルドゥー語を履修するには、先に※ ①ウルドゥー語を4単位以上を修得している こと。
100526	※①ウルドゥー語3（豊中開講）	2	通年	1.2.3.4	金4	
100527	※①ウルドゥー語4（豊中開講）	2	通年	1.2.3.4	月2	
100528	※①ウルドゥー語5（豊中開講）	2	通年	1.2.3.4	月3	
100529	※②ウルドゥー語11	2	通年	2.3.4	水2	左記の授業科目のうちから、2単位以上を 選択必修すること。※ ②ウルドゥー語を履修するには、先に※ ①ウルドゥー語を4単位以上を修得している こと。
100531	※②ウルドゥー語13	2	通年	2.3.4	金2	
100532	※②ウルドゥー語14	2	通年	2.3.4	火3	
100533	※②ウルドゥー語15	2	通年	2.3.4	木2	
100540	南アジア文化概論a (A)	2	春～夏	2.3.4	火2	
100541	南アジア文化概論b (A)	2	秋～冬	3.4	火2	
100523	南アジア政治経済講義Ⅰa	2	春～夏	3.4	月2	左記授業科目のうちから、2単位以上を選 択必修すること。
100542	南アジア政治経済講義Ⅰb	2	秋～冬	3.4	月2	
100568	南アジア政治経済講義Ⅱa	2	春～夏	3.4	月3	
100543	南アジア政治経済講義Ⅱb	2	秋～冬	3.4	月3	
						合計12単位以上で修了

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。

※この構成科目表は2024年度を参考に作成したもので、変更の可能性があります。

外国語学部【スワヒリ語・アフリカ研究】

プログラム名	和文	スワヒリ語・アフリカ研究
	英文	Swahili and African Studies
開設学部	外国語学部	
募集対象者	2023年度（令和7年度）に大阪大学の学部の2、3年次に在学する正規学生	
修了要件	12単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。	
趣旨・概要	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局構断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの学部学生向けの学部プログラムの中のショートプログラムとして実施するもので、プログラム completion に登録した学生に対して、スワヒリ語・アフリカ研究に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、スワヒリ語のより高い運用能力を涵養するとともに、アフリカ研究に関する幅広い知識を持った人材を育成することを旨とする。	
	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①スワヒリ語の運用能力に関して、中級レベルの能力を有する。 ②アフリカの言語、文学、歴史について、基礎的な知識を幅広く身につけ、異文化を正しく理解できる。	
カリキュラムの構成	本プログラムは、外国語学部が開講する授業科目の内、兼修授業のスワヒリ語初級およびスワヒリ語中級（1単位の実習科目）、およびスワヒリ語専攻の専攻科目の内、語学科目（2単位の語学科目）、概論に該当する講義科目（2単位の講義科目）によって構成される。	
履修資格・条件	各自の専門分野のみならず、スワヒリ語を修得して将来国際舞台で活躍することにご意欲を持つ学生を歓迎する。 募集人員は各学部若干名で、履修申請書（志望動機）および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修生を決定する。 応募者には必要に応じて面接を課することがある。	
前提知識の目安	特になし	
履修申請	8~11頁を参照のこと。 履修申請書は MLE のホームページから入手できる。 履修申請はメールで行うこと。 ※メールで申請出来ない場合に限り、外国語学部豊中分室もしくは人文学研究所策面事務部 MLE 担当に提出すること。	
問合せ先	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）担当者 Email: multilingual@office.osaka-u.ac.jp	

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数 必修	開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時限	備 考
102036	スワヒリ語初級 a	1	春～夏	1,2,3,4	金 3	
102037	スワヒリ語初級 b	1	秋～冬	1,2,3,4	金 3	
100741	スワヒリ語 1（豊中開講）	2	通年	1,2,3,4	月 2	左記の授業科目のうちから、4 単位以上を選択必修。スワヒリ語初級は、ab 合わせて履修すること。
100742	スワヒリ語 2（豊中開講）	2	通年	1,2,3,4	水 3	
100743	スワヒリ語 3（豊中開講）	2	通年	1,2,3,4	火 2	
100744	スワヒリ語 4（豊中開講）	2	通年	1,2,3,4	木 1	
100745	スワヒリ語 5（豊中開講）	2	通年	1,2,3,4	木 2	
102038	※①スワヒリ語中級 a	1	春～夏	2,3,4	月 4	
102039	※①スワヒリ語中級 b	1	秋～冬	2,3,4	木 2	左記の授業科目のうちから、4 単位以上を選択必修。スワヒリ語中級は、ab 合わせて履修すること。
100746	※①スワヒリ語 11	2	通年	2,3,4	火 3	
100747	※①スワヒリ語 12	2	通年	2,3,4	月 1	
100748	※①スワヒリ語 13	2	通年	2,3,4	金 2	※①スワヒリ語を履修するには、先にスワヒリ語初級かスワヒリ語 1 から 5 の単位を 4 単位以上履修していること。
100749	※①スワヒリ語 14	2	通年	2,3,4	水 2	
100750	※①スワヒリ語 15	2	通年	2,3,4	月 3	
100757	アフリカ地域論概説 a	2	春～夏	2,3,4	木 1	
100758	アフリカ地域論概説 b	2	秋～冬	2,3,4	金 4	
100759	アフリカ社会論概説 a	2	春～夏	2,3,4	火 1	
100760	アフリカ社会論概説 b	2	秋～冬	2,3,4	火 1	
100761	アフリカ言語学概説 a	2	春～夏	2,3,4	火 2	
100762	アフリカ言語学概説 b	2	秋～冬	2,3,4	水 3	
100763	アフリカ言語学講義 a	2	春～夏	3,4	木 2	
100764	アフリカ言語学講義 b	2	秋～冬	3,4	月 4	
100765	アフリカ文学講義 a	2	春～夏	3,4	火 2	左記の授業科目のうちから、4 単位以上を選択必修。
100766	アフリカ文学講義 b	2	秋～冬	3,4	火 2	
100767	アフリカ文化講義 a	2	春～夏	3,4	月 3	
100768	アフリカ文化講義 b	2	秋～冬	3,4	月 3	
100769	アフリカ政治経済講義 a	2	春～夏	3,4	月 4	
100770	アフリカ政治経済講義 b	2	秋～冬	3,4	金 4	
100771	アフリカ地域講義 I a	2	春～夏	3,4	木 3	
100772	アフリカ地域講義 I b	2	秋～冬	3,4	木 3	
100773	アフリカ地域講義 II a	2	春～夏	3,4	金 4	
100774	アフリカ地域講義 II b	2	秋～冬	3,4	月 5	
					合計12単位以上で修了	

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。

※この構成科目表は2024年度を参考に作成したもので、変更の可能性あります。

外国語学部【ハンガリー語・ハンガリー研究】

プログラム名	和文	ハンガリー語・ハンガリー研究	
開設学部	英文	Hungarian and Hungarian Studies	
募集対象者	外国語学部		
修了要件	2025年度（令和7年度）に大阪大学の学部の2、3年次に在学する正規学生		
趣旨・概要	12単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。 マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの学部学生向けの学部プログラムのうちショートプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、ハンガリー語・ハンガリー研究に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、ハンガリー語のより高い運用能力を涵養するとともに、ハンガリー研究に関する幅広い知識を持った人材を育成することを目指す。		
到達目標 （修了時に身に付く能力）	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①ハンガリー語の運用能力に関して、中級レベルの能力を有する。 ②ハンガリーの言語、文学、歴史について、基礎的な知識を幅広く身につけ、異文化を正しく理解できる。		
カリキュラムの構成	本プログラムは、外国語学部が開講する授業科目の内、語学科目であるハンガリー語初級およびハンガリー語中級（2単位の通年科目）、概論に該当する講義科目（2単位の講義科目、演習科目）によって構成される。		
履修資格・条件	各自の専門分野のみならず、ハンガリー語を修得して将来国際舞台で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎する。 募集人員は各学部若干名で、履修申請書（志望動機）および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修生を決定する。 応募者には必要に応じて面接を課すことがある。		
前提知識の目安	特になし		
履修申請	8~11頁を参照のこと。 履修申請書は KOAN の掲示板および MLE のホームページから入手できる。 履修申請はメールで行うこと。 ※メール申請が出来ない場合に限り、外国語学部豊中分室もしくは人文学研究科質面事務部 MLE 担当に提出すること。		
問合せ先	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）担当者 Email: multilingual@office.osaka-u.ac.jp		

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数 必修	開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時限	備考
100877	ハンガリー語 1（集中開講）	2	通年	1,2,3,4	水1	
100878	ハンガリー語 2（集中開講）	2	通年	1,2,3,4	月3	
100879	ハンガリー語 3（集中開講）	2	通年	1,2,3,4	月4	左記の授業科目のハンガリー語 2 とハンガリー語 3 の 4 単位が必修。
100880	ハンガリー語 4（集中開講）	2	通年	1,2,3,4	火2	
100881	ハンガリー語 5（集中開講）	2	通年	1,2,3,4	火3	
100882	※①ハンガリー語11	2	通年	2,3,4	木1	
100883	※①ハンガリー語12	2	通年	2,3,4	火2	左記の授業科目のハンガリー語12とハンガリー語13の4単位が必修。
100884	※①ハンガリー語13	2	通年	2,3,4	火4	※①を履修するには、先にハンガリー語1から5の単位を4単位以上履修していること。
100885	※①ハンガリー語14	2	通年	2,3,4	月2	
100886	※①ハンガリー語15	2	通年	2,3,4	木4	
101934	ハンガリー研究入門Ⅰa	2	春夏集中	2,3,4	集中	
100895	ハンガリー研究入門Ⅰb	2	秋～冬	2,3,4	月3	
100923	ハンガリー研究入門Ⅱb	2	秋冬集中	2,3,4	集中	
100899	ハンガリー文化演習Ⅳa	2	春～夏	3,4	火2	
100900	ハンガリー文化演習Ⅳb	2	秋～冬	3,4	火2	左記の授業科目のうちから、4単位以上を選択必修。
10A901	ハンガリー文化講義Ⅱa	2	不開講	3,4	不開講	
10A903	ハンガリー文化講義Ⅲa	2	春夏集中	3,4	集中	
					合計12単位以上で修了	

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。
この構成科目の一覧は、2024年度の実績に基づき開講予定で、開講日時、科目等変更される可能性があります。

外国語学部【デンマーク語・北欧研究】

プログラム名	和文	デンマーク語・北欧研究
	英文	Danish and Nordic Studies
	外国語学部	
開設学部	外国語学部	
募集対象者	2023年度（令和7年度）に大阪大学の学部の2、3年次に在学する正規学生	
修了要件	12単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。	
趣旨・概要	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局橋断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの学部学生向けの学部プログラムの中のショートプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、デンマーク語・北欧研究に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、デンマーク語のより高い運用能力を涵養するとともに、北欧研究に関する幅広い知識を持った人材を育成することを目指す。	
	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①デンマーク語の運用能力に関して、中級レベルの能力を有する。 ②デンマーク語圏の言語、文学、歴史について、基礎的な知識を幅広く身につけ、異文化を正しく理解できる。	
到達目標 （修了時に身に付く能力）	本プログラムは、外国語学部が開講するデンマーク語専攻の専攻科目の内、語学科目（2単位の語学科目）、概論に該当する講義科目（2単位の講義科目）、およびマルチリンガル教育センター提供の特別外国語（デンマーク語Ⅰ）によって構成される。	
履修資格・条件	各自の専門分野のみならず、デンマーク語を修得して将来国際舞台で活躍すること に意欲を持つ学生を歓迎する。 募集人員は各学部若干名で、履修申請書（志望動機）および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修生を決定する。 応募者には必要に応じて面接を課すことがある。	
前提知識の目安	特になし	
履修申請	8~11頁を参照のこと。 履修申請書はMLEのホームページから入手できる。 ※メールで申請はメールで行うこと。 ※メールで申請出来ない場合に限り、外国語学部豊中分室もしくは人文学研究科策面事務部MLE担当に提出すること。	
問合せ先	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）担当者 Email: multilingual@office.osaka-u.ac.jp	

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数 必修	開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時限	備 考
100928	デンマーク語Ⅰ（集中開講）	2	通年	1,2,3,4	水2	左記の授業科目のうちから、4単位以上を修得すること。 ※①デンマーク語2,3もしくは、※②デンマーク語4,5の履修に際しては、デンマーク語2と3のセット、そしてデンマーク語4と5のセットで履修することが望まれる。それが無理な場合は、教員に要相談。
100929	※①デンマーク語2（集中開講）	2	通年	1,2,3,4	火4	
100930	※①デンマーク語3（集中開講）	2	通年	1,2,3,4	木2	
100931	※②デンマーク語4（集中開講）	2	通年	1,2,3,4	火2	
100932	※②デンマーク語5（集中開講）	2	通年	1,2,3,4	木4	
192951	特別外国語演習（デンマーク語）Ⅰ	2	春～夏	1,2,3,4	火5	左記の授業科目のうちから、4単位以上を修得すること。 ※③デンマーク語14,15の履修に際しては、デンマーク語14と15のセットで履修することが望まれる。それが無理な場合は、教員に要相談。 ※中級のデンマーク語を履修するには、初級のデンマーク語4単位以上を修得していること。
100933	デンマーク語11	2	通年	2,3,4	水3	
100934	デンマーク語12	2	通年	2,3,4	火2	
100935	デンマーク語13	2	通年	2,3,4	月3	
100936	※③デンマーク語14	2	通年	2,3,4	水4	
100937	※③デンマーク語15	2	通年	2,3,4	木4	左記の授業科目のうちから、4単位以上を選択必修。
100938	デンマーク語Ⅰ a	2	春～夏	3,4	月2	
100939	デンマーク語Ⅰ b	2	秋～冬	3,4	水2	
100942	デンマーク語Ⅱ a (B)	2	春～夏	3,4	月3	
100943	デンマーク語Ⅱ b (B)	2	秋～冬	3,4	月3	
100988	【専攻科目】 北欧文化講義Ⅰ a	2	秋～冬	3,4	火2	左記の授業科目のうちから、4単位以上を選択必修。
100979	【専攻科目】 北欧現代社会概説b	2	秋～冬	2,3,4	水2	
100980	【専攻科目】 北欧文学概説 a	2	春～夏	2,3,4	火1	
100982	【専攻科目】 北欧史概説 a	2	春～夏	2,3,4	火3	
100983	【専攻科目】 北欧史概説 b	2	秋～冬	2,3,4	火3	
						合計12単位以上で修了

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。

※この構成科目表は2024年度を参考に作成したもので、変更の可能性があります。

外国語学部【英語・英米文化学】

プログラム名	和文	英語・英米文化学
	英文	English and Anglo-American Culture
開設学部	外国語学部	
募集対象者	2023年度（令和7年度）に大阪大学の学部の2、3年次に在学する正規学生	
修了要件	12単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。 マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局構断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの学部学生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、英語・英米文化学に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、読み、書き、聞き、話す国際的な場面で通用する総合的な高い英語能力を涵養するとともに、英語圏の言語、政治、経済、社会、歴史、思想に通曉した人材を育成することを目指す。	
趣旨・概要	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①英語の四技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）に関して、別表にある所定の外部検定試験スコア相当の高い運用能力を有する。 ②英語圏の言語、政治、経済、社会、歴史、思想を深く理解するとともに、英語で関連テーマについて高度なレベルのプレゼンテーションやディスカッションを行うことができる。	
カリキュラムの構成	本プログラムは、外国語学部が開設する授業科目の内の、兼修語学の英語の中級科目（1単位の実習）、上級科目（2単位の演習）および学部共通科目の英語科目（2単位の演習）によって構成される。	
履修資格・条件	各自の専門分野のみならず、英語を修得して将来国際舞台で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎する。募集人員は各学部若干名で、履修申請書（志望理由）および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修者を決定する。応募者には必要に応じて面接を課すことがある。プログラム構成科目の履修の際には、別表を参照し、所定のいずれかの外部検定試験のそれぞれ科目の基準を満たすスコアの写し（画像）を期限までに提出する必要がある。有効取得日、提出期限に注意のうえ、遺漏のないよう手続をすること。なお、プログラムの履修申請にあたっては、特定の外部検定試験のスコア提出は不要とする。本プログラムへの登録が認められながらも科目履修において必要とされるスコアの提出が困難な者については、別途設置された準備コース（課外補習クラス）を受講することにより、プログラム履修開始年度の秋～冬学期以降の科目履修を目指すことができるものとする。	
前提知識の目安	特になし	
履修申請	8-11頁を参照のこと。 履修申請書はKOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。 履修申請はメールで行うこと。 ※メール申請が出来ない場合に限り、外国語学部豊中分室もしくは人文学研究科策面事務部MLE担当に提出すること。	
問合せ先	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）担当者 Email: multilingual@office.osaka-u.ac.jp	

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数 必修	開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時限	開講状況
101232	〈兼修〉英語（語学）a (B)	1	春～夏	2,3,4		2024不開講
101234	〈兼修〉英語（語学）a (C)	1	春～夏	2,3,4	水5	
101235	〈兼修〉英語（語学）a (D)	1	春～夏	2,3,4		2024不開講
101236	〈兼修〉英語（語学）a (E)	1	春～夏	2,3,4	水4	
101237	〈兼修〉英語（語学）a (F)	1	春～夏	2,3,4		2024不開講
101238	〈兼修〉英語（語学）a (G)	1	春～夏	2,3,4	金4	
101239	〈兼修〉英語（語学）a (H)	1	春～夏	2,3,4	水2	
101240	〈兼修（高度）〉英語学Ⅰ b (A)	2	秋～冬	2,3,4	金3	
101241	〈兼修（高度）〉英語（語学）b (B)	1	秋～冬	2,3,4	水3	2024不開講
101243	〈兼修（高度）〉英語（語学）b (C)	1	秋～冬	2,3,4	水5	
101244	〈兼修（高度）〉英語（語学）b (D)	1	秋～冬	2,3,4		2024不開講
101245	〈兼修（高度）〉英語（語学）b (E)	1	秋～冬	2,3,4	水4	
101246	〈兼修（高度）〉英語（語学）b (F)	1	秋～冬	2,3,4		2024不開講
101247	〈兼修（高度）〉英語（語学）b (G)	1	秋～冬	2,3,4	金4	
101248	〈兼修（高度）〉英語（語学）b (H)	1	秋～冬	2,3,4	水2	
101249	〈兼修〉英語学Ⅰ a (A)	2	春～夏	2,3,4	金3	
101250	〈兼修〉英語会話Ⅱ a (A)	2	春～夏	2,3,4	月6	
101251	〈兼修〉英米文化Ⅳ a (A)（豊中開講）	2	春～夏	2,3,4	金3	2024不開講
101252	〈兼修〉英語（文学）a (A)	1	春～夏	2,3,4	月3	
101253	〈兼修〉英米文化Ⅲ a (A)（豊中開講）	2	春～夏	2,3,4	金5	
101254	〈兼修〉英語（文学）a (B)	1	春～夏	2,3,4		2024不開講
101255	〈兼修〉英語（語学）a (A)（豊中開講）	1	春～夏	2,3,4	月2	
101256	〈兼修〉英語（文学）a (C)	1	春～夏	2,3,4	月4	
101257	〈兼修〉英語（文学）a (D)	1	春～夏	2,3,4	火3	
101259	〈兼修〉英語学Ⅰ a (B)（豊中開講）	2	春～夏	2,3,4	水3	2024不開講
101260	〈兼修（高度）〉英語会話Ⅱ b (A)	2	秋～冬	2,3,4	月6	
101261	〈兼修（高度）〉英米文化Ⅲ b (A)（豊中開講）	2	秋～冬	2,3,4	金5	
101262	〈兼修（高度）〉英語（文学）b (A)	1	秋～冬	2,3,4	月3	
101263	〈兼修（高度）〉英米文化Ⅳ b (A)（豊中開講）	2	秋～冬	2,3,4		2024不開講
101264	〈兼修（高度）〉英語（文学）b (B)	1	秋～冬	2,3,4		2024不開講
101265	〈兼修（高度）〉英語（語学）b (A)（豊中開講）	1	秋～冬	2,3,4	月2	
101266	〈兼修（高度）〉英語（文学）b (C)	1	秋～冬	2,3,4	月4	
101267	〈兼修（高度）〉英語（文学）b (D)	1	秋～冬	2,3,4	火3	
101269	〈兼修（高度）〉英語学Ⅰ b (B)（豊中開講）	2	秋～冬	2,3,4	水3	
101270	〈兼修〉英米文化Ⅱ a (A)	2	春～夏	2,3,4	火3	
101271	〈兼修〉英語（文化）a (A)	1	春～夏	2,3,4		2024不開講
101272	〈兼修〉英語（文化）a (B)	1	春～夏	2,3,4	火3	
101273	〈兼修〉英米文化Ⅰ a (A)	2	春～夏	2,3,4	金4	
101274	〈兼修〉英語（文化）a (C)	1	春～夏	2,3,4		2024不開講
101275	〈兼修〉英語（文化）a (D)	1	春～夏	2,3,4	木1	
101276	〈兼修〉英語（文化）a (E)	1	春～夏	2,3,4	水3	
101277	〈兼修〉英語（文化）a (F)	1	春～夏	2,3,4	水4	
101278	〈兼修〉英語（文化）a (G)	1	春～夏	2,3,4		2024不開講
101279	〈兼修（高度）〉英米文化Ⅱ b (A)	2	秋～冬	2,3,4	火3	
101280	〈兼修（高度）〉英語（文化）b (A)	1	秋～冬	2,3,4		2024不開講
101281	〈兼修（高度）〉英語（文化）b (B)	1	秋～冬	2,3,4	火3	

時間割 コード	授業科目名	単位数 必修 選択 必修	開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時限	開講状況
101282	〈兼修〉英米文化Ⅰb (A)	2	秋～冬	2,3,4	金 4	
101283	〈兼修〉英語 (文化) b (C)		秋～冬	2,3,4		2024不開講
101284	〈兼修〉英語 (文化) b (D)	1	秋～冬	2,3,4	木 1	
101285	〈兼修〉英語 (文化) b (E)	1	秋～冬	2,3,4	水 3	
101286	〈兼修〉英語 (文化) b (F)	1	秋～冬	2,3,4	水 4	
101287	〈兼修〉英語 (文化) b (G)	1	秋～冬	2,3,4		2024不開講
101289	〈兼修〉英語 (コミュニケーション) a (A)	1	春～夏	2,3,4		2024不開講
101290	〈兼修〉英語 (文化) a (H) (豊中開講)	1	春～夏	2,3,4		2024不開講
101291	〈兼修〉英語 (コミュニケーション) a (B)	1	春～夏	2,3,4	金 3	
101292	〈兼修〉英語 (コミュニケーション) a (C)	1	春～夏	2,3,4	月 3	
101293	〈兼修〉英語 (コミュニケーション) a (D)	1	春～夏	2,3,4	金 4	遠隔授業可
101294	〈兼修〉英語 (コミュニケーション) a6	1	春～夏	2,3,4	月 4	
101295	〈兼修〉英語 (コミュニケーション) a (F)	1	春～夏	2,3,4	木 5	
101296	〈兼修〉英語会話Ⅰ a (A)	2	春～夏	2,3,4	金 3	遠隔授業可
101298	〈兼修〉英語 (コミュニケーション) b (A)	1	秋～冬	2,3,4		2024不開講
101299	〈兼修〉英語 (文化) b (H) (豊中開講)	1	秋～冬	2,3,4		2024不開講
101300	〈兼修〉英語 (コミュニケーション) b (B)	1	秋～冬	2,3,4	金 3	
101301	〈兼修〉英語 (コミュニケーション) b (C)	1	秋～冬	2,3,4	月 3	
101302	〈兼修〉英語 (コミュニケーション) b (D)	1	秋～冬	2,3,4	金 4	遠隔授業可
101303	〈兼修〉英語 (コミュニケーション) b (E)	1	秋～冬	2,3,4	月 4	
101304	〈兼修〉英語 (コミュニケーション) b (F)	1	秋～冬	2,3,4	木 5	遠隔授業可
101305	〈兼修〉英語 (コミュニケーション) b (A)	2	春～夏	2,3,4	金 5	
101306	〈兼修〉英語Ⅰ a (C)	2	春～夏	2,3,4	金 5	
101307	〈兼修〉英語Ⅰ a (D)	2	春～夏	2,3,4	木 4	
101308	〈兼修〉英語Ⅰ a (E)	2	春～夏	2,3,4	火 2	
101309	〈兼修〉英語Ⅰ b (C)	2	秋～冬	2,3,4	金 5	
101310	〈兼修〉英語Ⅰ b (D)	2	秋～冬	2,3,4	木 4	
101311	〈兼修〉英語Ⅰ b (E)	2	秋～冬	2,3,4	火 2	
101312	〈兼修〉英語Ⅱ a (A)	2	春～夏	2,3,4	金 5	
101313	〈兼修〉英語Ⅱ a (B)	2	春～夏	2,3,4	木 2	
101314	〈兼修〉英語Ⅱ a (C)	2	春～夏	2,3,4	金 1	
101315	〈兼修〉英語Ⅱ a (D)	2	春～夏	2,3,4	金 2	
101316	〈兼修〉英語Ⅱ b (A)	2	秋～冬	2,3,4	金 5	
101317	〈兼修〉英語Ⅱ b (B)	2	秋～冬	2,3,4	木 2	
101318	〈兼修〉英語Ⅱ b (C)	2	秋～冬	2,3,4	金 1	
101319	〈兼修〉英語Ⅱ b (D)	2	秋～冬	2,3,4	金 2	
101320	〈兼修〉英文Ⅰ a (A)	2	春～夏	2,3,4	* 火 4	
101321	〈兼修〉英語作文Ⅰ a (A)	2	春～夏	2,3,4	木 3	
101322	〈兼修〉英文Ⅰ a (B)	2	春～夏	2,3,4	月 4	
101323	〈兼修〉英文Ⅰ a (C)	2	春～夏	2,3,4	火 5	
101324	〈兼修〉英語Ⅱ b (A)	2	秋～冬	2,3,4	火 4	
101325	〈兼修〉英語作文Ⅱ b (A)	2	秋～冬	2,3,4	木 3	
101326	〈兼修〉英文Ⅰ b (B)	2	秋～冬	2,3,4	月 4	
101327	〈兼修〉英文Ⅰ b (C)	2	秋～冬	2,3,4	水 5	
101328	〈兼修〉英文Ⅱ a (A)	2	春～夏	2,3,4	火 4	
101329	〈兼修〉英文Ⅱ a (B)	2	春～夏	2,3,4	水 3	
101330	〈兼修〉英文Ⅱ a (C)	2	春～夏	2,3,4	火 3	

時間割 コード	授業科目名	単位数 必修 選択 必修	開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時限	開講状況
101331	〈兼修〉英文学Ⅱ b (A)	2	秋～冬	2,3,4	水 4	
101332	〈兼修〉英文学Ⅱ b (B)	2	秋～冬	2,3,4	水 3	
101333	〈兼修〉英文学Ⅱ b (C)	2	秋～冬	2,3,4	火 3	
101334	〈兼修〉英米文化Ⅰ a (B)	2	春～夏	2,3,4	木 2	
101335	〈兼修〉英米文化Ⅰ a (C)	2	春～夏	2,3,4		2024不開講
101336	〈兼修〉英米文化Ⅰ b (B)	2	秋～冬	2,3,4	木 2	
101337	〈兼修〉英米文化Ⅰ b (C)	2	秋～冬	2,3,4		2024不開講
101338	〈兼修〉英語 (文学) a (E) (豊中開講)	1	春～夏	2,3,4	火 5	
101339	〈兼修〉英語 (文学) b (E) (豊中開講)	1	春～夏	2,3,4	火 5	
101340	〈兼修〉英文学Ⅱ a (E)	2	春～夏	2,3,4	月 5	
101341	〈兼修〉英文学Ⅱ b (E)	2	秋～冬	2,3,4	月 5	
101342	〈兼修〉英米文化Ⅱ a (B)	2	春～夏	2,3,4	金 2	
101344	〈兼修〉英米文化Ⅱ b (B)	2	秋～冬	2,3,4	金 2	
101345	〈兼修〉英米文化Ⅱ a (C)	2	集中	2,3,4	集中	
101346	〈兼修〉英米文化Ⅲ a (C)	2	春～夏	2,3,4		2024不開講
101347	〈兼修〉英米文化Ⅲ b (B)	2	秋～冬	2,3,4		2024不開講
101348	〈兼修〉英米文化Ⅳ a (B)	2	春～夏	2,3,4	木 3	
101349	〈兼修〉英米文化Ⅳ b (B)	2	秋～冬	2,3,4	木 3	
101350	〈兼修〉英米文化Ⅴ a	2	春～夏	2,3,4	金 3	
101351	〈兼修〉英米文化Ⅴ b	2	秋～冬	2,3,4	金 3	
101352	〈兼修〉英米文化Ⅵ a	2	春～夏	2,3,4	火 2	
101353	〈兼修〉英米文化Ⅵ b	2	秋～冬	2,3,4	火 2	
101354	〈兼修〉英語 (文化) a (Ⅰ) (豊中開講)	1	春～夏	2,3,4	月 3	
101355	〈兼修〉英語会話Ⅰ a (B)	2	春～夏	2,3,4	* 金 2	
101356	〈兼修〉英語会話Ⅰ a (C)	2	春～夏	2,3,4	月 5	
101357	〈兼修〉英語会話Ⅰ a (D)	2	春～夏	2,3,4	金 3	
101358	〈兼修〉英語会話Ⅰ a (E)	2	春～夏	2,3,4	金 4	
101359	〈兼修〉英語会話Ⅰ a (F)	2	春～夏	2,3,4		2024不開講
101360	〈兼修〉英語 (文化) b (Ⅰ) (豊中開講)	1	秋～冬	2,3,4	月 3	
101361	〈兼修〉英語 (文化) b (Ⅱ) (豊中開講)	2	秋～冬	2,3,4	金 2	
101362	〈兼修〉英語会話Ⅰ b (C)	2	秋～冬	2,3,4	月 5	
101363	〈兼修〉英語会話Ⅰ b (D)	2	秋～冬	2,3,4	金 3	
101364	〈兼修〉英語会話Ⅰ b (E)	2	秋～冬	2,3,4	金 4	
101365	〈兼修〉英語会話Ⅰ b (F)	2	秋～冬	2,3,4		2024不開講
101366	〈兼修〉英米文化Ⅳ a (C) (豊中開講)	2	春～夏	2,3,4	月 4	
101367	〈兼修〉英語会話Ⅱ a (B)	2	春～夏	2,3,4	木 2	
101368	〈兼修〉英語会話Ⅱ a (C)	2	春～夏	2,3,4	木 3	
101369	〈兼修〉英語会話Ⅱ a (D)	2	春～夏	2,3,4	木 3	2024不開講
101370	〈兼修〉英語会話Ⅱ a (E)	2	春～夏	2,3,4	金 5	
101371	〈兼修〉英米文化Ⅳ b (C) (豊中開講)	2	秋～冬	2,3,4	月 4	
101372	〈兼修〉英語会話Ⅱ b (B)	2	秋～冬	2,3,4	木 2	
101373	〈兼修〉英語会話Ⅱ b (C)	2	秋～冬	2,3,4	木 3	
101374	〈兼修〉英語会話Ⅱ b (D)	2	秋～冬	2,3,4		2024不開講
101375	〈兼修〉英語会話Ⅱ b (E)	2	秋～冬	2,3,4	金 5	
101376	〈兼修〉英語作文Ⅰ a (A)	2	春～夏	2,3,4	木 2	
101377	〈兼修〉英語作文Ⅰ b (A)	2	秋～冬	2,3,4	木 2	
101378	〈兼修〉英語作文Ⅱ a (B)	2	春～夏	2,3,4	木 1	

時間割 コード	授業科目名	単位数 必修 選択 必修	開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時限	開講状況
101379	〈兼修〉〈高修〉英語作文Ⅱb (B)	2	秋～冬	2,3,4	木1	
101392	〈兼修〉英文学Ⅱa (D)	2	春～夏	2,3,4	火5	
101393	〈兼修〉英米文化Ⅲa (C)	2	春～夏	2,3,4	火4	
101394	〈兼修〉英語作文Ⅰa (B)	2	春～夏	2,3,4	金2	遠隔授業可
101395	〈兼修〉英語作文Ⅱa (C)	2	春～夏	2,3,4	木4	
101396	〈兼修〉〈高修〉英語学Ⅱb (E)	2	秋～冬	2,3,4		2024不開講
101397	〈兼修〉〈高修〉英文学Ⅱb (D)	2	秋～冬	2,3,4	火5	
101398	〈兼修〉〈高修〉英米文化Ⅲb (C)	2	秋～冬	2,3,4	火4	
101399	〈兼修〉〈高修〉英語作文Ⅰb (B)	2	秋～冬	2,3,4	金2	遠隔授業可
101400	〈兼修〉〈高修〉英語作文Ⅱb (C)	2	秋～冬	2,3,4	木4	
101401	〈兼修〉英語学Ⅰa (D)	2	春～夏	2,3,4		2024不開講
101402	〈兼修〉〈高修〉英語学Ⅰb (D)	2	秋～冬	2,3,4		2024不開講
101403	〈兼修〉英語作文Ⅰa (C)	2	春～夏	2,3,4	木1	
101404	〈兼修〉〈高修〉英語作文Ⅰb (C)	2	秋～冬	2,3,4	木1	
101415	〈兼修〉英語学Ⅰa (G)	2	春～夏	2,3,4	金5	
101416	〈兼修〉〈高修〉英語学Ⅰb (G)	2	秋～冬	2,3,4	金5	
101811	〈学共〉方法論 Academic Presentation Course (C)	2	春～夏	2,3,4	金1	
101812	〈学共〉方法論 Academic Presentation Course (D)	2	秋～冬	2,3,4	金1	
101815	〈学共〉方法論 Academic Presentation Course (F)	2	春～夏	2,3,4	木2	
101816	〈学共〉方法論 Academic Presentation Course (G)	2	秋～冬	2,3,4	木2	
101817	〈学共〉方法論 Academic Presentation Course (H)	2	春～夏	2,3,4	金2	
101818	〈学共〉方法論 Academic Presentation Course (E)	2	秋～冬	2,3,4	金2	
101819	〈学共〉方法論 Academic Writing Course (E)	2	秋～冬	2,3,4	月5	
101820	〈学共〉方法論 Academic Writing Course (D)	2	春～夏	2,3,4	月5	
101821	〈学共〉方法論 Academic Writing Course (F)	2	春～夏	2,3,4	水1	
101822	〈学共〉方法論 Academic Writing Course (G)	2	秋～冬	2,3,4	水1	
101827	〈学共〉方法論 World English Seminar (E)	2	春～夏	2,3,4	木1	
101828	〈学共〉方法論 World English Seminar (F)	2	秋～冬	2,3,4	木1	合計24単位以上で修了

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。

※この構成科目表は2024年度を参考に作成したもので、変更の可能性があります。

別表：英語・英米文化学プログラム・2025年度検定試験スコアの提出について

「英語・英米文化学構成科目」の履修については、所定の検定試験のいずれかを受検し、基準を満たすスコアの写し（画像）を期限までに提出する必要があります。有効取得日、提出期限に注意のうえ、遺漏のないよう手続きしてください。						
履修・修得科目		各種要件等		プログラム修了要件	有効取得日	提出期限
• 英語（語学・文学・コミュニケーション）a	2025年度 春～夏学期 履修登録要件				入学以後に取得したもの	最終期限：2025年4月18日(金)
		2025年度 春～夏学期 単位修得要件			入学以後で、なおかつ 2024年4月1日以降	単位修得年度の1月末日
• 英語（語学・文学・コミュニケーション）b	2025年度 秋～冬学期 履修登録要件				入学以後に取得したもの	最終期限：2025年10月17日(金)
		2025年度 秋～冬学期 単位修得要件			入学以後で、なおかつ 2024年4月1日以降	2026年1月23日(金)
• （英語学・英文学・英語会話・英語作文）I a • （英語学・英文学・英語会話・英語作文）II a • 英米文化（I、II、III、IV、V、VI）a			2025年度 春～夏学期 履修登録要件		入学以後に取得したもの	最終期限：2025年4月18日(金)
			2025年度 秋～冬学期 履修登録要件		入学以後に取得したもの	最終期限：2025年10月17日(金)
• （英語学・英文学・英語会話・英語作文）I b • （英語学・英文学・英語会話・英語作文）II b • 英米文化（I、II、III、IV、V、VI）b				2025年度 秋～冬学期 単位修得目安	入学以後で、なおかつ 2024年4月1日以降	2026年1月23日(金)
			2025年度 春～夏学期 履修登録要件		入学以後に取得したもの	最終期限：2025年10月17日(金)
• Academic Writing Course a/b • Academic Presentation Course a/b • World English Seminar a/b					入学以後に取得したもの	最終期限：2025年4月18日(金)
			2025年度 秋～冬学期 履修登録要件		入学以後に取得したもの	最終期限：2025年10月17日(金)
プログラム修了要件					プログラム修了年度の1月末日	
試験種類	実用英語技能検定	準1級以上	準1級以上	—	入学以後でプログラム修了年度の前年度または当該年度に取得したもの	※基準を満たす有効取得日内のスコアを過去に提出済みの場合は、再度の提出は不要です。 ※実用英語技能検定は更新制ではありません。 ※学内で実施される団体試験（TOEIC-IP, TOEFL-ITP）のスコアも有効とします。 ※「〔英語学・英文学・英米文化・英語会話・英語作文〕I b・II b」の単位修得要件中に提示した点数はあくまで目安（単位修得に必要なと想定される点数、目標とすべき点数）であり、基準点（必要条件）ではありませんが、提出されたスコアを参考にしただけで成績評価がなされます。
	TOEIC (L&R)	580点以上	630点以上	730点以上	820点以上	
	TOEFL-ITP	500点以上	520点以上	550点以上	580点以上	
	TOEFL (iBT)	61点以上	68点以上	82点以上	92点以上	
	IELTS (Academic)	5.0以上	5.5以上	6.0以上	6.5以上	

【提出方法】

（履修申請時）
科目履修申請時にスコアを証明する箇所（検定試験の種類、受検年月日、氏名、スコアが印字されている部分）の画像を、メールに添付して履修科目とともに送付してください。
（単位修得時およびプログラム修了時）
送付先アドレス マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）：multilingual@office.osaka-u.ac.jp. 詳細はホームページ（http://www.mle.osaka-u.ac.jp/）を確認してください。
表中の提出期限までにスコアを証明する箇所（検定試験の種類、受検年月日、氏名、スコアが印字されている部分）の画像を、メールに添付して送付してください。
送付先アドレス マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）：multilingual@office.osaka-u.ac.jp. 詳細はホームページ（http://www.mle.osaka-u.ac.jp/）を確認してください。

【提出方法】(履修申請時)
 科目履修申請時にスコアを証明する箇所 (検定試験の種類、受検年月日、氏名、スコアが印字されている部分) の画像を、メールに添付して履修科目とともに送付してください。
 送付先アドレス マルチリンガル・エキスパート養成プログラム (MLE) : multilingual@office.osaka-u.ac.jp、詳細はホームページ (http://www.mle.osaka-u.ac.jp/) を確認してください。
 (単位修得時およびプログラム修了時)
 表中の提出期限までに、スコアを証明する箇所 (検定試験の種類、受検年月日、氏名、スコアが印字されている部分) の画像を、メールに添付して送付してください。
 送付先アドレス マルチリンガル・エキスパート養成プログラム (MLE) : multilingual@office.osaka-u.ac.jp、詳細はホームページ (http://www.mle.osaka-u.ac.jp/) を確認してください。

外国語学部【イタリア語・イタリア文化学】

プログラム名	和文 英文	イタリア語・イタリア文化学 Italian and Italian Culture
開設学部	外国語学部	
募集対象者	2023年度（令和7年度）に大阪大学の学部の2、3年次に在学する正規学生	
修了要件	12単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。	
趣旨・概要	マルチンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局構断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの学部学生向けの学部プログラムの中のジョイントプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、イタリア語・イタリア文化学に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。	
	これにより、イタリア語のより高い運用能力を涵養するとともに、イタリア語研究に関する幅広い知識を持った人材を育成することを目指す。	
到達目標 （修了時に身に付く能力）	①プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ②イタリア語の運用能力に関して、中級レベルの能力を有する。 ③イタリア語圏の言語、文学、歴史について、基礎的な知識を幅広く身につけ、異文化を正しく理解できる。	
カリキュラムの構成	本プログラムは、外国語学部が開講する授業科目の内、兼修語学のイタリア語初級およびイタリア語中級（1単位の実習科目）、およびイタリア語専攻の専攻科目の内、概論に該当する講義科目（2単位の講義科目）によって構成される。また、マルチンガル教育センター提供のイタリア語初級Ⅰ、Ⅱ、中級Ⅰ、Ⅱは豊中開講となる。	
履修資格・条件	各自の専門分野のみならず、イタリア語を修得して将来国際舞台で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎する。募集人員は各学部若干名で、履修申請書（志望動機）および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修生を決定する。応募者には必要に応じて面接を課すことがある。	
前提知識の目安	特になし	
履修申請	8-11頁を参照のこと。	
	履修申請書はMLEのホームページから入手できる。 履修申請はメールで行うこと。 ※メールで申請出来ない場合に限り、外国語学部豊中分室もしくは人文学研究科策面事務部MLE担当に提出すること。	
問合せ先	マルチンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）担当者 Email: multilingual@office.osaka-u.ac.jp	

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数 必修	開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時限	備 考
101547	イタリア語初級a (A)	1	春～夏	2,3,4	火2	左記の授業科目のうち、初級から2単位以上を選択必修。 春～夏学期と秋～冬学期は同じクラスを履修すること。
101551	イタリア語初級b (A)	1	秋～冬	2,3,4	火2	
101548	イタリア語初級a (B)	1	春～夏	2,3,4	水2	
101552	イタリア語初級b (B)	1	秋～冬	2,3,4	水2	
101549	イタリア語初級c (C)	1	春～夏	2,3,4	月4	
101553	イタリア語初級b (C)	1	秋～冬	2,3,4	月4	左記の授業科目のうち、中級から2単位以上を選択必修。 春～夏学期と秋～冬学期は同じクラスを履修すること。
101550	イタリア語初級a (D) (豊中開講)	1	春～夏	2,3,4	火5	
101554	イタリア語初級b (D) (豊中開講)	1	秋～冬	2,3,4	火5	
191637	イタリア語初級Ⅰ（豊中開講）	1	春～夏	2,3,4	月1	
192637	イタリア語初級Ⅱ（豊中開講）	1	秋～冬	2,3,4	月1	
101543	イタリア語中級a (A)	1	春～夏	2,3,4	木2	左記の授業科目のうち、中級から2単位以上を選択必修。 春～夏学期と秋～冬学期は同じクラスを履修すること。 イタリア語初級を先に2単位以上履修すること。
101545	イタリア語中級b (A)	1	秋～冬	2,3,4	木2	
101544	イタリア語中級a (B)	1	春～夏	2,3,4	月3	
101546	イタリア語中級b (B)	1	秋～冬	2,3,4	月3	
193637	イタリア語中級（豊中開講）	1	春～夏	2,3,4	月2	
194637	イタリア語中級（豊中開講）	1	秋～冬	2,3,4	月2	左記の授業科目のうち、4単位以上を選択必修すること。
101523	イタリア言語文化概説Ⅰa	2	春～夏	2,3,4	金2	
101524	イタリア言語文化概説Ⅰb	2	秋～冬	2,3,4	金2	
101525	イタリア言語文化概説Ⅱa	2	春～夏	2,3,4	木1	
101526	イタリア言語文化概説Ⅱb	2	秋～冬	2,3,4	木1	
102093	イタリア語学講義a	2	春～夏	3,4	火3	左記の授業科目のうち、4単位以上を選択必修すること。
102094	イタリア語学講義b	2	秋～冬	3,4	火3	
102103	イタリア文学講義a	2	春～夏	3,4	月1	
102104	イタリア文学講義b	2	秋～冬	3,4	月1	
102107	イタリア歴史講義a	2	春～夏	3,4	水5	
102108	イタリア歴史講義b	2	秋～冬	3,4	水5	合計12単位以上で修了
102099	イタリア社会講義a	2	春～夏	3,4	月2	
102100	イタリア社会講義b	2	秋～冬	3,4	月2	
101531	イタリア文化講義Ⅰa	2	春～夏	3,4	木4	
101532	イタリア文化講義Ⅰb	2	秋～冬	3,4	木4	
101533	イタリア文化講義Ⅱa	2	春～夏	3,4	水2	
101534	イタリア文化講義Ⅱb	2	秋～冬	3,4	水2	
101535	イタリア文化講義Ⅲa	2	春～夏	3,4	月4	
101536	イタリア文化講義Ⅲb	2	秋～冬	3,4	金2	

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。
※「イタリア語初級Ⅰ、Ⅱ」「イタリア語中級」については、文学部の学生は、卒業要件単位となり、1年次で修得した場合も当プログラム上の修了要件として認めます。
※文学部の学生で第2外国語としてではなく、全学共通教育科目の履修を希望する場合、および人間科学部、法学部、経済学部の学生で全学共通教育科目として履修を希望する場合は、事前に申し込みが必要で、認められた場合は履修出来ます。
※イタリア語中級を履修するには、本プログラムのイタリア語初級（2単位）か全学共通教育科目のイタリア語初級（2単位）を履修していることが必要です。
※この構成科目の一覧は、2024年度の実施に基づき開講予定で、開講日時、科目等変更される可能性があります。

外国語学部【スペイン語・スペイン文化学】

プログラム名	和文	スペイン語・スペイン文化学
開設学部	英文	Spanish and Spanish Culture
募集対象	外国語学部	
募集対象	2023年度（令和7年度）に大阪大学の学部の2、3年次に在学する正規学生	
修了要件	12単位以上	本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。また、全学共通教育科目のスペイン語初級の単位を修得している者には、スペイン語初級を免除しスペイン語中級4単位と講義6単位以上の修得で修了とみなす。
趣旨・概要	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局構断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの学部学生向けの学部プログラムの中のショートプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、スペイン語・スペイン文化学に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、スペイン語のより高い運用能力を涵養するとともに、スペイン語圏研究に関する幅広い知識をもった人材を育成することを目指す。	
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①スペイン語の運用能力に関して、中級レベル(CEFR/A2もしくはB1相当)の能力を有する。 ②スペイン語圏の言語、文学、歴史について、基礎的な知識を幅広く身につけ、異文化を正しく理解できる。	
カリキュラムの構成	本プログラムは、外国語学部が開講する授業科目の内、兼修語学のスペイン語初級およびスペイン語中級（1単位の実習科目）、およびスペイン語専攻の専攻科目の内、概論に該当する講義科目（2単位の講義科目）によって構成される。	
履修資格・条件	各自の専門分野のみならず、スペイン語を修得して将来国際舞台で活躍することにご意欲を持つ学生を歓迎する。募集人員は各学部若干名で、履修申請書（志望理由）および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修者を決定する。応募者には必要に応じて面接を課すことがある。	
前提知識の目安	特になし	
履修申請	8～11頁を参照のこと。 履修申請書はMLEのホームページから入手できる。 ※メールで申請出来ない場合に限り、外国語学部豊中分室もしくは人文学研究所科研事務部MLE担当に提出すること。	
問合せ先	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）担当者 Email: multilingual@office.osaka-u.ac.jp	

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数 必修	開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時限	備 考
101643	スペイン語初級a (A)	1	春～夏	2,3,4	水3	
101649	スペイン語初級b (A)	1	秋～冬	2,3,4	水3	
101644	スペイン語初級a (B)	1	春～夏	2,3,4	火2	
101650	スペイン語初級b (B)	1	秋～冬	2,3,4	火2	
101645	スペイン語初級a (C)	1	春～夏	2,3,4	金2	
101651	スペイン語初級b (C)	1	秋～冬	2,3,4	金2	
101646	スペイン語初級a (D)	1	春～夏	2,3,4	火4	左記の授業科目の初級レベルから2単位以上を選択必修すること。 ※春夏学期と秋冬学期は同じクラスを履修すること。
101652	スペイン語初級b (D)	1	秋～冬	2,3,4	火4	
101647	スペイン語初級a (E)	1	春～夏	2,3,4	水2	
101653	スペイン語初級b (E)	1	秋～冬	2,3,4	水2	
101648	スペイン語初級a (F) (豊中開講)	1	春～夏	2,3,4	水4	
101654	スペイン語初級b (F) (豊中開講)	1	秋～冬	2,3,4	水4	
191629	※①②スペイン語初級I (豊中開講)	1	春～夏	2,3,4	月1	
192629	※①②スペイン語初級II (豊中開講)	1	秋～冬	2,3,4	月1	
101633	※③④スペイン語中級I a (A)	1	春～夏	2,3,4	水4	左記の授業科目の中級Iレベルから2単位以上を選択必修。 ※春夏学期と秋冬学期は同じクラスを履修すること。
101636	※③④スペイン語中級I b (A)	1	秋～冬	2,3,4	水4	
101634	※③④スペイン語中級I a (B)	1	春～夏	2,3,4	水3	
101637	※③④スペイン語中級I b (B)	1	秋～冬	2,3,4	水3	
101639	※③④スペイン語中級II a (A)	1	春～夏	2,3,4	水5	左記の授業科目の中級IIレベルから2単位以上を選択必修。 ※春夏学期と秋冬学期は同じクラスを履修すること。
101641	※③④スペイン語中級II b (A)	1	秋～冬	2,3,4	水5	
101640	※③④スペイン語中級II a (B)	1	春～夏	2,3,4	火3	
101642	※③④スペイン語中級II b (B)	1	秋～冬	2,3,4	火3	
101599	スペイン歴史・文化概論a	2	春～夏	2,3,4	火1	
101600	スペイン歴史・文化概論b	2	秋～冬	2,3,4	水4	左記の授業科目のうちから、6単位以上を選択必修。
101601	スペイン語学概論a	2	春～夏	2,3,4	火1	
101602	スペイン文学概論	2	秋～冬	2,3,4	水4	
193629	※⑤スペイン語中級 (豊中開講)	1	春～夏	2,3,4	月2	
193630	※⑤スペイン語中級 (豊中開講)	1	春～夏	2,3,4	金1	
193631	※⑤スペイン語中級 (豊中開講)	1	春～夏	2,3,4	月2	左記の授業科目は、選択科目とする。
194631	※⑤スペイン語中級 (豊中開講)	1	秋～冬	2,3,4	月2	
留置事項						合計12単位以上で修了

留置事項
※①「スペイン語初級I、II」については、文学部、人間科学部の学生は、卒業要件単位となり、1年次で修得した場合も当プログラムを修了要件として認めます。
※②「スペイン語初級I、II」については、文学部、人間科学部の学生で第2外国語としてではなく、全学共通教育科目の履修を希望する場合、および法学部、経済学部の学生で全学共通教育科目として履修を希望する場合は、事前に申し込みが必要で、認められた場合は履修できます。
※③スペイン語中級を履修するには、本プログラムのスペイン語初級（2単位）か全学共通教育科目のスペイン語初級I、II（2単位）を修得していることが必要です。
※④スペイン語中級IとIIとはどちらから履修しても構いません。
※構成科目は2024年度の実績に基づき開講予定で、変更される可能性があります。
※⑤「スペイン語中級」については、文学部、人間科学部の学生は、卒業要件単位となり、1年次または2年次で修得した場合も当プログラムの修了要件として認めます。

外国語学部【ポルトガル語・ポルトガル語圏文化学】

プログラム名	和文	ポルトガル語・ポルトガル語圏文化学
開設学部	英文	Portuguese language and Luso-Brazilian culture
募集対象者	外国語学部	
修了要件	2023年度（令和7年度）に大阪大学の学部の2、3年次に在学する正規学生 12単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。	
趣旨・概要	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局構断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの学部学生向けの学部プログラムの中のショートプログラムとして実施するもので、プログラムに登載した学生に対して、ポルトガル語・ポルトガル語圏文化学に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、ポルトガル語のより高い運用能力を涵養するとともに、ポルトガル語圏研究に関する幅広い知識を持った人材を育成することを目指す。	
到達目標 （修了時に身に付く能力）	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①ポルトガル語の運用能力に関して、中級レベルの能力を有する。 ②ポルトガル語圏の言語、文学、歴史について、基礎的な知識を幅広く身につけ、異文化を正しく理解できる。	
カリキュラムの構成	本プログラムは、外国語学部が開講する授業科目の内、兼修語学のポルトガル語初級およびポルトガル語中級（1単位の実習科目）、およびポルトガル語専攻の専攻科目の内、概論に該当する講義科目（2単位の講義科目）によって構成される。	
履修資格・条件	各自の専門分野のみならず、ポルトガル語を修得して将来国際舞台で活躍すること に意欲を持つ学生を歓迎する。募集人員は各学部若手名で、履修申請書（志望動機） および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修生を決定する。応募者には必 要に応じて面接を講ずることがある。	
前提知識の目安	特になし	
履修申請	8-11頁を参照のこと。 履修申請書は KOAN の掲示板および MLE のホームページから入手できる。 履修申請はメールで行うこと。 ※メール申請が出来ない場合に限り、外国語学部豊中分室もしくは人文学研究科箕 面事務部 MLE 担当に提出すること。	
問合せ先	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）担当者 Email: multilingual@office.osaka-u.ac.jp	

●構成科目

時間割 コード	授業科目名	単位数 必修 選択	開講学期 （学期制）	配当学年	曜日・時限	備 考
101726	ポルトガル語初級 a (A) (豊中開講)	1	春～夏	1,2,3,4	木 3	
101728	ポルトガル語初級 b (A) (豊中開講)	1	秋～冬	1,2,3,4	木 3	
101727	ポルトガル語初級 a (B)	1	春～夏	1,2,3,4	月 4	
101729	ポルトガル語初級 b (B)	1	秋～冬	1,2,3,4	月 4	
101665	ポルトガル語 1 (A) (豊中開講)	2	通年	1,2,3,4	月 3	
101738	ポルトガル語 1 (B) (豊中開講)	2	通年	1,2,3,4	月 4	
101666	ポルトガル語 2 (A) (豊中開講)	2	通年	1,2,3,4	水 3	
101739	ポルトガル語 2 (B) (豊中開講)	2	通年	1,2,3,4	2024年開講	
101667	ポルトガル語 3 (A) (豊中開講)	2	通年	1,2,3,4	月 4	左記の授業科目のうちから、合計 4 単位以上を修得すること。
101668	ポルトガル語 3 (B) (豊中開講)	2	通年	1,2,3,4	月 3	
101669	ポルトガル語 4 (A) (豊中開講)	2	通年	1,2,3,4	火 3	
101670	ポルトガル語 4 (B) (豊中開講)	2	通年	1,2,3,4	火 4	
101671	ポルトガル語 5 (A) (豊中開講)	2	通年	1,2,3,4	金 3	
101672	ポルトガル語 5 (B) (豊中開講)	2	通年	1,2,3,4	金 2	
191943	※①特別外国語演習 (ポルトガル語 I) (豊中開講)	2	春～夏	2,3,4	水 5	
192955	※①特別外国語演習 (ポルトガル語 II) (豊中開講)	2	秋～冬	2,3,4	月 5	
101730	ポルトガル語中級 a	1	春～夏	2,3,4	月 3	左記の授業科目のうちから、2 単位以上を修得すること。
101731	ポルトガル語中級 b	1	秋～冬	2,3,4	月 3	
101692	※②ポルトガル語圏文化概論 a	2	春～夏	2,3,4	月 4	
101929	※②ポルトガル語圏文化概論 b	2	秋～冬	2,3,4	月 4	
101693	※②ポルトガル語圏語学概論 a	2	春～夏	2,3,4	火 4	
101694	※②ポルトガル語圏語学概論 b	2	秋～冬	2,3,4	火 4	
10B695	※② 地域系科目 ポルトガル語圏文学概論 a	2	春～夏	2,3,4	水 2	文化概論 ab、語学概論 ab、文学概論 ab から 4 単位以上を修得すること。
10B696	※② 地域系科目 ポルトガル語圏文学概論 b	2	秋～冬	2,3,4	火 1	
						合計12単位以上で修了

※①特別外国語演習（ポルトガル語）Ⅰ、Ⅱについては、文、人、法の学生は卒業要件単位となり、1 年次に修得した場合も当プログラムの修了要件として認める。

特別外国語演習（ポルトガル語）Ⅱについては、「特別外国語演習（ポルトガル語）Ⅰ」を履修した学生、あるいは、同程度のポルトガル語力を有する学生のみ受講可能。

※②ポルトガル語圏語学概論、ポルトガル語圏文学概論については、ポルトガル語初級を 2 単位以上修得している者のみ履修を認める。

※この構成科目の一覧は、2024 年度の実績に基づき開講予定で、開講日時、科目等変更される可能性があります。

文学部【人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）】

プログラム名	和文 人文学（グローバル・アジア・スタディーズ） 英文 Humanities (Global Asian Studies)
開設学部	文学部
募集対象者	2023年度（令和7年度）に外国語学部の2・3年次に在学する正規学生
修了要件	24単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って24単位以上修得すること。 マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断的教育プログラムである。
趣旨・概要	本プログラムは、そのうち学部学生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した外国語学部外国語学科の学生に対して、人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）に関するプログラムを提供する。
到達目標 （修了時に身に付く能力）	本プログラムでの学習を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①アジアの文化・歴史・思想全般に関する基礎知識を習得している。 ②アジアの文化・歴史・思想を研究するための方法を習得している。 ③アジアの文化・歴史・思想の個別主題についての専門知識を習得している。 ④アジア諸言語の高度な運用能力を習得している。
カリキュラムの構成	・「グローバルフィロソフィー」「世界の中のアジア史」「グローバルアジア研究」「広域アジア史」「アジアの思想史」「アジアの芸術史」「アジアの文化と社会」「中国語圏文学」「中国の文化と社会」の科目群を設け、科目群ごとに1～5の科目を配置する。 ・豊富な選択肢のなかから自由に組み合わせることで選択できるため、履修者の関心に応じて、一般性（地域横断的な知と分野横断的な知）（上記①に対応）、専門性（上記③に対応）のいずれにも焦点化が可能である。 ・高度な外国語運用能力の養成のため、文献講読も開講する（上記④に対応）。 ・上記②については、各科目群の基礎的な科目をもって対応する。
履修資格・条件	募集人員は若干名で、履修申請書（志望理由）及び成績等の審査の結果を総合して選考し、履修者を決定する。希望者多数の場合は、面接を課すこともある。
前提知識の目安	アジアを対象とした思想、歴史、文学、芸術などの人文学について、学部1年生程度の基礎知識を有していること。
履修申請	8～11頁を参照のこと。「学部プログラム履修申請書」の用紙は、KOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。
問合せ先	人文学研究科豊中事務部教務係 TEL: 06-6850-5085/5084 FAX: 06-6850-5087 Email: jinbun-kyoumu@office.osaka-u.ac.jp

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数		開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時限	備考
		必修	選択				
002002	世界の中のアジア史	2		春～夏学期	3,4年	木3	① 左記の「必修科目」1科目2単位を修得すること。 同一科目の重複履修可（担当教員に確認すること）。
002003	世界の中のアジア史	2		秋～冬学期	3,4年	木3	① 2単位を超えて修得した場合は、超過した単位を「選択必修科目」の単位とすることができる。
002001	グローバルフィロソフィー	2		春～夏学期	2,3,4年	水1	②
002004	グローバル・アジア研究Ⅰ	2		不開講	3,4年		②
002005	グローバル・アジア研究Ⅱ	2		不開講	2,3,4年		②
002006	グローバル・アジア研究Ⅲ	2		不開講	2,3,4年		②
002014	広域アジア史Ⅰ	2		春～夏学期	2,3,4年	月5	③
002015	広域アジア史Ⅱ	2		秋～冬学期	3,4年	月5	③
002016	広域アジア史Ⅲ	2		春～夏学期	3,4年	金4	③
002017	広域アジア史Ⅳ	2		不開講	2,3,4年		③
002018	広域アジア史Ⅴ	2		秋～冬学期	2,3,4年	火2	③
002008	アジアの思想史Ⅰ	2		春～夏学期	2,3,4年	火4	③
002009	アジアの思想史Ⅱ	2		秋～冬学期	2,3,4年	木2	③
002031	アジアの思想史Ⅲ	2		秋～冬学期	2,3,4年	金2	③
002032	アジアの思想史Ⅲ	2		秋～冬学期	2,3,4年	未定	③
002020	アジアの思想史Ⅳ	2		秋～冬学期	2,3,4年	月5	③
002010	アジアの芸術史	2		秋～冬学期	2,3,4年	水4	③
002021	アジアの文化と社会Ⅰ	2		不開講	2,3,4年		③
002022	アジアの文化と社会Ⅱ	2		春～夏学期	2,3,4年	金2	③
002023	中国語圏文学Ⅰ	2		春～夏学期	2,3,4年	火5	③④
002024	中国語圏文学Ⅱ	2		不開講	2,3,4年		③④
002025	中国語圏文学Ⅲ	2		秋～冬学期	2,3,4年	金5	③④
002026	中国語圏文学Ⅳ	2		不開講	2,3,4年		③④
002027	中国語圏文学Ⅴ	2		不開講	2,3,4年		③④
002028	中国の文化と社会Ⅰ	2		不開講	3,4年		③
002029	中国の文化と社会Ⅱ	2		春～夏学期	3,4年	月3	③
002030	中国の文化と社会Ⅲ	2		秋～冬学期	3,4年	月3	③
							合計24単位で修了

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。
構成科目の一覧は、2024年度の実績に基づく開講予定で、変更される可能性があります。

文学部【人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）】

プログラム名	和文	人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）
開設学部	英文	Humanities (Global Euro Studies)
募集対象	文学部	
修了要件	2025年度（令和7年度）に外国語学部の2・3年次に在学する正規学生 24単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って24単位以上修得すること。 「マルチランガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組み専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局構断型教育プログラムである。 本プログラムは、そのうち学部学生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した外国語学部外国語学科の学生に対して、人文学に関するプログラムを提供する。 グローバル化が進展する今日において、ひとつの国や地域に関する専門的知識をもちながらも、それを含む広い領域に関する複数の学問分野について学ぶことは、ますます重要な課題となっている。本プログラムでは、ヨーロッパの古代から現代までのあらゆる時代に関わる思想、歴史、文学、芸術などの人文学の基礎知識、理論、方法論を学び、幅広い人文学的教養と高度な専門性を備えたグローバル人材を育成することを教育目標とする。	
趣旨・概要	本プログラムでの学習を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①ヨーロッパの文化・歴史・思想全般の基礎知識を習得している。 ②ヨーロッパの文化・歴史・思想を研究するための方法を習得している。 ③ヨーロッパの文化・歴史・思想の個別主題について専門的な知識を習得している。 ④ヨーロッパ諸言語の高度な運用能力を習得している。 ＊構成科目の備考欄①～④と対応している。	
到達目標 （修了時に身に付く能力）	上記の到達目標（修了時に身に付けるべき能力）を達成するために、以下の科目群を配置し、系統的履修を促す。 ヨーロッパ思想とヨーロッパ芸術に関する概説講義を必修科目とし ①、「ヨーロッパの哲学」「ヨーロッパの歴史」「ヨーロッパの文学」「ヨーロッパの芸術」ならびに「ヨーロッパの現代」という5つの科目群を選択必修科目と位置づける。これにより、履修者の関心に応じて、ひとつの学問分野において地域横断的な知見を得る②）とともに、ひとつの国や地域に関する分野横断的な知識の習得③）が可能となる。 さらには、ヨーロッパをアジア（と日本）との関係のなかに位置づける科目も配し、世界全体から見たヨーロッパの特殊性への意識をも涵養する。また、英・独・仏語の文献講読授業や、ネイティブ教員による英・独・仏語の授業も組み込み、高度な外国語運用能力の習得を促す④）。	
カリキュラムの構成	ヨーロッパの歴史と現代、ならびにヨーロッパの哲学・歴史・文学・芸術に関心があり、それらの領域に関わる専門研究に従事する意欲を持つ学生を歓迎する。 募集人員は若干名で、履修申請書（志望理由）及び成績等の審査の結果を総合して選考し、履修者を決定する。希望者多数の場合は、面接を課すこともある。 英語に加えて、ドイツ語、フランス語、イタリア語などのヨーロッパ諸言語の少なくとも一言語に関する基礎的な文法事項を修得していることが望ましい。	
履修資格・条件	ヨーロッパの歴史と現代、ならびにヨーロッパの哲学・歴史・文学・芸術に関心があり、それらの領域に関わる専門研究に従事する意欲を持つ学生を歓迎する。 募集人員は若干名で、履修申請書（志望理由）及び成績等の審査の結果を総合して選考し、履修者を決定する。希望者多数の場合は、面接を課すこともある。	
前提知識の目安	英語に加えて、ドイツ語、フランス語、イタリア語などのヨーロッパ諸言語の少なくとも一言語に関する基礎的な文法事項を修得していることが望ましい。	
履修申請	8-11頁を参照のこと。 [学部プログラム履修申請書]の用紙は、KOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。	
問合せ先	人文学研究科量中事務部教務係 TEL: 06-6850-5085/5084 FAX: 06-6850-5087 Email: jinbun-kyoumu@office.osaka-u.ac.jp	

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数 必修	開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時限	備考
002201	グローバル・ユーロ思想史	2	春～夏学期	2,3,4年	木2	左記の「必修科目」2科目4単位を修得すること。 同一科目の重複履修可（担当教員に確認すること）。
002202	グローバル・ユーロ芸術史	2	春～夏学期	2,3,4年		4単位を超えて修得した場合は、超過した単位を「選択必修科目」の単位とすることができる。 ①
002203	ヨーロッパの哲学Ⅰ	2	春～夏学期		月5	
002204	ヨーロッパの哲学Ⅱ	2	秋～冬学期		月3	
002205	ヨーロッパの哲学Ⅲ	2	春～夏学期	2,3,4年	水3	
002206	ヨーロッパの哲学Ⅳ	2	春～夏学期	月4	水3	
002207	ヨーロッパの哲学Ⅴ	2	秋～冬学期		水3	
002208	ヨーロッパの哲学Ⅵ	2	秋～冬学期		月5	
002209	ヨーロッパの歴史Ⅰ	2	春～夏学期			
002210	ヨーロッパの歴史Ⅱ	2	春～夏学期	3,4年		
002211	ヨーロッパの歴史Ⅲ	2	秋～冬学期	2,3,4年	木2	
002212	ヨーロッパの歴史Ⅳ	2	春～夏学期	3,4年	木3	
002213	ヨーロッパの歴史Ⅴ	2	秋～冬学期		木3	
002216	ヨーロッパの文学Ⅰ	2	春～夏学期		金2	
002217	ヨーロッパの文学Ⅱ	2	秋～冬学期		集中	
002218	ヨーロッパの文学Ⅲ	2	春～夏学期		金3	
002219	ヨーロッパの文学Ⅳ	2	秋～冬学期		木4	
002220	ヨーロッパの文学Ⅴ	2	春～夏学期		木2	左記の「選択必修科目」のうちから、20単位以上修得すること。
002221	ヨーロッパの文学Ⅵ	2	秋～冬学期		月4	
002222	ヨーロッパの文学Ⅶ	2	春～夏学期		木2	
002223	ヨーロッパの文学Ⅷ	2	秋～冬学期		未定	同一科目の重複履修可（担当教員に確認すること）。
002241	ヨーロッパの文学Ⅸ	2	春～夏学期		未定	②③④
002231	ヨーロッパの文学Ⅹ	2	秋～冬学期		木3	
002224	ヨーロッパの文学Ⅺ	2	春～夏学期		未定	
002225	ヨーロッパの文学Ⅻ	2	秋～冬学期		未定	
002226	ヨーロッパの文学Ⅼ	2	春～夏学期		未定	
002227	ヨーロッパの文学Ⅽ	2	秋～冬学期	2,3,4年	未定	
002228	ヨーロッパの文学Ⅾ	2	春～夏学期		未定	
002229	ヨーロッパの文学Ⅿ	2	秋～冬学期		未定	
002230	ヨーロッパの文学ⅰ	2	春～夏学期	月3	未定	
002242	ヨーロッパの文学ⅱ	2	秋～冬学期		木4	
002243	ヨーロッパの文学ⅲ	2	春～夏学期		木4	
002232	ヨーロッパの芸術Ⅰ	2	秋～冬学期	月2	火1	
002233	ヨーロッパの芸術Ⅱ	2	春～夏学期		未定	
002234	ヨーロッパの芸術Ⅲ	2	秋～冬学期		未定	
002240	ヨーロッパの芸術Ⅳ	2	春～夏学期		水3	
002241	ヨーロッパの現代Ⅰ	2	秋～冬学期		水2	
002236	ヨーロッパの現代Ⅱ	2	春～夏学期		木1	
002237	ヨーロッパの現代Ⅲ	2	秋～冬学期		木1	
002238	ヨーロッパの現代Ⅳ	2	春～夏学期	月3	月3	
002239	ヨーロッパの現代Ⅴ	2	秋～冬学期			
合計24単位で修了						

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。
構成科目の一覧は、2024年度の実績に基づく開講予定で、変更される可能性があります。

人間科学部【人間科学（共生の生態）】

プログラム名	和文 人間科学（共生の生態） 英文 Human Sciences (Ecology of Living Together)
開設学部	人間科学部
募集対象者	2023年度（令和7年度）に外国語学部の2年次に在学する正規学生
修了要件	24単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って24単位以上修得すること。 「マルチリンガルエキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。 本プログラムは、そのうちの学部学生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した外国語学部外国語学科の学生に対して、人間科学（共生の生態）に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。多様な文化的・社会的背景をもった人々が国内外で出会う状況が生まれているこんにち、日常生活、あるいは、災害や紛争といった状況下において、共生を構築し、そのあり方を問うていくことがますます重要となっている。本プログラムでは人間科学部の多様な専門性を活かして、さまざまな角度から共生について学ぶことを通じ、共生の実現に貢献できる人材を養成することを目標とする。
趣旨・概要	本プログラムでの学習を通して、以下の能力を得た方に修了認定証を授与する。 ①複眼的な思考を持ち、人々の多様性を理解できる。 ②人々と対話し関係を築き協働することについて、自分の意見を持ち、論じることができる。 ③共生に関し学んだことを応用できる。
到達目標 (修了時に身に付く能力)	上記の到達目標を達成するために6つの科目群を配置し、共生について多面的な履修を促す。共生そのものをテーマとしてとり上げる授業と、共生に関連するテーマを扱う授業がある。 ・基礎科目群 人間科学部で学ぶための基礎的な科目群 ・行動学科目群 心理学、行動学、死生学などに関わる科目群 ・社会科学科目群 社会学、文化人類学、福祉、思想などに関わる科目群 ・教育学科目群 教育学の理論と教育現場に関わる科目群 ・共生学科目群 共生そのものを考える科目群 ・G30科目群 英語による科目群
カリキュラムの構成	
履修資格・条件	募集人員は若干名で、履修申請書（志望理由）及び成績審査の結果を総合して選考し、履修者を決定する。
前提知識の目安	前提知識は不要。
履修申請	本学部プログラムの履修を希望する者は、所定の期日までに、人間科学部教務係へ、「学部プログラム履修申請書」および大阪大学の「成績証明書」を提出してください。 [学部プログラム履修申請書]の用紙は、KOANの掲示板およびMILEのホームページから入手できます。
問合せ先	人間科学研究科教務係 TEL: 06-6879-8012 FAX: 06-6879-8010 Email: jinka-kyomu@office.osaka-u.ac.jp

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数 必修	開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時限	備考
010667	人間科学概論	2	春～夏学期	2年次学期以降	月・4	①②③
010729	行動学概論（心理学概論）	2	秋～冬学期	2年次学期以降	月・4	①②③
010669	社会学概論	2	秋～冬学期	2年次学期以降	水・2	①②③
010670	社会学概論	2	秋～冬学期	2年次学期以降	火・5	①②③
010671	共生学概論	2	秋～冬学期	2年次学期以降	火・2	①②③
〈行動学科目〉						
010734	臨床心理学・老年行動学（福祉心理学）	2	秋～冬学期	2年次学期以降	木・2	①②③
010663	人間環境論	2	秋～冬学期	2年次学期以降	木・3	①②③
010664	生活環境論	2	春～夏学期	2年次学期以降	月・4	①②③
010740	発達臨床心理学（障害者・障害児心理学）	2	不開講	2年次学期以降	①②③	左記の授業科目のうちから、2科目4単位以上修得すること。
010284	集団力学	2	春～夏学期	2年次学期以降	水・2	①②③
010602	臨床認知心理学	2	秋～冬学期	2年次学期以降	月・3	①②③
〈社会科学目〉						
010770	日本の現代思想	2	春～夏学期	2年次学期以降	火・3	①②③
010556	グローバル化と文化	2	春～夏学期	2年次学期以降	水・4	①②③
010378	比較社会学	2	春～夏学期	2年次学期以降	火・2	①②③
010170	現代社会学	2	不開講	2年次学期以降	火・4、火・5	①②③
〈教育学科目〉						
010623	外国教育制度学	2	夏学期（集中C）	2年次学期以降	他	①②③
010036	比較教育史	2	不開講	2年次学期以降	①②③	
010654	人権教育論	2	春～夏学期	2年次学期以降	木・3	①②③
010497	生涯教育学	2	不開講	2年次学期以降	①②③	
010786	シニエリシップと教育	2	春～夏学期	2年次学期以降	未定	①②③
010752	臨床心理学概論	2	秋～冬学期	2年次学期以降	金・2	①②③
010753	心理学的支援法	2	春～夏学期	2年次学期以降	火・2	①②③
010648	教育哲学	2	春～夏学期	2年次学期以降	木・2	①②③
〈共生学科目〉						
010684	共生の人間学Ⅰ	2	春～夏学期	2年次学期以降	金・1	①②③
010685	共生の人間学Ⅱ	2	秋～冬学期	2年次学期以降	木・2	①②③
010803	福祉社会論	2	秋学期	2年次学期以降	月・1、月・2	①②③
010688	共生社会論Ⅰ	2	春～夏学期	2年次学期以降	火・5	①②③
010690	共生社会論Ⅲ	2	秋～冬学期	2年次学期以降	火・5	①②③
010693	共生行動論Ⅰ	2	秋～冬学期	2年次学期以降	火・2	①②③
010694	共生行動論Ⅱ	2	春～夏学期	2年次学期以降	火・2	①②③
010697	共生教育論Ⅰ	2	春～夏学期	2年次学期以降	水・1	①②③
010698	共生教育論Ⅱ	2	不開講	2年次学期以降	①②③	
010702	国際協力学Ⅱ	2	不開講	2年次学期以降	①②③	
010705	多文化共生学Ⅰ	2	春～夏学期	2年次学期以降	木・2	①②③
010710	地域創生論Ⅱ	2	不開講	2年次学期以降	①②③	
010713	コンフリクトと共生Ⅰ	2	秋～冬学期	2年次学期以降	水・3	①②③
010714	コンフリクトと共生Ⅱ	2	春～夏学期	2年次学期以降	水・3	①②③
〈G30科目〉						
Z28021	Issues in Gerontology	2	春～夏学期	2年次学期以降	木・3	①②③
Z28068	Global Health and Education ※備考	2	秋～冬学期	2年次学期以降	火・2	①②③
Z28002	Gender and Education	2	不開講	2年次学期以降	①②③	左記の授業科目のうちから、1科目2単位以上修得すること。
Z28008	Gender and Development	2	不開講	2年次学期以降	木・4	①②③
Z28067	Social Science Japanese Texts Reading	2	秋～冬学期	2年次学期以降	火・2	①②③
Z28024	Psychology of Aging	2	秋～冬学期	2年次学期以降	水・1	①②③
					合計24単位で修了	

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。

※2 構成科目の一覧は、2024年度の実績に基づき開講予定で、変更される可能性があります。

法学部【法学・政治学】

プログラム名	和文 法学・政治学
開設学部	英文 Law and Politics
募集対象者	法学部
修了要件	2025年度（令和7年度）に外国語学部の2年次に在学する正規学生
趣旨・概要	24単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って24単位以上修得すること。 「マルチリンガルエキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。 本プログラムは、そのうちの学部学生プログラムとして実施するもので、プログラムに登録した外国語学部外国語学科の学生に対して、法学・政治学に関するプログラムを提供する。
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた学生に修了認定証を授与する。 ①法学・政治学について理解している。 ②法学・政治学について自分の意見を持ち、論じることができる。 ③法学・政治学を応用できる。
カリキュラムの構成	本プログラムでは、24単位以上の修得によって法学・政治学の中心部分を学ぶことができる。履修者には外国語による法学の学習機会も提供する。学習に必要なスキルを学ぶため、〈法学系基本科目〉、〈国際法系科目〉、〈政治学系基本科目〉、〈外国語による授業科目〉などの選択必修科目（10単位以上）が設定され、修得した能力をさらに発展させるため、〈法学系〉、〈政治学系〉などの選択科目が設定されている。選択必修科目以外の14単位（以上）は、選択必修科目、選択科目を問わず、科目表中のどの科目の履修によっても満たすことができる。ただし、〈国際法系科目〉と〈外国語による授業科目〉だけで24単位以上をとっても修了要件を満たすことにはならない。
履修資格・条件	現代世界の喫緊の課題に取り組むグローバルに活躍する上で不可欠な、法学・政治学の専門的な知識の中核となる部分を獲得し、法学・政治学の領域にかかわる外国語能力を高めるようという意欲のある学生を歓迎する。 募集人員は、若干名。履修希望者多数の場合は、入学以降の成績（GPA）及び履修申請書（志望理由）を総合して選考し、履修者を決定する。
前提知識の目安	法学・政治学に関する大学初等レベルの知識を持っていることが望ましい。
履修申請	下記問合せ先の法学部教務係宛にメールにて申請すること。
問合せ先	法学部教務係 E-mail: hokkou-hougakukyomu@office.osaka-u.ac.jp

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数 必修	開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時段	備考
〈法学系基本科目〉						
020001	法学の基礎	2	春～夏	1年次以降	時間割参照	
020310	憲法 1	4	秋～冬	1年次以降	時間割参照	
020209	憲法 2	4	春～夏	2年次以降	時間割参照	
020210	行政法 1	2	春～夏	2年次以降	時間割参照	
020211	行政法 2	2	秋～冬	2年次以降	時間割参照	
020311	民法 1	4	秋～冬	1年次以降	時間割参照	
020223	民法 2	4	春～夏	2年次以降	時間割参照	
020456	民法 3	4	秋～冬	2年次以降	時間割参照	
〈国際法系〉						
020220	国際法 1	2	春～夏	2年次以降	時間割参照	
020221	国際法 2	2	秋～冬	2年次以降	時間割参照	
020301	国際法 3	2	春～夏	3年次以降	時間割参照	
020047	国際経済法	2	秋～冬	3年次以降	時間割参照	
020302	国際取引法	2	秋～冬	3年次以降	時間割参照	
〈政治学系基本科目〉						
020004	政治学の基礎	2	春～夏	1年次以降	時間割参照	
020005	国際関係論入門	2	秋～冬	1年次以降	時間割参照	
020063	政治学原論	4	春～夏	2年次以降	時間割参照	
020234	西洋政治思想史	4	秋～冬	2年次以降	時間割参照	
020069	日本政治史	4	秋～冬	2年次以降	時間割参照	
〈外国語による授業科目〉						
020686	特別講義（Introduction to Japanese Law）	2	春～夏	3年次以降	時間割参照	
020685	特別講義（Introduction to Comparative Law）	2	春～夏	3年次以降	時間割参照	
020689	特別講義（Private Law in Japan）	2	秋～冬	3年次以降	時間割参照	
020689	特別講義（Introduction to Common Law）	2	秋～冬	3年次以降	時間割参照	
020643	特別講義（日本法における公法と私法の争点）	2	（不開講）	3年次以降	時間割参照	
〈法学系〉						
020212	行政法 3	2	春～夏	3年次以降	時間割参照	
020213	行政法 4	2	秋～冬	3年次以降	時間割参照	
020218	刑法 1	4	春～夏	2年次以降	時間割参照	
020219	刑法 2	4	秋～冬	2年次以降	時間割参照	
020021	刑事訴訟法	4	春～夏	3年次以降	時間割参照	
020225	民法 4	2	春～夏	3年次以降	時間割参照	
020457	商法 1（会社法）	4	秋～冬	2年次以降	時間割参照	
020458	商法 2（総則・商行為）	2	春～夏	3年次以降	時間割参照	
020032	経済法	2	春～夏	3年次以降	時間割参照	
020034	民事訴訟法	4	春～夏	3年次以降	時間割参照	
020111	労働法	4	秋～冬	3年次以降	時間割参照	
020231	国際私法	2	春～夏	3年次以降	時間割参照	
020301	国際環境法	2	不開講	3年次以降	時間割参照	
020302	国際人権法	2	不開講	3年次以降	時間割参照	
020323	中国法	4	春～夏	3年次以降	時間割参照	
020096	日本の法制度	2	春～夏	1年次以降 特選・特選II	時間割参照	
〈政治学系〉						
020064	政治過程論	4	春～夏	3年次以降	時間割参照	
020068	西洋政治史	4	秋～冬	3年次以降	時間割参照	
020073	行政学	4	春～夏	3年次以降	時間割参照	
020236	地方行政論	2	秋～冬	3年次以降	時間割参照	
020237	比較政治	4	秋～冬	3年次以降	時間割参照	
020401	外交政策論	2	春～夏	3年次以降	時間割参照	
020403	平和学	2	（不開講）	3年次以降	時間割参照	
020404	現代ヨーロッパ政治	2	（不開講）	3年次以降	時間割参照	
020405	国際行動論	2	秋～冬	3年次以降	時間割参照	
020406	国際機構論	2	秋～冬	3年次以降	時間割参照	
※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。 構成科目の一覧は、2024年度の実績に基づく開講予定で、変更される可能性があります。						合計24単位で修了

経済学部【経済学・経営学】

プログラム名	和文 経済学・経営学	
	英文	Economics and Business Administration
開設学部	経済学部	
募集対象者	2023年度（令和7年度）に外国語学部の2年次に在学する正規学生	
修了要件	24単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って24単位以上修得すること。 「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組み専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。 本プログラムは、そのうちの学部学生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した外国語学部外国語学科の学生に対して、経済学・経営学に関するプログラムを提供する。	
趣旨・概要		
到達目標 （修了時に身に付く能力）	本プログラムでの学習を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与します。 ①経済学・経営学の基礎について理解している。 ②経済学・経営学の理論を現実の経済・経営問題に応用できる。 ③現実の経済・経営問題について自分の意見を持ち、論じることができる。	
カリキュラムの構成	上記の到達目標（修了時に身に付けるべき能力）を達成するために、全学共通教育科目・基盤教養教育科目の「マクロ経済学の考え方」および「ミクロ経済学の考え方」の単位を修得することを前提として、専門教育科目から24単位以上を修得することを要件とします。 その際には、経済学部の正規学生と同様に、基礎的な科目群（「マクロ経済」「ミクロ経済」「経済史」「経営計算システム」「統計」）から3科目12単位を修得すること を必修とします（選択必修科目）。 これにより、経済学・経営学の基本的な考え方を身に付けます。加えて、その他の関連科目（選択科目）から12単位、合計24単位以上を履修することで、応用力も涵養することを目標とします。	
履修資格・条件	募集人員は若干名とします。履修申請書（志望理由）及び成績等の審査の結果を総合して選考し、履修者を決定します。応募者多数の場合は、面接を課すこともあり ます。選考面接の日時等については、別途連絡します。	
前提知識の目安	全学共通教育科目・基盤教養教育科目の「マクロ経済学の考え方」および「ミクロ経済学の考え方」の知識を前提とします。 なお、全学共通教育科目・専門基礎教育科目の「解析学入門」および「線形代数学入門」を履修していることが望ましいです。	
履修申請	本学部プログラムの履修を希望する者は、所定の期日までに、経済学部教務係へ、「学部プログラム履修申請書」および大阪大学の「成績証明書」を提出してください。 「学部プログラム履修申請書」の用紙は、KOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できます。	
問合せ先	経済学研究科 教務係 E-mail: ouecon-kyoumu@office.osaka-u.ac.jp	

●構成科目

時間割 コード	授業科目名 (選択必修科目)	単位数		開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時限	備考
		必修	選択				
030101	マクロ経済		4	春～夏	2,3,4年	火1,金3	左記の授業科目のうちから、3 科目12単位以上修得すること。
030102	ミクロ経済		4	秋～冬	1,2,3,4年	月2,水3	
030103	経済史		4	春～夏	2,3,4年	水4,金2	
030106	経営計算システム		4	秋～冬	1,2,3,4年	月4,水2	
030105	統計		4	春～夏	2,3,4年	月2,水3	
(選択科目)							
030201	財政		4	秋～冬	2,3,4年	火1,木2	
030202	金融		4	秋～冬	2,3,4年	金1,金2	
030203	国際経済		4			2024年度不開講	
030205	労働経済		4			2024年度不開講	
030215	経済学史		4	秋～冬	2,3,4年	月2,水3	
030206	応用ミクロ経済		4			2024年度不開講	
030208	経済発展		4			2024年度不開講	
030209	公共経済		4	秋～冬	2,3,4年	水1,金3	
030210	計量経済		4	秋～冬	2,3,4年	火1,木2	
030216	日本経済史1		2			2024年度不開講	
030217	日本経済史2		2	秋～冬	2,3,4年	水3	
030218	西洋経済史1		2	秋～冬	2,3,4年	金2	
030219	西洋経済史2		2			2024年度不開講	
030223	経営管理		2			2024年度不開講	
030224	組織論		2	秋～冬	2,3,4年	火3	
030271	経営戦略		2	秋～冬	2,3,4年	水4	
030272	財務会計		4	秋～冬	2,3,4年	月1,水4	
030215	ファイナンス		4	春～夏	3,4年	火4,木1	
030225	マーケティング1		2	秋～冬	2,3,4年	水2	
030226	マーケティング2		2	春～夏	3,4年	火2	
030273	経営科学基礎		2	秋～冬	2,3,4年	金3	
030274	応用経営科学		2			2024年度不開講	
030232	データマイニング		2			2024年度不開講	
030221	経営史1		2			2024年度不開講	
030222	経営史2		2	秋～冬	2,3,4年	木2	
030304	数理経済		2	秋～冬	3,4年	火4	
030344	技術経営		2	秋～冬	3,4年	月2	
030306	管理会計					2024年度不開講	
030345	企業金融		2			2024年度不開講	
030322	テキスタイルマイニング		2	秋～冬	3,4年	火1	
030321	経済地理		2	秋～冬	3,4年	木1	
030346	上級マクロ経済1		2	春～夏	3,4年	火1	
030347	上級マクロ経済2		2	秋～冬	3,4年	火4	
030348	上級ミクロ経済1		2	春～夏	3,4年	木1	
030349	上級ミクロ経済2		2	秋～冬	3,4年	火2	
030350	上級計量経済1		2	春～夏	3,4年	火2	
030351	上級計量経済2		2	秋～冬	3,4年	月3	
030309	上級統計		2	春～夏	3,4年	火4	
	各論		2又は4				
	特殊講義		2又は4				
						合計24単位で修了	

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。
構成科目の一覧は、2024年度の実績に基づく開講予定で、変更される可能性があります。

理学部【理学】

プログラム名	和文 理学 英文 SCIENCE
開設学部	理学部
募集対象者	2023年度（令和7年度）に外国語学部の2、3年次に在学する正規学生
修了要件	12単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上を修得すること。 「マルチリンガルエキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部高植断型教育プログラムである。
趣旨・概要	本プログラムは、そのうちの学部学生プログラムとして実施するもので、プログラムに登録した外国語学部外国語学科の学生に対して、理学に関するプログラムを提供する。
到達目標 （修了時に身に付く能力）	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた学生に修了認定証を授与する。 ①理学の基礎について理解している。 ②理学の基礎について自ら調査し、資料を作成し、それをもとに議論、発表等するコミュニケーション能力が獲得できる。
カリキュラムの構成	本プログラムでは、12単位以上の修得によって理学の基礎部分を学ぶことができる。 豊富な選択肢の中から自由に組み合わせて選択できる。 ・物理学科 ・化学科 ・生物科学科 ・理学部 合計12単位以上を履修することで、基礎力を涵養することを目標とします。 の4つの学科目事に分類している。
履修資格・条件	現代世界の喫緊の課題に取り組みグローバルに活躍する上で不可欠な、理学の基礎教養となる部分を獲得し、理学の領域にかかわる外国語能力を高めるようという意欲のある学生を歓迎する。 募集人員は、若干名。 履修希望者多数の場合は、入学以降の成績（GPA）及び履修申請書（志望理由）を総合して選考し、履修者を決定する。
前提知識の目安	理学に関する大学初等レベルの知識を持っていることが望ましい。
履修申請	「学部プログラム履修申請書」の用紙は、KOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。
問合せ先	理学研究科教務係：ri-gakumu@office.osaka-u.ac.jp MLE事務局：multilingual@lang.osaka-u.ac.jp

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数 必修	開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時限	備考
《物理学科》						
040524	宇宙地球フィールドワーク1	1	春学期集中	2年次以上	春学期集中	
040525	宇宙地球フィールドワーク2	1	秋学期集中	2年次以上	秋学期集中	
040421	地球惑星物質学	2	春夏学期	2年次以上	金2	
040250	惑星科学概論	2	春夏学期	3年次以上	水2	
040419	宇宙物理学	2	秋冬学期	3年次以上	月3	
040444	地球科学概論	2	秋冬学期	2年次以上	木4	
040548	熱物理学	2	秋冬学期	2年次以上	水1	
040564	物理実験学	2	秋冬学期	2年次以上	水3	
040616	現代物理学入門	2	秋冬学期	1年次以上	水2	
040258	生物物理学概論	2	春夏学期	2年次以上	月5	
040574	先端物理学・宇宙地球科学論議	2	秋冬学期	3年次以上	金4	
《化学科》						
040529	化学発展セミナー	1	春夏学期	2年次以上	水1	
040530	化学への進路と私たち	1	秋冬学期	3年次以上	月4、火6、木6、金6	
《生物科学科》						
040293	生物学特別講義A	1	春学期集中	3年次以上	春学期集中	偶数年度開講集中講義 他部局学生の受入可能人数は5名
040294	生物学特別講義B	1	春学期集中	3年次以上	春学期集中	
	生物学特別講義C	1				
	生物学特別講義D	1				
040297	生物学特別講義E	1	春学期集中	3年次以上	春学期集中	奇数年度開講集中講義 他部局学生の受入可能人数は5名
040298	生物学特別講義F	1	春学期集中	3年次以上	春学期集中	
	生物学特別講義G	1				
	生物学特別講義H	1				
040046	系統進化化学	2	秋冬学期	1年次以上	月4	他部局学生の受入可能人数は5名
《理学部》						
040591	科学技術論A1	1	春学期	3年次以上	木5	隔年開講（基礎工と共同開講）
040592	科学技術論A2	1	夏学期	3年次以上	木5	隔年開講（基礎工と共同開講）
040593	科学技術論B1	1	春学期	3年次以上	木5	隔年開講（基礎工と共同開講）
040594	科学技術論B2	1	夏学期	3年次以上	木5	隔年開講（基礎工と共同開講）
040454	科学英語基礎	1	春夏学期	3年次以上	月5	
049589	科学英語基礎	1	秋冬学期	2年次以上	月5	
040599	将来展望特論A※	0.5	秋学期集中	2年次以上	木3	隔年開講
040624	将来展望特論B※	0.5	秋学期集中	2年次以上	木3	隔年開講
						合計12単位で修了

※将来展望特論A及び将来展望特論Bは「重要な科目」となります。授業概要等には数字を省略した科目名で記載されていますが、修得成績は単位を修得した順に「将来展望特論A1、A2」「将来展望特論B1、B2」と自動的に数字が付番されます。
※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。
構成科目の一覧は、2024年度の実績に基づき開講予定で、変更される可能性があります。

工学部【工学】

プログラム名	和文 工学 英文 ENGINEERING
開設学部	工学部
募集対象者	2025年度（令和7年度）に外国語学部の2、3年次に在学する正規学生
修了要件	12単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上を修得すること。
趣旨・概要	「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。 本プログラムは、そのうちの学部学生プログラムとして実施するもので、プログラムに登録した外国語学部外国語学科の学生に対して、工学に関するプログラムを提供する。
到達目標 （修了時に身に付く能力）	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた学生に修了認定証を授与する。 ①工学の基礎について理解している。 ②工学の基礎をもとに、自ら調査し資料を作成できる能力、議論、発表等するコミュニケーション能力を獲得している。
カリキュラムの構成	本プログラムでは、上記の到達目標を達成するために、工学部（応用自然科学学科、環境・エネルギー工学科、地球総合工学科、学科共通）が開講する科目より12単位を提供し、工学について幅広い知識の習得を促す。
履修資格・条件	現代世界の喫緊の課題に取り組みグローバルに活躍する上で不可欠な、工学の専門的な知識の基礎となる部分を獲得し、工学の領域にかかわる外国語能力を高めようという意欲のある学生を歓迎する。
前提知識の目安	募集人員は、若干名。履修希望者多数の場合は、選考のうえ、履修者が決定される。工学に関する大学初等レベルの知識を持っていることが望ましい。
履修申請	8～11頁を参照のこと。 [学部プログラム履修申請書]の用紙は、KOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。
問合せ先	工学部研究科教務課学生支援係 E-mail: kou-kyomu-gs@office.osaka-u.ac.jp

●構成科目

時間割 コード	授業科目名	単位数		開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時限	備考
		必修	選択				
《応用自然科学科 開講科目》							
080005	先端科学序論Ⅱ	2		秋～冬	1年次以上	月 4	豊中開講
080369	バイオテクノロジー概論	2		春～夏	2年次以上	水 1	吹田開講
《環境・エネルギー工学科 開講科目》							
085012	環境・エネルギー工学概論Ⅰ	2		春～夏	1年次以上	金 3	(注1) (注2)
085013	環境・エネルギー工学概論Ⅱ	2		秋～冬	1年次以上	月 2	(注1) (注2) (注3)
《地球総合工学科 開講科目》							
083220	地球総合工学概論Ⅰ	2		春～夏	1年次以上	金 3	豊中開講
《工学部学科共通 開講科目》							
084010	総合科目Ⅰ	1		春	4年次以上	火 5	吹田開講
084020	総合科目Ⅱ	1		夏	4年次以上	火 5	吹田開講
							合計12単位で修了

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。

※構成科目は変更する可能性があります。

(注1) MLE での受入は若干名とする。

(注2) 全学教育推進機構の講義室で行い、受講人数に上限があります。環境・エネルギー工学科生の必修科目でもあるため、年度によ

っては MLE での受講を制限する場合があります。

(注3) 環境・エネルギー工学概論Ⅰを必ず受講していること。なお、環境・エネルギー工学概論Ⅱを受講する環境・エネルギー工学科の

学生に対しては、クラス研修（9月半）の出席とレポート提出により環境・エネルギー工学概論Ⅱの出席点をカウントしている。

外国語学部生は、クラス研修に参加できないことが予想されるため、クラス研修に関するレポートは課さない。

基礎工学部【基礎工学】

プログラム名	和文	基礎工学
	英文	Engineering Science
開設学部	基礎工学部	
募集対象者	2025年度（令和7年度）に外国語学部2・3年次に在学する正規学生	
修了要件	12単位以上 本学部ジョイントプログラム構成科目の単位から12単位を修得すること。	
趣旨・概要	「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。	
	本プログラムは、そのうちの学部学生プログラムとして実施するもので、プログラムに登録した外国語学部外国語学科の学生に対して、基礎工学に関するプログラムを提供する。	
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた学生に修了認定証を授与する。 ①基礎工学の基礎について理解している。 ②基礎工学の基礎をもとに、自ら調査し資料を作成できる能力、議論、発表等するコミュニケーション能力を獲得している。	
カリキュラムの構成	本プログラムでは、上記の到達目標を達成するために、基礎工学部が開講する科目を提供し、基礎工学について幅広い知識の習得を促す。	
履修資格・条件	現代世界の喫緊の課題に取り組むグローバルに活躍する上で不可欠な、基礎工学の専門的な知識の基礎となる部分を獲得し、基礎工学の領域にかかわる外国語能力を高めようという意欲のある学生を歓迎する。 募集人員は、若干名。履修希望者多数の場合は、選考のうえ、履修者が決定される。	
前提知識の目安	基礎工学に関する大学初等レベルの知識を持っていることが望ましい。また、学部初年次の「解析学入門」「線形代数学入門」水準の数学能力を身につけておくことが望ましい。	
履修申請	8～11頁を参照のこと。 「学部プログラム履修申請書」の用紙は、MLEのホームページから入手できる。	
問合せ先	基礎工学研究科教務係 E-mail: ki-kyomu@office.osaka-u.ac.jp	

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数 必修	開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時限	備考
090448	物理数学	2	春～夏学期	2年次以上	水 2	単位取得を必須としないが、本科目水準の数学的能力が他の科目履修にも最低限求められる。
090645	基礎工学のための量子物理学 1（※1）	1	秋学期	2年次以上	金 5	
090646	基礎工学のための量子物理学 2（※1）	1	冬学期	2年次以上	金 5	
090647	基礎工学のための化学 1（※2）	1	秋学期	2年次以上	火 5	
090648	基礎工学のための化学 2（※2）	1	冬学期	2年次以上	火 5	
090649	基礎工学のための力学	1	冬学期	2年次以上	火 5	基礎工学部学生の必修科目でもあるため、原則として定員に空きがある科目のみ履修することができず。
090650	基礎工学のための知能システム学	1	秋学期	2年次以上	水 5	*[(※1)(※2)(※3)]の科目について
090651	基礎工学のための生命科学	1	冬学期	2年次以上	水 5	は、いずれか1科目のみ修得することが
090652	基礎工学のためのサイバネティクス	1	冬学期	2年次以上	火 5	できます。
090653	基礎工学のための情報学 1（※3）	1	秋学期	2年次以上	水 5	
090654	基礎工学のための情報学 2（※3）	1	冬学期	2年次以上	水 5	
090655	基礎工学のための数理	1	秋学期	2年次以上	水 5	
090531	技術経営学	2	秋～冬学期	4年次以上	集中	*集中講義
090563	科学技術論 A 1	1	春学期	4年次以上	木 5	
090564	科学技術論 A 2	1	夏学期	4年次以上	木 5	
090565	科学技術論 B 1	1	春学期	4年次以上	木 5	「科学技術論 A 1・A 2」と「科学技術論 B 1・B 2」は、年度ごとに交互に開講する。
090566	科学技術論 B 2	1	夏学期	4年次以上	木 5	
《電子物理科学科》						
090663	回路理論 I	1	春学期	2年次以上	金 3	
090109	アナログ電子回路 I	1	秋学期	2年次以上	金 2	
090570	情報理論 I	1	春学期	2年次以上	水 3	
090572	電磁気学 I	1	春学期	2年次以上	月 1	
090578	量子物理学 I	1	春学期	2年次以上	水 5	
090581	統計力学基礎 I	1	秋学期	2年次以上	火 4	
090583	固体物理 I	1	秋学期	2年次以上	金 3	
090372	量子力学 A	2	秋～冬学期	2年次以上	木 1	
090313	統計物理学 I	2	秋～冬学期	2年次以上	水 1	
090373	量子力学 B	2	春～夏学期	3年次以上	火 1	
090501	量子情報科学	2	春～夏学期	3年次以上	月 3	
《化学応用科学科》						
090079	化学工学概論	2	秋～冬学期	2年次以上	月 3	
090542	反応工学 A	2	秋～冬学期	2年次以上	火 1	
090334	物理化学 C	2	秋～冬学期	2年次以上	火 4	
090336	物理化学 D	2	秋～冬学期	2年次以上	火 3	
090350	分離工学 A	2	秋～冬学期	2年次以上	木 2	
090360	有機化学 B	2	秋～冬学期	2年次以上	月 3	
090544	移動現象 A	2	秋～冬学期	2年次以上	木 1	

時間割 コード	授業科目名	単位数 必修 選択	開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時間	備考
(システム科学科)						
090232	数値解析		2 秋～冬学期	2年次以上	水 3	
090270	設計工学		2 秋～冬学期	2年次以上	火 4	
090318	熱工学 A		2 秋～冬学期	2年次以上	水 4	
090660	機械力学 B		2 秋～冬学期	2年次以上	金 2	
090602	材料力学 A		2 春～夏学期	2年次以上	水 3	
090603	機械力学 A		2 春～夏学期	2年次以上	金 2	
090604	流体力学 A		2 秋～冬学期	2年次以上	月 4	
090611	材料力学 B		2 秋～冬学期	2年次以上	木 1	
090686	制御理論 A		2 秋～冬学期	2年次以上	火 3	
090487	医用画像論		2 秋～冬学期	2年次以上	水 4	
090488	脳科学入門		2 秋～冬学期	2年次以上	月 3	
090486	システム基礎論		2 秋～冬学期	2年次以上	火 3	
090395	分子細胞生物学 B		2 秋～冬学期	2年次以上	月 4	
090392	神経生物学		2 春～夏学期	3年次以上	金 2	
090398	システム生物学		2 春～夏学期	3年次以上	木 2	
(情報科学科)						
090047	データ構造とアルゴリズム		2 秋～冬学期	2年次以上	月 4	
090134	計算機アーキテクチャ		2 秋～冬学期	2年次以上	月 2	
090375	論理設計		2 秋～冬学期	2年次以上	水 4	
090142	計算機言語		2 秋～冬学期	2年次以上	水 3	
090187	情報解析 A		2 秋～冬学期	2年次以上	火 3	
099008	数学 C		2 秋～冬学期	2年次以上	火 2	
099007	数学 C		2 秋～冬学期	2年次以上	火 2	
090226	数学 C		2 秋～冬学期	2年次以上	火 2	
099009	数学 D		2 秋～冬学期	2年次以上	木 3	
090229	数学 D		2 秋～冬学期	2年次以上	月 5	
090103	基礎数理 B		2 秋～冬学期	2年次以上	金 3	
090688	応用数理 A		2 春～夏学期	3年次以上	月 1	
090070	応用数理 C		2 春～夏学期	3年次以上	水 2	
090104	基礎数理 C		2 春～夏学期	3年次以上	火 3	
090440	数値計算		2 夏学期	3年次以上	金 5・6	
090473	計算数理 A		2 春～夏学期	3年次以上	月 5	
合計12単位で修了						

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。
構成科目の一覧は、2024年度の実績に基づく開講予定で、変更される可能性があります。

数理・データ科学教育研究センター【数理・データサイエンス・AI】

プログラム名	和文	数理・データサイエンス・AI
	英文	Mathematics・Data Science・AI
開設学部	数理・データ科学教育研究センター	
募集対象者	2023年度（令和7年度）に外国語学部の2、3年次に在学する正規学生	
修了要件	12単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。	
趣 旨 ・ 概 要	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局構断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの学部学生向けの学部プログラムの中のショートプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した外国語学部の学生に対して、情報学に関する基礎科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、情報学の幅広い知識を持った人材を育成することを旨とする。	
	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①現代のAI技術をその可能性と限界を踏まえた上で正しく理解し、統計情報を正しく解釈できるデータリテラシーを身に付ける。 ②実社会の問題解決に数理的思考・手法が有効であることを学び、体系的な発想を加えてデータ・AIを日常生活や仕事などで活用できる能力を身に付ける。	
カリキュラムの構成	本プログラムは、全学教育推進機構が開講する基礎教養教育科目および外国語学部開講科目によって構成される。	
履修資格・条件	各自の専門分野のみならず、情報学を修得して将来社会で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎する。 募集人員は各学部若干名で、履修申請書（志望動機）および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修生を決定する。 応募者には必要に応じて面接を課すことがある。	
前提知識の目安	特になし	
履 修 申 請	案内冊子を参照のこと。 履修申請書はMLEのホームページから入手できる。	
問 合 せ	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）担当者 Email: multilingual@office.osaka-u.ac.jp	

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数 必修	開講学期 (4学期制)	配当学年	曜日・時限	備考	開講部局
必修科目							
135335	文理融合に向けた数理科学Ⅰ	2	春夏学期	全学年	月1		全学教育推進機構
135337	文理融合に向けた数理科学Ⅰ	2	春夏学期	全学年	火1		全学教育推進機構
135339	文理融合に向けた数理科学Ⅰ	2	春夏学期	全学年	木1		全学教育推進機構
135341	文理融合に向けた数理科学Ⅰ	2	春夏学期	全学年	金2		全学教育推進機構
135302	文理融合に向けた数理科学Ⅰ	2	春夏学期	全学年	月5		全学教育推進機構
135304	文理融合に向けた数理科学Ⅰ	2	春夏学期	全学年	水5		全学教育推進機構
135305	文理融合に向けた数理科学Ⅰ	2	春夏学期	全学年	火5	左記の「必修科目」2単位を修得すること。	全学教育推進機構
135306	文理融合に向けた数理科学Ⅰ	2	春夏学期	全学年	木5		全学教育推進機構
135309	文理融合に向けた数理科学Ⅰ	2	春夏学期	全学年	金4		全学教育推進機構
135312	文理融合に向けた数理科学Ⅰ	2	春夏学期	全学年	金5		全学教育推進機構
135316	文理融合に向けた数理科学Ⅰ	2	春夏学期	全学年	火4		全学教育推進機構
135318	文理融合に向けた数理科学Ⅰ	2	春夏学期	全学年	木4		全学教育推進機構
選択必修科目							
137263	文理融合に向けた数理科学Ⅱ	2	秋冬学期	2,3,4	オプショナル		全学教育推進機構
137259	データ科学による課題解決入門	2	秋冬学期	2,3,4	火5	左記の「選択必修科目」のうち6単位を修得すること。	全学教育推進機構
135310	データサイエンスの基礎Ⅰ	2	春夏学期	2,3,4	水3	6単位を超えて修得した場合は、超過した単位を「選択科目」の順位で「選択科目」の順位にすることができ	全学教育推進機構
137288	データサイエンスの基礎Ⅱ	2	秋冬学期	2,3,4	水3		全学教育推進機構
135314	数理・データサイエンス・AI活用PBL	2	通年	2,3,4	集中講義		全学教育推進機構
135293	データ科学のための数理	2	秋冬学期	2,3,4	オプショナル		全学教育推進機構
137248	データ・AIエンジニアリング基礎	2	秋冬学期	2,3,4	オプショナル		全学教育推進機構
選択科目							
135275	数理モデリングの基礎		春夏学期	2,3,4	金1		全学教育推進機構
135297	データ解析の実際		春夏学期	2,3,4	水1	左記の「選択科目」のうち4単位を修得すること。	全学教育推進機構
137215	【総合】情報探検入門	2	秋冬学期	1,2,3,4,5,6	オプショナル		全学教育推進機構
102165	(学共・方法論) 言語統計学a (集中開講)	2	春夏学期	3,4	金3		外国語学部
102166	(学共・方法論) 言語統計学b (集中開講)	2	秋冬学期	3,4	金3		外国語学部
合計12単位で修了							

※原則として学生は上位学年に配当されている科目を履修できませんので、科目構成に留意してください。
構成科目の一覧は、2024年度の実績に基づく開講予定で、変更される可能性があります。

2025年度 マルチリンガル・エキスパート養成 (MLE) 大学院プログラム紹介

人文学 (グローバル・アジア・スタディーズ)

プログラム名	和文	人文学 (グローバル・アジア・スタディーズ) (マルチリンガル・エキスパート養成プログラム)
開設研究科	英文	Humanities (Global Asian Studies) (Multilingual Expert Program)
履修対象者	人文学研究科	
修了要件	修士	
修了要件	修了要件単位数	修了要件 (単位数以外の修了要件がある場合)
	14単位以上	本大学院プログラム科目を14単位以上履修すること。
趣旨・概要	「マルチリンガルエキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組み専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局構造的なプログラムである。本プログラムは、そのうちの大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム (Double-Wing Academic Architecture) に則り、異なる学問・研究分野からなる集合領域を学修できるよう、様々な分野にも視野を向け、アジアの古代～現代のあらゆる時代に関わる思想・歴史、文学、芸術などの人文学の基礎知識、理論、方法論を学ぶための授業を提供する。本プログラムの履修を通じて、幅広い人文学的教養と高度な専門性を備えたグローバル人材を育成する。	
	本プログラムでの学習を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①アジアの文化・歴史・思想全般に関する基礎知識を習得している。 ②アジアの文化・歴史・思想を研究するための方法を習得している。 ③アジアの文化・歴史・思想の個別主題についての専門知識を習得している。 ④アジア諸言語の高度な運用能力を習得している。 DWAAの到達目標 ◎異なる分野にも視野を向け知的地平を広げることができる。 ◎新たな知識や技術の組み合わせを試みる創造的な活動ができる。	
到達目標 (修了時に身につく能力)	●「グローバルフィロソフィー」「世界の中のアジア史」「グローバルアジア研究」「広域アジア史」「アジアの思想史」「アジアの芸術史」「アジアの文化と社会」「中国語圏文学」「中国の文化と社会」の科目群を設け、科目群ごとに1～5の科目を配置する。 ●豊富な選択肢のなかから自由に組み合わせて選択できるため、履修者の関心に応じ、一般性 (地域構造的な知と分野構造的な知) (上記①に対応)、専門性 (上記③に対応) のいずれにも焦点化が可能である。 ●高度な外国語運用能力の養成のため、文献読解も開講する (上記④に対応)。 ●上記②については、各科目群の基礎的な科目をもって対応する。	
履修資格・条件	【履修対象】 令和7年4月 (又は、10月入学の場合は、令和6年10月) に、人文学研究科博士前期課程の言語文化学専攻、外国学専攻、日本学専攻・応用日本学コースのいずれかに入学する (した) 者。	
	【定員】 若干名 【選考】 マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム、「人文学 (グローバル・アジア・スタディーズ)」の修了生以外は選考の上、履修生を決定する。	
前提知識の目安	アジアの人文学に関する学部レベルの専門知識を有すること。 アジア諸地域の言語、文化・歴史、芸術・思想に関心があり、独自に問題を設定して、それについて粘り強く探求する意欲を持つ学生を歓迎する。	
特記事項	学部プログラム時に履修した同じ名称の科目の履修を原則として認める。	
ホームページ 申請先	ホームページ : https://mle.osaka-u.ac.jp/ 申請先 : multilingual@office.osaka-u.ac.jp	

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数 必修	選修	開講年度 (毎学/隔年)	開講学期	開講部局	課程	備考
45Y04A	世界の中のアジア史 (M)	2	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	①
45Y001	世界の中のアジア史 (M)			毎年	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	①
45Y003	グローバルフィロソフィー (M)	2	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	②
202Z003	グローバル・アジア研究 I (M)	2	2	不定期	不開講	人文学研究科	博士前期	②
202Z004	グローバル・アジア研究 II (M)	2	2	不定期	不開講	人文学研究科	博士前期	②
202Z005	グローバル・アジア研究 III (M)	2	2	不定期	不開講	人文学研究科	博士前期	②
45Y011	広域アジア史 I (M)	2	2	隔年	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	③
45Y013	広域アジア史 II (M)	2	2	隔年	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	③
45Y015	広域アジア史 III (M)	2	2	隔年	不開講	人文学研究科	博士前期	③
202Z009	広域アジア史 IV (M)	2	2	不定期	不開講	人文学研究科	博士前期	③
45Y019	広域アジア史 V (M)	2	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	③
45Y021	アジアの思想史 I (M)	2	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	③
45Y023	アジアの思想史 II (M)	2	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	③
45Y025	アジアの思想史 III (M)	2	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	③
45Y04Y	アジアの思想史 IV (M)	2	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	③
458401	アジアの思想史 V (M)		2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	③
45Y029	アジアの芸術史 (M)		2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	③
45Y031	アジアの文化と社会 I (M)	2	2	隔年	不開講	人文学研究科	博士前期	③
未定	アジアの文化と社会 II (M)	2	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	③
45Y035	中国語圏文学 I (M)	2	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	③④
45Y037	中国語圏文学 II (M)	2	2	隔年	不開講	人文学研究科	博士前期	③④
45Y039	中国語圏文学 III (M)	2	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	③④
45Y041	中国語圏文学 IV (M)	2	2	毎年	不開講	人文学研究科	博士前期	③④
202Z022	中国語圏文学 V (M)	2	2	毎年	不開講	人文学研究科	博士前期	③④
202Z023	中国の文化と社会 I (M)		2	不定期	不開講	人文学研究科	博士前期	③
45Y047	中国の文化と社会 II (M)		2	毎年	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	③
45Y049	中国の文化と社会 III (M)		2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	③

※学生は、上位課程の科目を履修できません (例えば、博士前期課程の学生は博士後期課程の科目を履修することはできません)。
履修対象者が増減の課程にわたる場合は、科目構成等にご留意ください。

※構成科目の一覧は2024年度の実績に基づく開講予定で変更される可能性があります。

人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）

プログラム名	和文 人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）（マルチリンガル・エキスパート養成プログラム）
開設研究科	英文 Humanities（Global Eurostudies）（Multilingual Expert Program）
履修対象者	人文学研究科
履修要件	修士 修了要件 修了要件 14単位以上 本大学院プログラム科目を14単位以上履修すること。
趣旨・概要	「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラム中に登録した学生に対して、学際統合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム（Double-Wing Academic Architecture）に則り、異なる学問・研究分野からなる複合領域を学修させるよう、様々な分野にも視野を向け、ヨーロッパの古代～現代のあらゆる時代に関わる思想、歴史、文学、芸術などの人文学の基礎知識、理論、方法論を学ぶための授業を提供する。本プログラムの履修を通じて、幅広い人文学的教養と高度な専門性を備えたグローバル人材を育成する。
到達目標 （修了時に身につく能力）	本プログラムでの学習を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①ヨーロッパの文化・歴史・思想全般に関する基礎知識を習得している。 ②ヨーロッパの文化・歴史・思想を研究するための方法を習得している。 ③ヨーロッパの文化・歴史・思想の個別主題についての専門知識を習得している。 ④ヨーロッパ語言語の高度な運用能力を習得している。 DWAAの到達目標 ◎異なる分野にも視野を向け知的地平を広げることができる。 ◎新たな知識や技術の組み合わせを試みる創造的な活動ができる。
カリキュラムの構成	・「ヨーロッパの哲学」「ヨーロッパの歴史」「ヨーロッパの文学」「ヨーロッパの芸術」「ヨーロッパの現代」の科目群を設け、科目群ごとに3～13の科目を配置する。 ・豊富な選択肢のなかから自由に組み合わせ選取できるため、履修者の関心に応じて、一般性（地域横断的な知と分野横断的な知）（上記①に対応）、専門性（上記③に対応）のいずれにも焦点化が可能である。 ・高度な外国語運用能力の養成のため、文献講読、ネイティブ教員による英・独・仏語授業も開講する（上記④に対応）。 ・上記②については、各科目群の基礎的な科目をもって対応する。
履修資格・条件	【履修対象】 令和7年4月（又は、10月入学の場合は、令和6年10月）に、人文学研究科博士前期課程の言語文化学専攻、外国学専攻、日本学専攻応用日本学コースのいずれかに入学する（した）者。 【定員】 若干名 【選考】 マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム、「人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）」の修了生以外は選考の上、履修生を決定する。
前提知識の目安	ヨーロッパの人文学に関する学部レベルの専門知識を有すること。 ヨーロッパ諸地域の言語、文化、歴史、芸術、思想に関心があり、独自に問題を設定して、それについて粘り強く探求する意欲を持つ学生を歓迎する。
特記事項	学部プログラム時に履修した同じ名称の科目の履修を原則として認める。
ホームページ と 申請先	ホームページ：https://mle.osaka-u.ac.jp/ 申請先：multilingual@office.osaka-u.ac.jp

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数 選 必 修	開講年度 (毎 年 隔 年)	開講学期	開講部局	課程	備考
45Y101	ヨーロッパの哲学Ⅰ (M)	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
20Z201	ヨーロッパの哲学Ⅱ (M)	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	
20Z202	ヨーロッパの哲学Ⅲ (M)	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
20Z203	ヨーロッパの哲学Ⅳ (M)	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
20Z204	ヨーロッパの哲学Ⅴ (M)	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	
20Z205	ヨーロッパの哲学Ⅵ (M)	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	
45Y113	ヨーロッパの歴史Ⅰ (M)	2	不定期	不定期	人文学研究科	博士前期	
45Y1AM	ヨーロッパの歴史Ⅰ (M)	2	不定期	不定期	人文学研究科	博士前期	
45Y115	ヨーロッパの歴史Ⅱ (M)	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	
45Y1AQ	ヨーロッパの歴史Ⅱ (M)	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
45Y117	ヨーロッパの歴史Ⅲ (M)	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	
45Y119	ヨーロッパの哲学Ⅰ (M)	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
45Y1AS	ヨーロッパの哲学Ⅰ (M)	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	
45Y121	ヨーロッパの哲学Ⅱ (M)	2	毎年	夏	人文学研究科	博士前期	
20Z214	ヨーロッパの哲学Ⅲ (M)	2	不定期	不定期	人文学研究科	博士前期	
45Y125	ヨーロッパの哲学Ⅳ (M)	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
45Y127	ヨーロッパの哲学Ⅴ (M)	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
45Y129	ヨーロッパの哲学Ⅵ (M)	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	
20Z218	ヨーロッパの哲学Ⅶ (M)	2	不定期	不定期	人文学研究科	博士前期	
45Y131	ヨーロッパの哲学Ⅶ (M)	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	①②③④
20Z219	ヨーロッパの哲学Ⅷ (M)	2	不定期	不定期	人文学研究科	博士前期	
45Y133	ヨーロッパの哲学Ⅷ (M)	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	
45Y135	ヨーロッパの哲学Ⅸ (M)	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
45Y137	ヨーロッパの哲学Ⅹ (M)	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
45Y1BA	ヨーロッパの哲学Ⅹ (M)	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	
未定	ヨーロッパの哲学Ⅺ (M)	2	不定期	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
未定	ヨーロッパの哲学Ⅺ (M)	2	不定期	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	
未定	ヨーロッパの哲学Ⅻ (M)	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
45Y143	ヨーロッパの哲学Ⅻ (M)	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
45Y1BG	ヨーロッパの哲学Ⅻ (M)	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	
45Y145	ヨーロッパの芸術Ⅰ (M)	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
45Y147	ヨーロッパの芸術Ⅱ (M)	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
未定	ヨーロッパの芸術Ⅲ (M)	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	
45Y151	ヨーロッパの芸術Ⅳ (M)	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
45Y1BO	ヨーロッパの芸術Ⅳ (M)	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	
45Y153	ヨーロッパの現代Ⅰ (M)	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科	博士前期	
45Y155	ヨーロッパの現代Ⅱ (M)	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	
45Y157	ヨーロッパの現代Ⅲ (M)	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科	博士前期	
20Z235	ヨーロッパの現代Ⅳ (M)	2	不定期	不定期	人文学研究科	博士前期	

※学生は、上位課程の科目を履修できません（例えば、博士前期課程の学生は博士後期課程の科目を履修することはできません）。
履修対象者が複数の課程にわたる場合は、科目構成等にご留意ください。

※構成科目の一覧は2024年度の実績に基づき開講予定で変更される可能性があります。

言語文化学

プログラム名	和文	言語文化学 (マルチリンガル・エキスパート養成プログラム)
開設研究科	英文	Language and Culture (Multilingual Expert Program)
履修対象者	人文学研究科 (外国学専攻)	
修了要件	修士	
修了要件	修了要件単位数 14単位以上	修了要件 (単位数以外の修了要件がある場合) 本大学院プログラム科目を14単位以上履修すること。
趣旨・概要		「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする学部横断型教育プログラムである。そのなかで本プログラムは、大学院生向けに実施するものであり、学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム (Double-Wing Academic Architecture) に則り、異なる学問・研究分野からなる複合領域を学修する。学生はプログラム登録に際しあらかじめ専攻語を一つ選択し、その専攻語および専攻語圏の文化学に関するプログラムを構成する専攻科目を履修する。これにより、読み、書き、聞き、話す国際的な場面で通用する総合的な高い言語運用能力を涵養するとともに、当該言語文化圏の言語、政治、経済、社会、歴史、思想に精通した人材を育成することを目指す。
到達目標 (修了時に身につく能力)		本プログラムでの学修を通じて、以下の能力を備えた方に修了認定を授与する。 ①専攻語の四技能 (リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング) に関し、国際的な場面で通用する高い運用能力を有する。 ②専攻語圏の言語、政治、経済、社会、歴史、思想を深く理解するとともに、専攻語で関連テーマについて高度なレベルのプレゼンテーションやディスカッションを行うことができる。 ③異なる分野にも視野を向け知的地平を広げることができる。 ④新たな知識や技術の組み合わせを試みる創造的な活動ができる。
カリキュラムの構成		上記の到達目標 (修了時に身につけるべき能力) を達成するために、本プログラムでは人文学研究科 (外国学専攻) が開講する以下の5つの科目群を配置し、各専攻語学および専攻語圏の文化学について系統的な履修を促す。 ・専攻科目 (広域言語論・地域言語論) ・地域言語社会特論科目 ・複合領域特論科目 ・専攻言語科目 ・関連研究言語科目
履修資格・条件		【履修対象】 令和7年4月 (又は、10月入学の場合は、令和6年10月) に、大阪大学大学院 (人文学研究科外国学専攻を除く) の修士もしくは博士前期課程に入学する (した) 者。 【定員】 若干名 【選考】 マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム「外国語学部開設プログラム」の修了生以外は、あらかじめ申請する専攻言語について、大学院で研究するにふさわしいレベルがあることを証明する書類を提出し、選考のうえ履修生を決定する。(例) 英語専攻: TOEIC であれば820点以上など。専攻する言語以外の運用能力についての証明書は不可。
前提知識の目安		本プログラムを構成する専攻言語科目の履修にあたっては、当該専攻言語の学部レベルでの運用能力並びに、大学院で研究するにふさわしい運用能力を有することを前提とする。例えば「英語特別演習 A・B」および「英語特別演習 C・D」については、マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムの「英語・英米文化学プログラム」修了のために必要とされる外部検定試験の基準スコア程度の英語運用能力が履修の際に求められる。
特記事項		・本プログラムの構成科目のうち専攻言語科目については、優先的に履修すること を推奨する。 ・マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム「外国語学部開設プログラム」の修了生以外は、履修を希望する専攻言語科目に関する運用能力が大学院で研究するにふさわしい一定の水準に達していることを証明する書類 (例: IELTS (Academic) 6.5以上など) を所定の期限までに提出すること
ホームページ		ホームページ: https://mle.osaka-u.ac.jp/ 申請先: multilingual@office.osaka-u.ac.jp

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数 必修 選択	開講年度 (毎年/隔年)	開講学期	開講部局	課 程	備 考
450701	アイヌ語	2	毎年	集中	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450702	現代チベット語 A	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450703	現代チベット語 B	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450704	古典チベット語 A	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450705	古典チベット語 B	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450706	カン語	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450707	シャン語	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450708	オセアニア諸語 A	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450709	オセアニア諸語 B	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450710	サンスクリット語 A	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450711	サンスクリット語 B	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450712	パーリ語 A	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450713	パーリ語 B	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450714	ベンガル語	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450715	ウイグル語	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450716	カザフ語 A	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450717	カザフ語 B	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450718	ヘブライ語 A	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450719	ヘブライ語 B	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450720	アラム語	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450721	アフロアジア諸語	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450722	西アフリカ諸語 A	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450723	西アフリカ諸語 B	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450724	東・南アフリカ諸語 A	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450725	東・南アフリカ諸語 B	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450726	古代教会スラヴ語 A	2	隔年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450727	古代教会スラヴ語 B	2	隔年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450728	ウクライナ語 A	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450729	ウクライナ語 B	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450730	ポーランド語 A	2	隔年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450731	ポーランド語 B	2	隔年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450732	リトアニア語 A	2	毎年	集中	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450733	リトアニア語 B	2	毎年	集中	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450734	エスペラント語	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450735	ラテン語 A	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450736	ラテン語 B	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450737	セルビア語 A	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450738	セルビア語 B	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450739	チェコ語 A	2	隔年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450740	チェコ語 B	2	隔年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450741	マラルタ語 A	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450742	マラルタ語 B	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450743	ブルガリア語 A	2	隔年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450744	ブルガリア語 B	2	隔年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450745	研究基礎 (外国学専攻)	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450746	広域言語実践論 I A	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450747	広域言語実践論 I B	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450748	広域言語実践論 II A	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450749	広域言語実践論 II B	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450750	広域言語実践論 III A	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
450751	広域言語実践論 III B	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	

時間割 コード	授業科目名	単位数 必修 選択 選択	開講年度 (毎主 隔年)	開講学期	開講部局	課 程	備 考
454293	ヨーロッパ言語社会動態論ⅣA	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454294	ヨーロッパ言語社会動態論ⅣB		毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454295	ヨーロッパ言語社会動態論ⅤA	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454296	ヨーロッパ言語社会動態論ⅤB	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454297	ヨーロッパ言語社会動態論ⅥA	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454298	ヨーロッパ言語社会動態論ⅥB	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454299	イギリス言語社会動態論ⅠA	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454299	イギリス言語社会動態論ⅠB	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454300	アメリカ言語社会動態論ⅠA	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454301	アメリカ言語社会動態論ⅠB	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454302	アメリカ言語社会動態論ⅡA	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454303	アメリカ言語社会動態論ⅡB	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454401	現代英米政治外交史学殊研究	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454403	英米言語社会論 (A)	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454404	Global Area Studies A	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454405	Global Area Studies B	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454406	グローバル地域社会論A	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454407	グローバル地域社会論B	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454408	グローバル地域研究演習A	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454409	グローバル地域研究演習B	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454410	グローバル地域研究ⅠA	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454411	世界の言語	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454412	世界の言語事情	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454413	英米言語社会論 (B)	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454414	英米言語社会論 (C)	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454415	英米言語社会論 (D)	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454416	英米言語社会論 (E)	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454451	言語文化資源の活用と情報処理研究		毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454452	通訳翻訳学特講A		毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454453	通訳翻訳学特講B	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454454	多言語共生社会演習	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454455	グローバル共生実践演習	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454501	中国語特別演習A	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454502	中国語特別演習B	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454503	朝鮮語特別演習A	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454504	朝鮮語特別演習B	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454505	モンゴル語特別演習A	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454506	モンゴル語特別演習B	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454507	インドネシア語特別演習A	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454508	インドネシア語特別演習B	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454509	フィリピン語特別演習A	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454510	フィリピン語特別演習B	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454511	タイ語特別演習A	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454512	タイ語特別演習B	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454513	ベトナム語特別演習A	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454514	ベトナム語特別演習B	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454515	ビルマ語特別演習A	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454516	ビルマ語特別演習B	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454517	ヒンディー語特別演習A	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454518	ヒンディー語特別演習B	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454519	ウルドゥー語特別演習A	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454520	ウルドゥー語特別演習B	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454521	アラビア語特別演習A	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454522	アラビア語特別演習B	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	

時間割 コード	授業科目名	単位数 必修 選択 選択	開講年度 (毎主 隔年)	開講学期	開講部局	課 程	備 考
454523	ベルシア語特別演習A	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454524	ベルシア語特別演習B	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454525	トルコ語特別演習A	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454526	トルコ語特別演習B	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454527	スウェーデン語特別演習A	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454528	スウェーデン語特別演習B	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454529	ロシア語特別演習A	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454530	ロシア語特別演習B	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454531	ハンガリー語特別演習A	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454532	ハンガリー語特別演習B	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454533	デンマーク語特別演習A	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454534	デンマーク語特別演習B	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454535	スウェーデン語特別演習A	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454536	スウェーデン語特別演習B	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454537	ドイツ語特別演習A	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454538	ドイツ語特別演習B	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454539	英語特別演習A	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454540	英語特別演習B	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454541	英語特別演習C	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454542	英語特別演習D	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454543	フランス語特別演習A	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454544	フランス語特別演習B	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454545	イタリア語特別演習A	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454546	イタリア語特別演習B	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454547	スペイン語特別演習A	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454548	スペイン語特別演習B	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454549	ポルトガル語特別演習A	2	毎年	春～夏学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	
454550	ポルトガル語特別演習B	2	毎年	秋～冬学期	人文学研究科 (外国学専攻)	博士前期課程	

※学生は、上位課程の科目を履修できません（例えば、博士前期課程の学生は博士後期課程の科目を履修することはありません）。

履修対象者が複数の課程にわたる場合は、科目構成等にご留意ください。

※構成科目の一覧は2024年度の実績に基づき開講予定で変更される可能性があります。

人間科学（共生の生態）

プログラム名	和文 人間科学（共生の生態）（マルチリンガル・エキスパート養成プログラム）
開設研究科	英文 Human Sciences (Ecology of Living Together) (Multilingual Expert Program)
履修対象者	人間科学研究科
修了要件	修了要件単位数 14単位以上 本大学院プログラム科目を14単位以上履修すること。
趣旨・概要	「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム (Double-Wing Academic Architecture) に則り、異なる学問・研究分野からなる複合領域が学修できるよう人間科学（共生の生態）に関する科目で構成されたプログラムを提供する。多様な文化的・社会的背景をもった人々が、国内外で出会う状況が生まれている今日の社会において、災害や紛争といった状況下ではもちろん、日常生活においても共生のあり方を模索し、問うていくことがますます重要となっている。本プログラムでは人間科学研究科の多様な専門性を生かして、共生について複数の学問領域にわたって学ぶことを通じ、社会的公正のあり方を問い、社会課題の解決に取り組む、共生の実現に貢献できる人材を養成することを目標とする。
到達目標 (修了時に身につく能力)	本プログラムでの学習を通して、以下の能力を得た方に修了認定証を授与する。 ①複眼的な思考を持ち、人々の多様性を理解できる。 ②人々と対話し関係を築き協働することについて、自分の意見を持ち、論じることができる。 ③共生に関し学んだことを実践に応用したり、課題解決のために生かしたりすることができる。 ④異なる分野にも視野を向け知的地平を広げることができる。 ⑤新たな知識や技術の組み合わせを試みる創造的な活動ができる。
カリキュラムの構成	上記の到達目標を達成するために4つの学系から提供される科目群を配置し、共生生について多面的な履修を促す。共生そのものをテーマとしてとり上げる授業と、共生に関連するテーマを扱う授業がある。 行動学系科目群 心理学、行動学、死生学などに関わる科目群 社会学系科目群 社会学、文化人類学、福祉、思想などに関わる科目群 教育学系科目群 教育学の理論と教育現場に関わる科目群 共生学系科目群 共生そのものを考える科目群
履修資格・条件	【履修対象】 令和7年4月（又は、10月入学の場合は、令和6年10月）に、人文科学研究科博士前期課程の言語文化学専攻、外国学専攻、日本学専攻応用日本学コース）のいずれかに入学する（した）者。 【定員】 若干名 【選考】 マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム、「人間科学（共生の生態）」の修了生以外は選考の上、履修生を決定する。
前提知識の目安	前提知識は不要。
特記事項	特になし。
ホームページ申請先	ホームページ : https://mle.osaka-u.ac.jp/ 申請先 : multilingual@office.osaka-u.ac.jp

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数 必修 選択	開講年度 (毎年/隔年)	開講学期	開講部局	課 程	備 考
《行動学系科目》							
211940	比較発達心理学特講（心理的アセスメントに関する理論と実践）	2	毎年	春～夏学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
211733	環境行動学特講Ⅰ	2	隔年	秋～冬学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
《社会学・人間学系科目》							
211223	比較思想史特講	2	毎年	春～夏学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
210706	人類学理論特講	2	隔年	秋～冬学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
211181	※⑥現代社会学特講（a）	2	毎年	春～夏学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
219181	※⑦現代社会学特講（b）	2	毎年	秋～冬学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
	社会データ科学特講 A	2	隔年	2025年不開講	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
	社会データ科学特講 B	2	隔年	春～夏学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
《教育学系科目》							
211265	教育制度学特講	2	毎年	夏学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
211270	生涯教育学特講	2	毎年	秋～冬学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
211870	教育分野に関する理論と支援の展開	2	毎年	秋～冬学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
211241	教育人間学特定演習Ⅱ	2	毎年	秋～冬学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
《共生学系科目》							
211808	地域創生論特講Ⅰ	2	隔年	秋～冬学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
211809	地域創生論特講Ⅱ	2	隔年	春～夏学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
211794	国際協力学特講Ⅰ	2	隔年	秋～冬学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
211795	国際協力学特講Ⅱ	2	隔年	春～夏学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
211801	多文化共生学特講Ⅰ	2	隔年	秋～冬学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
	共生行動学特講Ⅰ（意識形態・集団・地域社会における意識形態に関する理論と実践）	2	隔年	春～夏学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
	福祉と人間学特講Ⅱ	2	隔年	秋～冬学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
	環境共生学特講Ⅰ	2	隔年	春～夏学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤
	環境共生学特講Ⅱ	2	隔年	秋～冬学期	人間科学研究科	博士前期課程	①②③④⑤

※最新の開講科目一覧表は、MLEのホームページでご確認ください。

※⑥⑦の重複履修は認められません（両方とも履修した場合は、4単位ではなく、2単位のみ認められます。）

※学生は、上位課程の科目を履修できません

※構成科目の一覧は、2024年度の実績に基づく開講予定で、変更される可能性があります。

法学・政治学

プログラム名	和文 法学・政治学（マルチリンガル・エキスパート養成プログラム）	
	英文 Law and Politics (Multilingual Expert Program)	
開設研究科	法学研究科	
履修対象者	修士	
修了要件	修了要件単位数	修了要件（単位数以外の修了要件がある場合）
	14単位以上	本大学院プログラム科目を14単位以上履修すること。
趣 旨 ・ 概 要	「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局構断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、学際統合・社会連携を指向した双翼型大学院教育 システム（Double-Wing Academic Architecture）に則り、異なる学問・研究分野からなる複合領域を学修することで、様々な分野にも視野を向け、法的ルールや歴史的に形成された社会構造についての深い造詣に基づき、現代法や公共政策に関する考察を加え、日本や世界の社会が今後有するべき諸秩序や構想に貢献できる人材を育成することを旨指して、法学研究科が開講する関連科目群を提供する。	
到達 目 標 (修了時に身につく能力)	本プログラムでの学修を通じて、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①法学・政治学における研究能力、及び高度の専門性が求められる職業を担うための能力を有する。 ②異なる分野にも視野を向け知的地平を広げることができる。 ③新たな知識や技術の組み合わせを試みる創造的な活動ができる。	
	上記の到達目標（修了時に身につけるべき能力）を達成するために、本プログラムでは法学研究科が開講する以下の科目群を配置する。 ・入門・基礎科目 ・公法、私法、基礎法学、政治学に属する各科目 ・総合・展開科目	
履 修 資 格 ・ 条 件	【履修対象】 令和7年4月（又は、10月入学の場合は、令和6年10月）に、人文学研究科博士前期課程の言語文化学専攻、外国学専攻、日本学専攻応用日本学コースのいずれかに入学する（した）者。 【定員】 若干名 【選考】 マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム、「法学・政治学」の修了生以外は選考の上、履修生を決定する。	
前提知識の目安	特になし。	
特 記 事 項	特になし。	
ホームページ	ホームページ：https://mle.osaka-u.ac.jp/	
申請先	申請先：multilingual@office.osaka-u.ac.jp	

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数 必修 選択	開講年度 (毎年/隔年)	開講学期	開講部局	課 程	備 考
220427	公法の基礎	2	毎年	春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220298	民法の基礎	2	毎年	春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220368	国際政治学概論	2	毎年	春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220369	法政情報処理	2	毎年	春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220434	日本法総論演習	2	毎年	春～夏	法学研究科	博士前期課程	留学生限定
220435	日本政治総論演習	2	毎年	春～夏	法学研究科	博士前期課程	留学生限定
220495	政治学概論	2	毎年	春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220402	憲法 1	2	毎年	春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220403	憲法 2	2	毎年	秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220301	行政法 1	2	毎年	秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220302	行政法 2	2	毎年	春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220303	税法	2	毎年	秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220306	刑法	2	毎年	春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220311	刑事訴訟法	2	毎年	秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220316	国際法 1	2	毎年	春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220317	国際法 2	2	毎年	秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220304	民法 1	2	毎年	春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220305	民法 2	2	毎年	秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220308	商法 1	2	毎年	春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220309	商法 2	2	毎年	秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220497	経済法	2	毎年	春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220310	民事訴訟法	2	毎年	春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220413	裁判外紛争処理法	2	毎年	春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220433	裁判学	2	毎年	秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220339	社会保険法	2	毎年	秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220315	国際私法	2	毎年	春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220343	国際取引法	2	毎年	秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220320	日本法史	2	毎年	春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220325	比較法史	2	毎年	秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220323	ローマ法	2	毎年	秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220322	法社会学	2	毎年	春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220409	法政哲学	2	毎年	春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220546	中国法	2	毎年	春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220500	政治学	2	毎年	秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220501	政治過程論	2	毎年	春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220346	西洋政治思想補史	2	毎年	春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220351	日本政治史	2	毎年	秋～冬	法学研究科	博士前期課程	
220327	行政学	2	毎年	春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220421	比較政治学	2	毎年	春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220425	法政情報学 1	2	毎年	春～夏	法学研究科	博士前期課程	
220490	地方自治演習	2	毎年	秋～冬	法学研究科	博士前期課程	

※学生は、上位課程の科目を履修できません（例えば、博士前期課程の学生は博士後期課程の科目を履修することはできません）。
履修対象者が複数の課程にわたる場合は、科目構成等にご留意ください。

※構成科目の一覧は、2024年度の実績に基づき開講予定で、変更される可能性があります。

経済学・経営学

プログラム名	和文 経済学・経営学（マルチリンガル・エキスパート養成プログラム）
開設研究科	英文 Economics and Business Administration (Multilingual Expert Program)
履修対象者	経済学研究科
修了要件	修士
	修了要件単位数 修了要件（単位数以外の修了要件がある場合）
14単位以上 本大学院プログラム科目を14単位以上履修すること。	
「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局構断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム（Double-Wing Academic Architecture）に則り、異なる学問・研究分野からなる複合領域を学修できるよう、経済学専攻および経営学系専攻の経済学・経営学に関する専門科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、経済学・経営学に通曉した人材を養成することを旨とする。	
趣 旨 ・ 概 要	
本プログラムでの学修を通じて、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。	
到達目標 (修了時に身につく能力)	①経済学・経営学の基礎について理解している。
	②経済学・経営学の理論を現実の経済・経営問題に応用できる。
	③現実の経済・経営問題について自分の意見を持ち、高度なレベルのプレゼンテーションやディスカッションを行うことができる。
	DWAAの到達目標
	④異なる分野にも視野を向け知的地平を広げることができる。
カリキュラムの構成	⑤新たな知識や技術の組み合わせを試みる創造的な活動ができる。
	上記の到達目標（修了時に身につけるべき能力）を達成するために、本プログラムでは経済学研究科（経済学専攻応用経済コース、経済学専攻経済制度・事例分析コース、経営学系専攻ビジネスコース）が開講する科目を提供し、経済学および経営学について系統的な履修を促す。
履修資格・条件	
【履修対象】 令和7年4月（又は、10月入学の場合は、令和6年10月）に、人文学研究科博士前期課程の言語文化学専攻、外国学専攻、日本学専攻応用日本学コースのいずれかに入学する（した）者。 【定員】 若干名 【選考】 マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム、「経済学・経営学」の修了生以外は選考の上、履修生を決定する。	
前提知識の目安	
本プログラムを構成する各科目の履修にあたっては、学部レベルでの経済学・経営学の知識および理解を有することを前提とする。	
特記事項	
特になし。	
ホームページ 申請先など	
ホームページ： https://mle.osaka-u.ac.jp/ 申請先：multilingual@office.osaka-u.ac.jp	

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数 必修 選択	開講年度 (年/学期)	開講学期	開講部局	課 程	備 考
230011	ミクロ経済基礎	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230012	マクロ経済基礎	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230013	計量経済基礎	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230014	政策史基礎	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230017	経済史Ⅰ	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230019	経済史Ⅱ	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230101	ミクロ経済分析Ⅰ	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230102	ミクロ経済分析Ⅱ	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230103	マクロ経済分析Ⅰ	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230104	マクロ経済分析Ⅱ	2	毎年	春学期	経済学研究科	博士前期課程	
230105	計量経済分析Ⅰ	2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	
230106	計量経済分析Ⅱ	2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	2024年度不開講
230107	経済数学	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230108	公共経済Ⅰ	2	毎年	春学期	経済学研究科	博士前期課程	2024年度不開講
230109	公共経済Ⅱ	2	毎年	夏学期	経済学研究科	博士前期課程	2024年度不開講
230110	財政Ⅰ	2	毎年	春学期	経済学研究科	博士前期課程	
230111	財政Ⅱ	2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	
230112	金融Ⅰ	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230113	金融Ⅱ	2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	
230114	国際貿易Ⅰ	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230115	国際貿易Ⅱ	2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	
230116	国際経済Ⅰ	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	2024年度不開講
230117	国際経済Ⅱ	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	2024年度不開講
230118	開発経済Ⅰ	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230119	開発経済Ⅱ	2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	
230120	労働経済Ⅰ	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230121	労働経済Ⅱ	2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	
230122	都市・地域経済Ⅰ	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230123	都市・地域経済Ⅱ	2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	2024年度不開講
230124	数理経済分析Ⅰ	2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	2024年度不開講
230125	数理経済分析Ⅱ	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230126	経済学史Ⅰ	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230127	経済学史Ⅱ	2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	
230128	産業組織Ⅰ	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230129	産業組織Ⅱ	2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
230130	日本経済史Ⅰ	2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	2024年度不開講
230131	日本経済史Ⅱ	2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	
230132	近代日本経済史Ⅰ	2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	2024年度不開講
230134	グローバル経済史Ⅰ	2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	

時間割 コード	授業科目名	単位数		開講年度 (毎年隔年)	開講学期	開講部局	課 程	備 考
		必修	選択					
230135	グローバル経営史Ⅱ		2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	2024年度不開講
230136	西洋経済史Ⅰ		2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	2024年度不開講
230137	西洋経済史Ⅱ		2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	
230138	西洋経営史Ⅰ		2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	2024年度不開講
	経済学特論		2又は4	毎年		経済学研究科	博士前期課程	
232001	統計基礎		2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
232002	オペレーションズ・リサーチ		2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
232003	最適化		2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	2024年度不開講
232004	リスク・マネジメント		2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	2024年度不開講
232005	確率モデルとシミュレーション		2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	
232006	統計解析		2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
232007	データマイニング論		2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	2024年度不開講
232008	財務諸表分析		2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
232009	マネジメント・アカウンティング		2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
232010	マーケティング・サイエンス		2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	
232011	マーケティング・マネジメント		2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
232012	投資理論		2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
232013	技術経営論		2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	
232014	イノベーション・マネジメント		2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	
232015	人的資源管理		2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	
232016	アジア企業・マネジメント		2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
	経営学特論Ⅰ		2又は4	毎年		経済学研究科	博士前期課程	
232101	経営意思決定		2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	
232102	金融工学		2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	2024年度不開講
232103	応用統計分析		2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	2024年度不開講
232104	テキストマイニング論		2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
232105	理論会計分析		2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	
232106	実証会計分析		2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	
232107	コーポレート・ファイナンス		2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
232108	アセット・プライシング		2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	
232109	経営戦略論		2	毎年	秋～冬学期	経済学研究科	博士前期課程	2024年度不開講
232110	国際経営		2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
232111	組織行動論		2	毎年	春～夏学期	経済学研究科	博士前期課程	
	経営学特論Ⅱ		2又は4	毎年		経済学研究科	博士前期課程	
	ケーススタディ		2又は4	毎年		経済学研究科	博士前期課程	

※学生は、上位課程の科目を履修できません(例えば、博士前期課程の学生は博士後期課程の科目を履修することはできません)。

履修対象者が課程の課程にわたる場合は、科目権限等にご留意ください。

※構成科目の一覧は2024年度の実績に基づく開講予定で、変更の可能性あります。

国際公共政策学

プログラム名	和文 国際公共政策学（マルチリンガル・エキスパート養成プログラム）		
開設研究科	英文 International Public Policy (Multilingual Expert Program)		
履修対象者	国際公共政策研究科		
修了要件	修士		
	修了要件単位数	修了要件（単位数以外の修了要件がある場合）	
	14単位以上	本大学院プログラム科目を14単位以上履修すること。	
趣 旨 ・ 概 要	「マルチリンガルエキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの大大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム（Double-Wing Academic Architecture）に則り、異なる学問・研究分野からなる複合領域を学修することで、様々な分野にも視野を向け、平和や安全保障、環境問題、経済発展・開発、人権の保障などの公共政策課題について、自分の意見を広く世界に発信したり、解決に向けて指導力を発揮をしたりできるような人材の育成を目指す。		
到達 目 標 （修了時に身につく能力）	本プログラムでの学修を通じて、以下の能力を備えた学生に修了認定を授与する。 ①国際公共政策学（法学、政治学、経済学）について十分な研究能力を備えている。 ②高度の専門性が求められる職業を担うための能力を十分に有する。 ③異なる分野にも視野を向け知的地平を広げる。 ④新たな知識や技術の組み合わせを試みる創造的な活動ができる。		
カリキュラムの構成	上記の到達目標（修了時に身につけるべき能力）を達成するために、本プログラムでは、国際公共政策研究科が開講する科目の中から、国際法、国際関係論、経済学などの基礎をしっかりと固められる科目群を提供する。		
履 修 資 格 ・ 条 件	【履修対象】 令和7年4月（又は、10月入学の場合は、令和6年10月）に、人文学研究科博士前期課程の言語文化学専攻、外国学専攻、日本学専攻応用日本学コースのいずれかに入学する（した）者。 【定員】 若干名 【選考】 マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム、「法学・政治学」もしくは「経済学・経営学」の修了生以外は選考の上、履修生を決定する。		
	特になし。		
	特になし。		
	ホームページ：https://mle.osaka-u.ac.jp/ 申請先：multilingual@office.osaka-u.ac.jp		

●構成科目

時間割 コード	授業科目名	単位数		開講年度 (毎年/隔年)	開講学期	開講部局	課 程	備 考
		必修	選択					
311745	国際法 1		2	毎年	春～夏学期	国際公共政策研究科	博士前期	
310878	国際公共政策のための法学		2	毎年	春～夏学期	国際公共政策研究科	博士前期	
310006	国際関係論		2	毎年	春～夏学期	国際公共政策研究科	博士前期	
311642	Econometric Methods		2	毎年	夏学期	国際公共政策研究科	博士前期	
311559	ミクロ経済分析 I		2	毎年	夏学期	国際公共政策研究科	博士前期	
311561	マクロ経済分析		2	毎年	秋～冬学期	国際公共政策研究科	博士前期	
311566	経済数学		2	毎年	春学期	国際公共政策研究科	博士前期	
311564	計量データ分析 I		2	毎年	春～夏学期	国際公共政策研究科	博士前期	
311470	特殊講義（EU 法）		2	毎年	春～冬学期	国際公共政策研究科	博士前期	
311472	特殊講義（EU 域内市場法）		2	毎年	秋～冬学期	国際公共政策研究科	博士前期	
310045	比較政治システム論		2		秋～冬学期	国際公共政策研究科	博士前期	不開講
311164	特殊講義（紛争研究概論）		2		春～夏学期	国際公共政策研究科	博士前期	不開講
311165	特殊講義（平和構築論）		2		秋～冬学期	国際公共政策研究科	博士前期	不開講
311031	特殊講義（国際行政論）		2		春～夏学期	国際公共政策研究科	博士前期	不開講
311221	演習（多文化共生論）		2	毎年	秋～冬学期	国際公共政策研究科	博士前期	
310021	公共経済学		2	毎年	春～夏学期	国際公共政策研究科	博士前期	
310882	特殊講義（労働経済学の実証分析）		2	毎年	春～夏学期	国際公共政策研究科	博士前期	
310897	プロジェクト演習（公政策ワークショップ）		2	毎年	通年	国際公共政策研究科	博士前期	

※上位課程の科目を履修できません（例えば、博士前期課程の学生は博士後期課程の科目を履修することはできません）。

履修対象者が複数の課程にわたる場合は、科目構成等にご留意ください。

※構成科目の一覧は2024年度の実績に基づく開講予定で変更される可能性があります。

大学院生のための工学入門

プログラム名	和文	大学院生のための工学入門（マルチリンガル・エキスパート養成プログラム）
開設研究科	英文	Introduction to Engineering for Graduate Students (Multilingual Expert Program)
履修対象者	工学研究科	
	修士	
修了要件	修了要件単位数	修了要件（単位数以外の修了要件がある場合）
	5.2単位以上	本大学院プログラム科目から、必修科目0.2単位及び選択科目から5単位以上修得すること。
趣 旨 ・ 概 要	「マルチリンガルエキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対し、学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム（Double-Wing Academic Architecture）に則り、異なる学問・研究分野からなる複合領域を学修できるよう、工学研究科の工学に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、グローバル人材の育成において、工学にも通曉した人材を育てることを目指す。	
	本プログラムでの学修を通じて、以下①及び②～⑥の中のいずれかの能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①工学を学ぶに当たり初歩的な知識を持ち、理解できるようになる。 ②先端的な科学技術が学術論文作成のためのものではなく、世の中の課題を解決し、イノベーション創出につながるという意義と、それを裏付ける事例が把握できるようになる。 ③イノベーション創出には、研究や技術に社会的意義や価値を持たせることが必要で、差別化のためには知的財産化や標準化に大きな意義があるという知識とその事例を把握できるようになる。 ④新たな知識や技術を実社会の課題解決に繋いで価値を持ったイノベーションに至らせるには、広い範囲から既存の技術やビジネスを集めて（オープンイノベーション）融合することが必要だという知識や事例を体験を経て把握できるようになる。 ⑤研究開発の企画や進め方、及び新技術の扱い方は、イノベーション創出のためにどうあるべきかという知識や事例を把握し、その成功や失敗の要因を分析できるようになる。 ⑥産業界等から講師を招いた講義により、先端バイオテクノロジーの産業への応用について理解し、説明できるようになる。 ※構成科目の備考欄①～⑥と対応しています。	
カリキュラムの構成	上記の到達目標（修了時に身につけるべき能力）を達成するために、本プログラムでは、工学研究科が開講する科目の中から、工学の基本を固め、技術の社会実装にも役立つ科目群を提供する。	
履修資格・条件	【履修対象】 令和7年4月（又は、10月入学の場合は、令和6年10月）に、人文学研究科博士前期課程の言語文化学専攻、外国学専攻、日本学専攻応用日本学コースのいずれかに入学する（した）者。 【定員】 若干名 【選考】 マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム、「工学」の修了生以外 は選考の上、履修生を決定する。	
前提知識の目安	特になし。	
特記事項	なし。	
ホームページ 申請先など	ホームページ： https://mle.osaka-u.ac.jp/ 申請先：multilingual@office.osaka-u.ac.jp	

●構成科目

時間割 コード	授業科目名	単位数 必修 選択	開講年度 (毎年/隔年)	開講学期	開講部局	課 程	備 考
281614	工学こと始め	0.2	毎年	通年	工学研究科	博士前期課程	① オンデマンド
280641	テクノロジードesign論	2	毎年	秋～冬学期	工学研究科	博士前期課程	②④
280642	テクノロジードesign演習	1	毎年	秋～冬学期	工学研究科	博士前期課程	②④ 「テクノロジードesign論」と共に履修すること
281253	イノベーションデザイン実践	2	毎年	秋～冬学期	工学研究科	博士前期課程	②
280645	知的財産権	2	毎年	春～夏学期	工学研究科	博士前期課程	③
280646	知的財産権演習	1	毎年	春～夏学期	工学研究科	博士前期課程	③ 「知的財産権」と共に履修すること
281204	技術経営概論	2	毎年	春～夏学期	工学研究科	博士前期課程	④⑤ 集中
281129	生命先端工学特論Ⅰ	2	毎年	通年	工学研究科	博士前期課程	⑥ 集中

※学生は、上位課程の科目を履修できません（例えば、博士前期課程の学生は博士後期課程の科目を履修することはできません）。履修対象者が複数の課程にわたる場合は、科目構成等にご留意ください。
※講義は全て日本語で行います。日本語でのディスカッションを数多く取り入れるので、日本語でのコミュニケーション能力があることが望めます。
※構成科目の一覧は2024年度の要綱に基づく開講予定で変更される可能性があります。

データサイエンス

プログラム名	和文	データサイエンス（マルチリンガル・エキスパート養成プログラム）
開設研究科	英文	Data Science (Multilingual Expert Program)
履修対象者	数理・データ科学教育研究センター	
	修士	
修了要件	修了要件単位数	修了要件（単位数以外の修了要件がある場合）
	8 単位数以上	本大学院プログラム科目から 8 単位数以上修得すること。ただし選択必修科目から 2 単位数以上を含めること。また、学部と大学院の両方にクロスリストしている選択必修科目の単位を学部で修得した場合、1 科目 2 単位を上限に修了単位に算入することができる。
趣 旨 ・ 概 要	「マルチリンガルエキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育 システム (Double-Wing Academic Architecture) に則り、異なる学問・研究分野からなる複合領域を学修できるよう、学際融合教育科目、人文科学研究科、人間科学研究科のデータサイエンスに関する専門科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、データサイエンスに通暁し、計量的手法を有効に用いて人文社会分野の研究を遂行できる人材を育成することを目指す。	
到達目標 (修了時に身につく能力)	本プログラムでの学修を通じて、以下の能力を備えた学生に修了認定証を授与する。 ①データサイエンスについて十分な研究能力を備えている。 ②高度の専門性が求められる職業を担うための能力を十分に有する。 ③異なる分野にも視野を向け知的地平を広げる。 ④新たな知識や技術の組み合わせを試みる創造的な活動ができる。	
カリキュラムの構成	上記の到達目標（修了時に身につけるべき能力）を達成するために、本プログラムでは、基礎工学研究科、学際融合教育科目、人文科学研究科、人間科学研究科が開講する科目の中から、データサイエンス、機械学習および言語／テキスト処理などの基礎をしっかりと固められる科目群を提供する。	
履修資格・条件	【履修対象】 令和 7 年 4 月（10 月入学の場合は、令和 6 年 10 月）に、人文科学研究科博士前期課程の言語文化学専攻、外国学専攻、日本学専攻応用日本学コースのいずれかに入学する（した）者。 【定員】 若干名 【選考】 マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム、「数理・データサイエンス・AI」の修了生以外は選考の上、履修生を決定する。	
前提知識の目安	特になし。	
特記事項	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE）担当者 Email: multilingual@office.osaka-u.ac.jp	
ホームページ 申請先など	ホームページ：https://mle.osaka-u.ac.jp/ 申請先：multilingual@office.osaka-u.ac.jp	

●構成科目

時間割 コード	授業科目名	単位数 必修	開講年度 (毎年隔年)	開講学期	開講部局	課 程	備 考
C51004	データ科学と意思決定	2	毎年	秋～冬学期	学際大学院機構		学部とのクロスリスト科目
230804	データ科学のための数理	2	毎年	秋～冬学期	基礎工学研究科	博士前期課程	MLE 学部向けプログラム選択必修科目（学部とのクロスリスト）
452069	応用言語学研究 A	2	毎年	春～夏学期	人文科学研究科	博士前期課程	
452070	応用言語学研究 B	2	毎年	秋～冬学期	人文科学研究科	博士前期課程	
452109	言語統計学 A	2	毎年	春～夏学期	人文科学研究科	博士前期課程	
452110	言語統計学 B	2	毎年	秋～冬学期	人文科学研究科	博士前期課程	
	社会データ科学特講 A	2	隔年	2025 年不開講	人間科学研究科	博士前期課程	
	社会データ科学特講 B	2	隔年	春～夏学期	人間科学研究科	博士前期課程	

※学生は、上位課程の科目を履修できません（例えば、博士前期課程の学生は博士後期課程の科目を履修することはできません）。

履修対象者が複数の課程にわたる場合は、科目構成等にご留意ください。

※構成科目の一覧は 2024 年度の実績に基づき開講予定で変更される可能性があります。

大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラムに関する申合せ

(趣 旨)

第1条 この申合せは、大阪大学（以下「本学」という。）の学生に対して、当該学生が所属する学科及び専攻の教育課程（カリキュラム）に加えて別途提供する大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（以下「マルチリンガルプログラム」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(目 的)

第2条 マルチリンガルプログラムは、学部及び大学院博士前期課程（修士課程を含む。）を通じた部局横断型教育プログラムを構築することによって、複数の学部及び複数の研究科の教育プログラムを修め、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする。

(対象学生)

第3条 マルチリンガルプログラムは、本学の学部と大学院に所属する学生に対して提供するものとする。（プログラムごとに対象学生を設ける。）

(構 成)

第4条 マルチリンガルプログラムは、学部における教育プログラム（以下「学部プログラム」という。）及び大学院における教育プログラム（以下「大学院プログラム」という。）で構成する。

2 学部プログラムは、レギュラープログラム及びショートプログラムから構成される大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムとして開設し、その修了要件、提案、承認、修了認定証の発行及び管理運営については、別に定める。

3 大学院プログラムは、大阪大学大学院副専攻プログラム、大学院等高度副プログラムとして開設する。

(修了要件)

第5条 マルチリンガルプログラム（全課程）の修了の要件は、学部プログラムのうちレギュラープログラムを修了し、かつ、大学院において所属する専攻があらかじめ指定する大学院プログラムを修了することとする。

(修了認定証の発行)

第6条 学部プログラムの提案部局又は幹事部局は、マルチリンガルプログラムを修了した学生に対して、所属学部の修了後、速やかに学部プログラムの提案部局又は幹事部局の長と総長との連名によるマルチリンガルプログラムの修了認定証を発行することができる。大学院プログラムの提案部局又は幹事部局は、マルチリンガルプログラムを修了した学生に対して、速やかに大学院プログラムの提案部局又は幹事部局の長と総長の連名によるマルチリンガルプログラムの修了認定証を発行することができる。修了認定証の学生への交付は、提案部局又は幹事部局による修了判定の後、課程修了時と同時に行うものとする。

附 則

この申合せは、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この改正は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この改正は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この改正は、令和2年10月1日から施行する。

附 則

この改正は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この改正は、令和5年4月1日から施行する。

大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラムの一部として 実施される学部プログラムに関する覚書

(趣 旨)

第1条 この覚書は、大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラムに関する申合せ（以下「申合せ」という。）第4条第2項の規定に基づき、大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム（以下「学部プログラム」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(構 成)

第2条 学部プログラムは、その教育目標に沿って、所属学科に準ずる一定のまとまりを有する科目により構成するものとし、レギュラープログラム及びショートプログラムを設ける。

(修了要件)

第3条 学部プログラムの修了に必要な単位数は次のとおりとし、各学部プログラムごとにこれを定めるものとする。

(1)レギュラープログラム 24単位以上

(2)ショートプログラム 12単位以上24単位未満

2 学部プログラムの修了に必要な単位と所属学科の卒業に必要な単位との重複を認めるものとする。

(提 案)

第4条 部局（文学部、人間科学部、外国語学部、法学部、経済学部、理学部、工学部、基礎工学部及び数理・データ科学教育研究センターをいう。以下同じ。）は、単独で、又は複数の部局が連携して、学部プログラムを提案するものとする。

2 前項の場合において、複数の部局が連携して提案する場合は、幹事部局を定め、幹事部局から提案を行うものとする。

(承 認)

第5条 マルチリンガル・エキスパート養成プログラム運営協議会は、提案部局又は幹事部局から提案された学部プログラムの名称、内容等について、審議し、承認するものとする。

(修了認定証の発行)

第6条 提案部局又は幹事部局は、学部プログラムを修了した学生に対して、所属学科の卒業後、速やかに提案部局又は幹事部局の長と総長との連名による学部プログラムの修了認定証を発行することができる。

(実 施)

第7条 学部プログラムの実施については、提案部局又は幹事部局で行うものとする。

附 則

この申合せは、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この改正は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この改正は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

この改正は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この改正は、令和6年4月1日から施行する。

各プログラムの詳細については、「各プログラム紹介」の各プログラムの問い合わせ先にご照会ください。

(全般的な問い合わせ先)

大阪大学 人文学研究科箕面事務部

マルチリンガル・エキスパート養成プログラム (MLE) 担当

〒562-8678 箕面市船場東3丁目5番10号

Email : multilingual@office.osaka-u.ac.jp

ホームページ URL : <https://mle.osaka-u.ac.jp/>





大阪大学
THE UNIVERSITY OF OSAKA

